

著者	タイトル	年	雑誌名	巻	号	集	ページ	キーワード
末永一	ウンカの発生予察に関する研究 第1報	1949	九州農業研究史	5			21-22	発生生態, セジロウンカ, トビイロウンカ
末永一	ウンカの発生予察に関する研究 第2報	1949	本邦におけるウンカ発生地帯の区分	5			23-24	発生地域, 気象要因, セジロウンカ, トビイロウンカ
末永一	ウンカの発生予察に関する研究 第3報	1950	表日本における発生年の異常気象	6			#7-8	発生地域, 気象要因, セジロウンカ, トビイロウンカ
末永一	ウンカの発生に及ぼす食餌植物の生化学的影響 第1報	1950	セジロウンカの発生に及ぼす還元糖	7			61-62	グルコース, 品種間差, セジロウンカ
末永一・ 関屋昭二 郎	セジロ及びトビイロウンカの蔵卵と温度との関係(予報)	1951	九州農業研究	8			107-108	蔵卵前期間, 産卵前期間, 温度条件, トビイロウンカ, セジロウンカ
末永一・ 山元四郎	セジロ及びトビイロウンカの温度反応	1951	九州農業研究	8			109-110	温度反応, トビイロウンカ, セジロウンカ
糸賀繁 人・酒井 久夫	鹿児島県におけるセジロウンカの発生とその駆除適期推定について	1951	九州農業研究	8			111-112	発生予察, 予察灯, 発生消長, 防除適期, セジロウンカ
加藤陸奥 雄	九州に於けるウンカの群集生態的考察	1951	北日本病害虫研究会報	2			#49	トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
遠藤正	有機燐化合物殺虫効果について	1951	北日本病害虫研究会報	2			71-73	ニッカリン-T, ツマグロヨコバイ
末永一	セジロ及びトビイロウンカの発生と日照との関係	1952	九州農業研究	9			25-26	日照, 温度, セジロウンカ, トビイロウンカ
是石鞏・ 野垣一之 法	熊本県における夏ウンカ及び秋ウンカの発生予察法	1952	九州農業研究	10			#163	日照, 温度, セジロウンカ, トビイロウンカ
糸賀繁 人・酒井 久夫	トビイロウンカ越冬の一事例	1952	九州農業研究	10			164-166	越冬, トビイロウンカ
諸留操・ 渡邊忻 悦・小笠 原且美	秋田県に於けるセジロウンカの発生記録について	1952	北日本病害虫研究会報	3			105-106	環境条件差異, 品種間差異, 発生量, セジロウンカ
諸留操・ 佐藤正 山下善 平・柴辻 鐵太郎	秋田県に於けるセジロウンカの多発地帯の実態調査	1952	北日本病害虫研究会報	3			106-107	環境条件差異, セジロウンカ
	東北地方に於ける水稻主要害虫の発生の地域性について(第1報)セジロウンカの発生に関する記録	1952	北日本病害虫研究会報	3			108-109	発生年次, 地域間差異, 発生規模, 発生回数, セジロウンカ

末永一	雑草飼育に於けるセジロ及びトビイロウンカの生態に関する考察	1953	九州農業研究	12	#5-11	越冬, 雑草飼育, セジロウンカ, トビイロウンカ
森常也・都外川修	セジロウンカによる水稻幼穂形成期における被害解析	1953	九州農業研究	12	47-48	幼穂形成期, 被害解析, 生育調査, 収量分解調査, セジロウンカ
糸賀繁人・酒井久夫	セジロウンカの被害解析	1953	九州農業研究	12	114-116	被害解析, 最高分けつ期, 収量分解調査, セジロウンカ
中川九一・角間文雄・白坂信己・徳永友三・遠藤正・川島嘉内	保温折衷苗代育苗と病害虫発生に関する調査	1953	北日本病害虫研究会報	4	#11-16	標準水苗代, 保温折衷苗代, ツマグロヨコバイ
山下善平・鈴木忠夫	保温折ちう苗代栽培に於ける並木植と害虫相に就いて	1953	北日本病害虫研究会報	4	#18	保温折衷苗代, 正條植, 普通栽培, セジロウンカ
小林次郎・木川弘・佐藤正	セジロウンカの越冬に関する調査研究(予報)	1953	北日本病害虫研究会報	4	128-129	越冬源調査, 発生分布, 密度分布調査, 地域間差異, セジロウンカ
山下善平・柴辻鐵太郎	東北地方に於ける水稻主要害虫の発生の地域性について(第2報)セジロウンカの常発地の分布について	1953	北日本病害虫研究会報	4	129-130	常発地, 地域間差異, セジロウンカ
井口眞造・齋伴夫・渡邊雄幸	ツマグロヨコバイの発生量と気温との関係について	1953	北日本病害虫研究会報	4	131-132	発生予察, 発生面積, 相関, 気温, ツマグロヨコバイ
福島県立農業試験場	有機殺虫剤の諸害虫に対する効果	1953	北日本病害虫研究会報	4	#233	殺虫剤, EPN-300, ホリドール, ニッカリン, チオテップ, Eoseo11, Eoseo21, BHC, ツマグロヨコバイ
末永一・奈須壮兆	九州本土のセジロウンカと種子島・草垣島・男島産セジロウンカの形態測定的比較	1954	九州農業研究	13	25-26	形態測定, 地域間差異, セジロウンカ

糸賀繁人・酒井久夫	セジロウンカの被害解析(第2報)	1954 九州農業研究	14	225-227	被害解析, 生育調査, 収量分解調査, セジロウンカ
遠藤正・菅野登・川島嘉内	水稲湛水直播栽培の害虫発生状況	1954 北日本病害虫研究会報	5	20-22	湛水直播田, 移植田, 発生消長, ツマグロヨコバイ
伊藤春男・五十嵐良造	水稲の湛水直播栽培と害虫発生との関係について	1954 北日本病害虫研究会報	5	22-24	湛水直播田, 移植田, 発生消長, ツマグロヨコバイ
岡崎勝太郎・仲野恭助・花岡岩雄・安部義一・布施寛	セジロウンカの越冬に関する調査 第1報	1954 北日本病害虫研究会報	5	126-127	越冬調査, セジロウンカ, ヒメトビウンカ
岡崎勝太郎・仲野恭助・花岡岩雄・安部義一・布施寛	セジロウンカの越冬に関する調査 第2報	1954 北日本病害虫研究会報	5	127-128	越冬調査, 常発地, セジロウンカ, ヒメトビウンカ
柴辻鉄太郎	東北地方に於ける水稲主要害虫の発生の地域性について 第3報 発生とその環境条件	1954 北日本病害虫研究会報	5	128-129	発生予察, 発生消長, 常発地, セジロウンカ
安部義一・仲野恭助・武田憲雄	ツマグロヨコバイに対する新農薬の効果	1954 北日本病害虫研究会報	5	154-156	殺虫剤, Aldrin, Dieldrin, Endrin, Parathion, Systox, Pestox, Folidol, 浸透殺虫剤, ツマグロヨコバイ
吉目木三男・松田達郎・小林四郎・佐々木喆彦	水田に於ける薬剤(BHC)散布に関する知見	1954 北日本病害虫研究会報	5	196-197	殺虫剤, BHC, 剤型間差異, ウンカ, ヨコバイ

吉目木三男・松田達郎・小林四郎・佐々木喆彦	水稻本田期を通しての薬剤(BHC)散布の実験 1. 早植水田に於ける害虫群集の動態	1954	北日本病虫害研究会報	5	198-201	殺虫剤, BHC, 発消長, ツマグロヨコバイ
吉目木三男・松田達郎・小林四郎・佐々木喆彦	水稻の本田期を通しての薬剤(BHC)散布の実験 2. 普通植水田に於ける害虫群集の動態	1954	北日本病虫害研究会報	5	202-204	害虫群集, 殺虫剤, BHC, 発消長, ツマグロヨコバイ
山元四郎・末永一	浮塵子の体液凍結温度を測定する一方法	1955	九州病虫害研究会報	1	59-60	トビイロウンカ, 生理, 耐凍性
山下幸彦・河越克己	ツマグロヨコバイに対するBHC, パラチオン混合粉剤の効果	1955	九州病虫害研究会報	1	73-74	ツマグロヨコバイ, 殺虫剤, セジロウンカ, トビイロウンカ
末永一・奈須壮兆・宮原義雄・一丸政雄	二化螟虫の集団防除に関する研究 第3報 二化螟虫に対する薬剤防除が他の昆虫群集に及ぼす影響	1955	九州農業研究	16	#106	殺虫剤, パラチオン, ホリドール, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ, セジロウンカ, トビイロウンカ
糸賀繁人・堀切正俊	二化螟虫防除のための薬剤散布が他の害虫の発生相に及ぼす影響について(第1報)	1955	九州農業研究	16	#109	殺虫剤, ホリドール, ツマグロヨコバイ, セジロウンカ, トビイロウンカ
一丸政雄・末永一	水稻晩期栽培における昆虫の発生相	1955	九州農業研究	16	#111	害虫相, 晩期栽培, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ, セジロウンカ, トビイロウンカ
伊藤春男・五十嵐良造・鈴木運蔵	湛水直播と害虫発生との関係について	1955	北日本病虫害研究会報	6	18-19	直播栽培田, 移植田, 発消長, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ
渡辺忻悦	湛水直播栽培と害虫の発生について	1955	北日本病虫害研究会報	6	19-21	直播栽培田, 移植田, ウンカ類

長谷川 勉・渡辺 忻悦	セジロウンカの越冬態究明に関する調査	1955	北日本病害 虫研究会報	6	97-98	越冬態, セジロウンカ, ヒメトビウンカ
長谷川仁	ウンカ科重要種の識別	1955	関東東山病 害虫研究会	2	#3-5	分類, 識別, 同定, ウンカ
新海昭	稲縞葉枯病とヒメトビウンカとの関係	1955	関東東山病 害虫研究会 年報	2	#5-6	イネ縞葉枯病, ウイルス獲得, 潜伏期間, 伝 染力保持期間, 経卵伝染, 感染, 発病, 寄主 範囲, 越冬, 伝染環, ヒメトビウンカ
奈須壮 兆・末永 一	予察燈によるウンカ類の出現型とそれから導かれ る予察	1956	九州病害虫 研究会報	2	14-17	個体群動態, 発生予察, トビイロウンカ, セジ ロウンカ
山下幸 彦・河越 克己	ツマグロヨコバイに対するBHC, パラチオン混合粉 剤の効果・第2報	1956	九州病害虫 研究会報	2	17-19	ツマグロヨコバイ, 殺虫剤
原敬一・ 糸賀繁人	水稲早期栽培における萎縮病の発生について	1956	九州農業研 究	17	99-100	早期栽培, イネ萎縮病, ツマグロヨコバイ
山元四 郎・末永 一	ツマグロヨコバイ及びヒメトビウンカの発育最低温 度	1956	九州農業研 究	17	110- 111	発育日数, 有効積算温度一定の法則, 発育 最低温度, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ
一丸政 雄・末永 一	水稲早期栽培における重要害虫の発生相	1956	九州農業研 究	17	111- 112	害虫相, 早期栽培, ツマグロヨコバイ, ヒメトビ ウンカ, セジロウンカ, トビイロウンカ
堀切正俊	二化螟虫の集団防除について	1956	九州農業研 究	18	92-93	殺虫剤, パラチオン, BHC, 発生消長, セジロ ウンカ, トビイロウンカ, ツマグロヨコバイ, ヒメ トビウンカ
原敬一 渡辺忻 悦・三浦 竹治郎	水稲早期栽培における萎縮病の発生について(Ⅱ) 苗代跡作と病害虫の発生について	1956 1956	九州農業研 究 北日本病害 虫研究会報	19 7	75-76 #12-13	早期栽培, イネ萎縮病, ツマグロヨコバイ 苗代跡作, ウンカ類
柴辻鉄太 郎	苗代跡作水稲と虫害との関係 1. 苗代跡作水稲に おける害虫相について	1956	北日本病害 虫研究会報	7	17-18	苗代跡作, 害虫相, ヒメトビウンカ, セジロウン カ, ツマグロヨコバイ
五十嵐良 造・伊藤 春男	ウンカ類の季節消長について	1956	北日本病害 虫研究会報	7	98-99	発生消長, 掬い取り法, セジロウンカ, ヒメトビ ウンカ, ツマグロヨコバイ

仲野恭助・花岡岩雄	飼育によるセジロウンカの発生消長について	1956	北日本病害虫研究会報	7	99-100	ほ場調査, 飼育調査, 生存日数, 卵期間, 幼虫期間, 世代期間, 発生消長, セジロウンカ
仲野恭助・花岡岩雄	雑草によるセジロウンカの飼育について	1956	北日本病害虫研究会報	7	100-101	雑草, 飼育調査, 成虫生存日数, 卵期間, 幼虫期間, 世代期間, セジロウンカ
長谷川勉・西出隆	セジロウンカの雑草飼育(予報)	1956	北日本病害虫研究会報	7	101-103	雑草, 飼育調査, セジロウンカ
長谷川勉・渡辺忻悦	水田を離れた場所におけるセジロウンカの発生について	1956	北日本病害虫研究会報	7	103-104	越冬源, セジロウンカ
長谷川勉・西出隆	秋田県における山地帯(乳頭山)産セジロウンカと平坦地水田産セジロウンカとの形態測定的比較	1956	北日本病害虫研究会報	7	104-105	地域間差異, 形態比較, セジロウンカ
井上寿・春木保	北海道東部, 特に十勝地方に於けるセジロウンカの発生と気温との関係	1956	北日本病害虫研究会報	7	105-106	気象条件, 発生消長, セジロウンカ
長谷川勉・小林次郎	昭和30年度秋田県におけるセジロウンカの異常発生について	1956	北日本病害虫研究会報	7	107-108	異常発生, 環境条件, 発生面積, セジロウンカ
二宮融・竹沢秀夫	害虫発生消長調査の一方法	1956	関東東山病害虫研究会	3	#10	予察灯, 誘蛾灯, 昆虫採集器, 発生予察, 発生消長, ヒメトビウンカ
安尾俊・山口富夫・石井正義	稲縞葉枯病に対する罹病性の品種間差異	1956	関東東山病害虫研究会年報	3	#12	イネ縞葉枯病, ほ場調査, 発病率, 品種間差異, 罹病性, ヒメトビウンカ
熊沢隆義・杉本堯・谷中清八・高橋三郎・安尾俊	稲縞葉枯病に関する研究 第1報 防除時期に関する考察	1956	関東東山病害虫研究会年報	3	#13	イネ縞葉枯病, 予察灯, すくい取り法, 発生消長, 保毒虫, 殺虫剤, BHC, 薬剤防除効果, 感染時期, ヒメトビウンカ
秋山武雄	神奈川県に於ける稲縞葉枯病の防除について	1956	関東東山病害虫研究会	3	#14	イネ縞葉枯病, 薬剤防除, 殺虫剤, デイルドリン乳剤, BHC, ヒメトビウンカ

小尾充 雄・佐藤 程治郎・ 小菅喜久 弥・飯田 俊武・新 海昭	山梨県下に激発したイネ萎縮病	1956	関東東山病 害虫研究会 年報	3	#16	イネ萎縮病, 保毒虫, 感染時期, ツマグロヨコ バイ	
小尾充 雄・小菅 喜久弥	イネイシユク病防除効果の一事例	1956	関東東山病 害虫研究会 年報	3	#17	イネ萎縮病, 防除効果, すくい取り法, 発生 量, 発病状況, 殺虫剤, パラチオン, ツマグロ ヨコバイ	
川瀬英 爾・石崎 久次	トビイロウンカの越冬について	1956	北陸病虫害 研究会報	4	#58	越冬, 天敵, 卵寄生蜂, 孵化率, トビイロウン カ	
望月正 己・田口 吟	トビイロウンカの越冬調査現況について	1956	北陸病虫害 研究会報	4	#58	坪枯れ, 天敵, 卵寄生蜂, Anagrus-sp., カマ バチ, トビイロウンカ, ヒメトビウンカ	
川瀬英 爾・石崎 久次	イネとヒエにつくウンカについて(予報)	1956	北陸病虫害 研究会報	4	58-60	発生量, 発生消長, トビイロウンカ, セジロウ ンカ, ヒメトビウンカ	
川瀬英 爾・石崎 久次	ウンカの卵について	1956	北陸病虫害 研究会報	4	60-61	卵, 形態, トビイロウンカ, セジロウンカ	
望月正 己・常楽 武男	ウンカ類の薬剤防除面積に関する考察	1956	北陸病虫害 研究会報	4	#61	殺虫剤, TEPP, すくい取り法, 防除効果, 最 適防除面積, 最適防除時期, ヒメトビウンカ, ウンカ類	
望月正 己・田口 吟	本田後期に於けるツマグロヨコバイ発生量の予察 法について	1956	北陸病虫害 研究会報	4	84-85	本田後期, 年次別消長, 気象条件, 発生予 察, 相関関係, ツマグロヨコバイ	
高島敬一	ツマグロヨコバイの発生予察について	1956	北陸病虫害 研究会報	4	#89	年次別誘殺数, 気象条件, 平均気温, 降水 量, 湿度, 日照, 相関関係, ツマグロヨコバイ 発生予察	
内田俊郎	昆虫の発育零点	1957	日本応用動 物昆虫学会	1	1	46-53	発育零点, トビイロウンカ
岸本良一	ウンカ類の翅型に関する研究 Ⅲ. ウンカ類の長翅 型と短翅型における形態的および生理的相違につ いて	1957	日本応用動 物昆虫学会 誌	1	3	164- 173	翅型発現性, 形態, 生理, 産卵, 産卵方法, 産卵前期間, 産卵能力, 成虫生存期間, 産卵 数温度条件, 餌条件, 体重変化, トビイロウン カ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ

竹沢秀夫・近岡一郎・二宮融	トビイロウンカの人為的卵態越冬について	1957	日本応用動物昆虫学会誌	1	3	213-215	越冬, 眼点形成, トビイロウンカ
山元四郎・末永一	アイソトープによるウンカの移動, 潜伏調査(予報)	1957	九州病害虫研究会報	3		58-59	トビイロウンカ, 越冬
末永一	水稲早期栽培田並びにその周辺におけるツマグロヨコバイ群集の動態について	1957	九州病害虫研究会報	3		60-61	発生消長, 個体群動態, ツマグロヨコバイ
於保信彦・宮原和夫	ツマグロヨコバイの天敵ケシカタビロアメンボについて	1957	九州病害虫研究会報	3		61-62	ツマグロヨコバイ, 天敵
関屋昭二郎	ツマグロヨコバイの稲萎縮病ウイルス保毒虫率について	1957	九州農業研究	19		76-77	イネ萎縮病, 保毒虫率, ツマグロヨコバイ
堀切正俊	二化螟虫の集団防除について(第2報)ツマグロヨコバイの越冬と萎縮病の発生について	1957	九州農業研究	19		#80	越冬状況, ツマグロヨコバイ, セジロウンカ, トビイロウンカ, ヒメトビウンカ, 萎縮病
渡辺忻悦	苗代跡作における害虫の発生について	1957	北日本病害虫研究会報	8		15-16	苗代跡作, 通し苗代跡作, 栽培様式間差異, ウンカ
遠藤正	苗代跡地と本田との害虫発生相違について	1957	北日本病害虫研究会報	8		17-18	保温折衷苗代跡, 水苗代跡, 本田, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
柴辻鉄太郎	苗代跡作水稲と虫害との関係 2. 害虫の発生環境と被害について	1957	北日本病害虫研究会報	8		19-21	苗代跡作水稲, セジロウンカ
平尾重太郎	水稲の早植栽培と虫害	1957	北日本病害虫研究会報	8		72-73	早植栽培, 慣行栽培, ウンカ, ヨコバイ
井上寿	北海道東部のウンカ科について(第1報)	1957	北日本病害虫研究会報	8		#77	分類, セジロウンカ
伊藤春男・五十嵐良造・鈴木運蔵・牛袋昭一	ウンカ類の季節消長について(続)	1957	北日本病害虫研究会報	8		77-78	発生消長, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
井上寿・春木保	北海道東部特に十勝地方におけるセジロウンカの発生と日照との関係	1957	北日本病害虫研究会報	8		78-79	日照, 異常高温多照, 気温, 発生量, セジロウンカ

仲野恭助・花岡岩雄	秋期野外において得られたセジロウンカの卵巣及び辜丸の発達程度について	1957	北日本病害虫研究会報	8	#79	食草間差異, 性的成熟, 卵巣, 辜丸, セジロウンカ
大矢剛毅・大森秀雄	水田における塩素剤散布がツマグロヨコバイの多発に及ぼす一因について	1957	北日本病害虫研究会報	8	#80	塩素剤, 捕食圧, クモ類, ツマグロヨコバイ
安尾俊・山口富夫・石井正義	稲縞葉枯病の圃場感染時期について	1957	関東東山病害虫研究会年報	4	#9	イネ縞葉枯病, 感染時期, 防除時期, ヒメトビウンカ
熊沢隆義・杉本堯・谷中清八・尾田啓一・安尾俊	稲シマハガレ病の防除時期について	1957	関東東山病害虫研究会年報	4	#10	イネ縞葉枯病, 発生消長, 保毒虫率, 殺虫剤, EPN, BHC, 防除適期
新海昭	稲黒条萎縮病ウイルスの伝染環	1957	関東東山病害虫研究会年報	4	#13	イネ黒条萎縮病, ウイルス感染, 寄主植物, 越冬, 伝染環, 防除法, 防除適期, ヒメトビウ発生被害状況, 品種間差異, 収量調査, トビイロウンカ
高野光之丞・須賀秀文・大高庸夫	埼玉県下におけるトビイロウンカの異常発生について	1957	関東東山病害虫研究会年報	4	#20	
市川久雄	イネシマハガレ病の発生と防除	1957	北陸病害虫研究会報	5	28-31	イネ縞葉枯病, 発病株率, 誘蛾灯, 飛来量, 殺虫剤, BHC, 防除効果, ヒメトビウンカ
友永富・小林達美・山本公志	ツマグロヨコバイに対する殺虫剤と温度との関係	1957	北陸病害虫研究会報	5	#46	生物検定, 死虫率, 苦悶虫率, 殺虫剤, メチルPB, EPN, マラソン, パラチオン, 温度条件, ツマグロヨコバイ
石崎久次・川瀬英爾	石川県に於けるウンカの食餌植物について	1957	北陸病害虫研究会報	5	47-48	食餌植物, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ
岸本良一	ウンカ類の休眠に関する研究 I. ヒメトビウンカの4令幼虫における休眠の誘起および消去におよぼす日長効果	1958	日本応用動物昆虫学会誌	2	2	128-134

北方節夫・末永一	ウンカの発生調査手段としての sticky trap の利用について	1958	九州病害虫研究会報	4	13-14	ステッキートラップ, 発生予察, 個体群動態
山元四郎・末永一	強力サクシオン・キャッチャーその捕虫について	1958	九州病害虫研究会報	4	30-31	捕虫装置, 発生予察, 個体群動態
是石鞏・田村多利・植村道雄	水稲早期栽培面積規模と稲萎縮病発生との関係	1958	九州農業研究	20	116-118	殺虫剤, マラソン, 早期栽培, イネ萎縮病, ツマグロヨコバイ
是石鞏・重永知明	水稲早期栽培地帯周辺および普通栽培地帯におけるツマグロヨコバイによる稲萎縮病感染歩合につ	1958	九州農業研究	20	118-119	早期栽培, 普通栽培, 稲萎縮病, ツマグロヨコバイ
系賀繁人・関屋昭二郎	ツマグロヨコバイの稲萎縮病ウイルス保毒虫率について(第2報)	1958	九州農業研究	20	119-120	イネ萎縮病, 保毒虫率, ツマグロヨコバイ
立石巖・村田全・岡田幸夫・松永静明	稲萎縮病の感染時期に関する研究	1958	九州農業研究	20	120-121	イネ萎縮病, 感染時期, ツマグロヨコバイ
系賀繁人・原敬一・関屋昭二郎・堀切正俊	水稲早期栽培におけるツマグロヨコバイ防除試験	1958	九州農業研究	20	121-122	殺虫剤, マラソン, パラチオン, PD, イネ萎縮病, ツマグロヨコバイ
宮原和夫・橋爪文次	稲萎縮病の予防に関する研究 第1報 早期栽培水稲におけるツマグロヨコバイの重点防除時期について	1958	九州農業研究	20	122-124	殺虫剤, マラソン, 早期栽培, イネ萎縮病, ツマグロヨコバイ
滝口政数	福岡県における稲萎縮病防除の実際について	1958	九州農業研究	20	125-126	畦畔防除, 殺虫剤, マラソン, パラチオン, PB, イネ萎縮病, ツマグロヨコバイ
仲野恭助・花岡岩雄	セジロウンカの卵越冬に関する2, 3の調査 特にセジロウンカ卵の発育停滞現象について	1958	北日本病害虫研究会報	9	77-78	休眠, 雑草, 卵巣発育, 産卵, セジロウンカ
布施寛	トビイロウンカの加害による水稲の被害解析	1958	北日本病害虫研究会報	9	79-80	坪枯れ, 被害解析, 収量調査, 収量構成要素, トビイロウンカ

深津量 栄・柿崎 正・平山 成一 竹沢秀 夫・二宮 融 新海昭	ツマグロヨコバイおよびセジロウンカが稲紋枯病の 伝播, 病勢発展におよぼす影響	1958	北日本病害 虫研究会報	9	80-82	イネ紋枯病, 媒介, 生物検定, 接種試験, ツ マグロヨコバイ, セジロウンカ
熊沢隆 義・杉本 堯・谷中 清八・高 久恒夫・ 尾田啓一	トビイロウンカの人為的な卵態越冬について	1958	関東東山病 害虫研究会 年報	5	#15-16	卵態越冬, トビイロウンカ
熊沢隆 義・杉本 堯・谷中 清八・尾 田啓一	稲縞葉枯病のヒメトビウンカにおける経卵伝染 - その後の実験経過 -	1958	関東東山病 害虫研究会 年報	5	25-26	経卵伝染, 累代飼育, ウイルス獲得, 感染, ヒ メトビウンカ
熊沢隆 義・杉本 堯・谷中 清八・高 久恒夫・ 尾田啓一	稲縞葉枯病に関する研究 第3報 ヒメトビウンカの 春季移動について	1958	関東東山病 害虫研究会 年報	5	27-28	ほ場調査, 発生消長, 越冬, ヒメトビウンカ
熊沢隆 義・杉本 堯・谷中 清八・尾 田啓一・ 安尾俊	稲縞葉枯病に関する研究 第4報 防除時期に関 する新考察	1958	関東東山病 害虫研究会 年報	5	#29	イネ縞葉枯病, 保毒虫率, 発生消長, 発病株 率, 殺虫剤, BHC, EPN, 防除適期
熊沢隆 義・杉本 堯・谷中 清八・尾 田啓一	稲縞葉枯病に関する研究 第5報 発病とヒメトビウ ンカの発生量について	1958	関東東山病 害虫研究会 年報	5	#30	イネ縞葉枯病, 飛来量, 発生予察, ヒメトビウ ンカ
加藤義親	縞葉枯病防除時期についての一考察	1958	関東東山病 害虫研究会 年報	5	31-33	ほ場調査, イネ縞葉枯病, 生育調査, 発生消 長, 発病調査, 早植栽培, 殺虫剤, BHC, 薬 剤散布効果, 防除適期, ヒメトビウンカ
安尾俊・ 石井正 義・山口 富夫 望月正 己・常楽 武男	稲萎縮病の感染時期ならびに発病時期と被害との 関係について	1958	関東東山病 害虫研究会 年報	5	#35	ほ場調査, イネ萎縮病, 発生消長, 発病経 過, 感染時期, 発病時期別被害, 収量調査, 収量構成要素, ツマグロヨコバイ
	セジロウンカ・トビイロウンカの越冬について	1958	北陸病害虫 研究会報	6	#37	野外飼育, 室内飼育, 越冬後卵採集, セジロ ウンカ, トビイロウンカ

山崎秀信	富山県南礪地方におけるウンカの発生分布	1958	北陸病害虫研究会報	6	#38	発生分布, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ	
石崎久次・川瀬英爾	石川県におけるウンカの予察灯による消長	1958	北陸病害虫研究会報	6	#39	予察灯, 発生消長, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ	
岸本良一	ウンカ類の休眠に関する研究 Ⅱ. ツマグロヨコバイの幼虫発育に及ぼす日長と温度の作用	1959	日本応用動物昆虫学会誌	3	1	49-55	
岸本良一	ウンカ類の休眠に関する研究 Ⅲ. ツマグロヨコバイ幼虫各令の日長作用に対する感受性とそれから羽化した成虫の型について	1959	日本応用動物昆虫学会誌	3	3	200-207	
内田俊郎	ウンカ類の長・短し型の呼吸量	1959	日本応用動物昆虫学会誌	3	3	212-213	呼吸量, 翅型, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ
樋口泰三・森常也	セジロウンカの春期発生と経過について	1959	九州病害虫研究会報	5		42-44	冬期越冬, 発生予察, セジロウンカ
橋爪文次・宮原和夫	ツマグロヨコバイ越冬世代成虫の羽化並びに雑草にたいする産卵について	1959	九州病害虫研究会報	5		44-47	冬季越冬, 体長, 産卵, ツマグロヨコバイ
一丸政雄・山科裕郎	Malathion, Parathion 乳剤のツマグロヨコバイに対する殺卵効果に関する調査	1959	九州病害虫研究会報	5		49-50	殺虫剤, 殺卵, ツマグロヨコバイ
吉村清一郎・末永一	ツマグロヨコバイに対するSevinその他の効果について	1959	九州病害虫研究会報	5		51-53	殺虫剤, 農薬散布方法, 土壌施用, ツマグロヨコバイ
里見綽生・末永一	タイワンツマグロヨコバイとツマグロヨコバイの生態の比較(予報)	1959	九州病害虫研究会報	5		53-55	生態比較, ツマグロヨコバイ
末永一・吉目木三男	水田における数種ウンカ・ヨコバイ類の個体群の変動の動態	1959	九州病害虫研究会報	5		55-57	ステッキートラップ, 個体群動態, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, フタテンヨコバイ, ツマグロヨコバイ
平野宏・立石巖	糸島地方におけるウンカ群集の構成について	1959	九州病害虫研究会報	5		57-59	トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
山元四郎・末永一	九農試式サクシオン・キャッチャーによる水田害虫群集特にウンカ・ヨコバイ類の動き	1959	九州病害虫研究会報	5		59-61	捕虫装置, 害虫群集, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ, フタテンヨコバイ

糸賀繁人・関屋昭二郎	セジロウンカに対する各種農薬の殺卵効果	1959	九州農業研究	21	148-149	殺虫剤, EPN, パラチオン, EB, BHC, DDVP, 殺卵作用, セジロウンカ
宮原義雄・一丸政雄・山科裕郎	Malathionの経時変化について	1959	九州農業研究	21	149-151	殺虫剤, Marathion, 中央致死時間, ツマグロヨコバイ
伊藤春男・五十嵐良造	水稲の早植栽培と害虫発生との関係	1959	北日本病害虫研究会報	10	20-22	早植栽培, ツマグロヨコバイ
富岡暢・井上寿・春木保	山地(十勝三股)の誘致圃におけるセジロウンカの発生活長	1959	北日本病害虫研究会報	10	99-100	越冬, 発生活長, 卵巣発育, セジロウンカ
花岡岩雄・仲野恭助	セジロウンカの雑草選択性について	1959	北日本病害虫研究会報	10	100-101	寄主選択, 雑草, ヒエ, 産卵, セジロウンカ
岡崎勝太郎・花岡岩雄・布施寛	セジロウンカの早期発見に関する知見	1959	北日本病害虫研究会報	10	102-103	ほ場調査, 発生量, 産卵, セジロウンカ, トビイロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ, ヒエウンカ
伊藤春男・五十嵐良造	湛水直播と害虫発生との関係について	1959	北日本病害虫研究会報	10	201-204	発生活長, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
安尾俊・石井正義	本田の窒素量が縞葉枯病, 萎縮病の発病に及ぼす影響	1959	関東東山病害虫研究会年報	6	#10	ほ場調査, イネ縞葉枯病, イネ萎縮病, 窒素量間差異, 生育調査, すくい取り法, 発生量, 早植栽培, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
熊沢隆義・杉本堯・谷中清八	稲縞葉枯病に関する研究(第6報) 早期栽培稲の発病について	1959	関東東山病害虫研究会年報	6	#11	ほ場調査, イネ縞葉枯病, 産卵, 飛来数, 発病消長, ヒメトビウンカ
津金昭二・樋口勉	播種量と移植期が稲縞葉枯病発生におよぼす影響とその防除効果について	1959	関東東山病害虫研究会年報	6	#13	ほ場調査, イネ縞葉枯病, 播種量, 移植期, 殺虫剤, マラソン, 防除適期, ヒメトビウンカ
加藤義親	稲縞葉枯病の防除時期について(第2報)	1959	関東東山病害虫研究会	6	#14	ほ場調査, イネ縞葉枯病, 殺虫剤, BHC, 発生量, 罹病株率, 収量調査, ヒメトビウンカ

須賀秀文	埼玉県東南部のヒメトビウンカの発生量と縞葉枯病の関係	1959	関東東山病害虫研究会年報	6	#15	ほ場調査, イネ縞葉枯病, スズメノテッポウ, 苗代, 本田, 発病株率, 発生消長, 最低積算気温, ヒメトビウンカ,
池田義久・田川憲夫・柳武・早河広美・呉羽好三	Thimet処理による稲ウイルス病感染防止効果について	1959	関東東山病害虫研究会年報	6	#16	ほ場調査, イネ縞葉枯病, イネ黒条萎縮病, 殺虫剤, Thimet, サイメット, 種子粉衣, 浸根, 茎葉散布, 被害株数, 収量調査, ヒメトビウンカ
清水節夫・小林和男・柳武・関谷一郎	Thimetの稲苗処理と稲ウイルス病の発生について	1959	関東東山病害虫研究会年報	6	#17	ほ場調査, イネ縞葉枯病, イネ黒条萎縮病, 殺虫剤, Thimet, サイメット, マラソン, 収量調査, ヒメトビウンカ
和田利春	秩父郡下におけるセジロウンカの異常発生について	1959	関東東山病害虫研究会年報	6	#44	異常発生, 殺虫剤, BHC, ホリドール, マラソン, 気象条件, セジロウンカ
黒沢三樹男・古谷睦	ツマグロヨコバイに対するDipterexの効果について	1959	関東東山病害虫研究会年報	6	#45	生物検定, 殺虫剤, ディプテレックス, マラソン, 死虫率, ツマグロヨコバイ
安尾俊	シマハガレ病について (特別寄稿)	1959	北陸病害虫研究会報	7	#1-5	イネ縞葉枯病, 媒介能力, 潜伏期間, 経卵伝染, 発生消長, 生育段階, 保毒虫率, 施肥条件, 生息密度減少法, 殺虫剤, BHC, ヒメトビ
常楽武男	富山県に於けるウンカ・ヨコバイ類の発生消長	1959	北陸病害虫研究会報	7	35-42	発生消長, 巡回調査, 定点調査, すくい取り法, セジロウンカ, トビイロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
深沢永光・新村逸郎・高橋浅夫	稲縞葉枯病の感染時期と防除 (第II報) ヒメトビウンカの実態並びにその棲息密度と稲縞葉枯病との関係	1959	関西病虫害研究会報	2	#12-16	イネ縞葉枯病, 発生量, 発病株率, 防除適期, ヒメトビウンカ
末永一・吉村清一郎・水田俊春	土壌施薬による水稻害虫の防圧効果	1960	九州病害虫研究会報	6	9-12	殺虫剤, parathion, methy-parathion, lindene, Dipterex, Metasystox, 改良
末永一・奈須壮兆	イネ縞葉枯病とヒメトビウンカの発生の実態	1960	九州病害虫研究会報	6	12-14	Metasystox, Thimet, Disyston, Sevin, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグイネ縞葉枯病, ヒメトビウンカ

橋爪文 次・宮原 和夫	ツマグロヨコバイ越冬世代の羽化並びに雑草産卵 について(第2報)	1960	九州病害虫 研究会報	6	14-18	産卵, 越冬, 卵巣発育, ツマグロヨコバイ
末永一・ 奈須壯 兆・里見 綽生	ツマグロヨコバイ発生型の年次変動と稲萎縮病の 発生動向	1960	九州病害虫 研究会報	6	19-20	ウイルス媒介イネ萎縮病, ツマグロヨコバイ
亀之園藤 七・志岐 寛彦	ツマグロヨコバイ卵に対するSevin及びEPN乳剤の 殺卵能力	1960	九州病害虫 研究会報	6	20-22	ツマグロヨコバイ, 殺虫剤, Sevin, EPN, Malathion, 殺卵
末永一・ 吉目木三 男・須藤 弘仁	sticky trapによる水田圃場内の数種ウンカ・ヨコバ イ類の発生の動態	1960	九州病害虫 研究会報	6	22-24	個体群動態, sticky trap, トビイロウンカ, セジ ロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
末永一・ 吉目木三 男・持田 作・須藤 弘仁	筑後市周辺におけるウンカ・ヨコバイ類の発生調査 ーサクシオンキャッチャーによる広い地域の圃場調 査への応用ー	1960	九州病害虫 研究会報	6	24-26	サクシオンキャッチャー, 個体群動態, トビイロ ウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロ ヨコバイ
山元四 郎・末永 一	主要害虫の野外における調査方法の研究ーサク シオンキャッチャーによる採集面積の研究ー	1960	九州病害虫 研究会報	6	26-28	サクシオンキャッチャー, 個体群動態, トビイロ ウンカ, セジロウンカ, ツマグロヨコバイ
北方節 夫・宮原 義雄・福 田秀男	圃場における4種殺虫剤のウンカ・ヨコバイ類に対 する効果	1960	九州病害虫 研究会報	6	28-31	殺虫剤, Malathion, Sevin, EPN-marathon, Dipterex, トビイロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマ グロヨコバイ
北方節 夫・宮原 義雄・福 田秀男	セビン剤による苗代期の集団防除効果について	1960	九州病害虫 研究会報	6	31-33	殺虫剤, Sevin, Malathion, 苗箱施用
下村休三 郎・大内 義久	種子島における主要害虫の種類と発生期について	1960	九州病害虫 研究会報	6	36-39	個体群動態, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒ メトビウンカ, ツマグロヨコバイ
奈須壯 兆・末永 一	ツマグロヨコバイの短翅(擬成虫)について	1960	九州農業研 究	22	122- 125	翅型発現性, 外部形態, 内部形態, ツマグロ ヨコバイ

宮原和夫・橋爪文次	ツマグロヨコバイ卵に対するセビン剤の殺卵効力について	1960	九州農業研究	22	125-126	生物検定, 殺虫剤, セビン, マラソン, BHC, 殺卵作用, ツマグロヨコバイ
糸賀繁人・堀切正俊・馬場口勝男	ツマグロヨコバイに対するセビンの防除効果について	1960	九州農業研究	22	126-128	生物検定, 殺虫剤, セビン, マラソン, 致死速度, 残効性, ほ場試験, ツマグロヨコバイ
田村多利・是石鞏	ツマグロヨコバイに対するセビンの効果について	1960	九州農業研究	22	128-129	生物検定, 殺虫剤, セビン, DDVP, マラソン, 発生消長, イネ萎縮病, ツマグロヨコバイ
宮原義雄・北方節夫	Thimetによる水稻の浸根処理(第1報)	1960	九州農業研究	22	129-131	殺虫剤, Thimet, セビン, 残効性, 殺卵作用, 魚毒性, ツマグロヨコバイ
渡辺忻悦	秋田県におけるトビイロウンカの異常発生について	1960	北日本病害虫研究会報	11	75-76	坪枯れ, 環境条件, 被害解析, 収量調査
船迫勝男・加藤直義・井口真造	温度条件がツマグロヨコバイの産卵および発育におよぼす影響	1960	北日本病害虫研究会報	11	77-78	温度条件, 卵期間, 孵化率, 幼虫期間, 産卵前期間, 産卵, 卵塊数, 世代間差異, ツマグロヨコバイ
船迫勝男・加藤直義・井口真造	ツマグロヨコバイの産卵選択性	1960	北日本病害虫研究会報	11	78-79	寄主選択, 雑草, ヒエ, 産卵, ツマグロヨコバイ
安部忠三郎・板垣賢一	ツマグロヨコバイによる水稻加害について	1960	北日本病害虫研究会報	11	79-81	発生予察, 予察灯, 被害解析, 収量構成要素, 収量調査, ツマグロヨコバイ
鈴木重雄	畑作水稻にみられた変色不稔について	1960	北日本病害虫研究会報	11	81-82	被害解析, 収量構成要素, 収量調査, セジロウンカ
安尾俊・石井正義	窒素の施用量が稲縞葉枯病の感染期間におよぼす影響(第1報)	1960	関東東山病害虫研究会	7	#13	イネ縞葉枯病, 窒素施用量, 防除適期, ヒメトビウンカ
高橋幸雄・小林和男	稲縞葉枯病の防除時期について	1960	関東東山病害虫研究会年報	7	#15	ほ場調査, イネ縞葉枯病, イネ黒条萎縮病, 誘殺燈, トラップ, 防除適期, ヒメトビウンカ

安尾俊・山口富夫・石井正義・三田久男	新農薬による稲ウイルス病媒介昆虫の防除試験	1960	関東東山病害虫研究会年報	7	#16	ほ場調査, 殺虫剤, サイメット, ディメトエート, TP474, TP2001, ホリドール, イネ縞葉枯病, 発生消長, 発病株率, ヒメトビウンカ	
柳武・清水節夫・池田義久・関谷一郎	稲ウイルス病を媒介するヒメトビウンカに対するサイメット粒剤の防除効果	1960	関東東山病害虫研究会年報	7	#17	ほ場調査, イネ縞葉枯病, イネ黒条萎縮病, 生育状況, 発病調査, 収量調査, 粒剤, 浸根処理, ヒメトビウンカ	
市川久雄・中村行雄	稲黄萎病と栽培法との関係	1960	関東東山病害虫研究会年報	7	#18	ほ場調査, イネ黄萎病, 栽培法, 品種間差異, ツマグロヨコバイ	
新海昭	稲黄萎病の流行地におけるツマグロヨコバイの伝染虫率	1960	関東東山病害虫研究会年報	7	#19	生物検定法, ほ場調査, イネ黄萎病, 環境条件, 伝染虫率, ウイルス獲得, ススメノテッポウ, ツマグロヨコバイ	
黒沢三樹男・下松明雄・古谷睦・岡谷美幸	ツマグロヨコバイに対するバイエル4895の効果について	1960	関東東山病害虫研究会年報	7	#51	生物検定, 殺虫剤, バイエル4895, セビン, バイエル4949, ほ場調査, ツマグロヨコバイ	
常楽武男	ツマグロヨコバイ及びウンカ類に対するセビン剤, DM剤の効果	1960	北陸病害虫研究会報	8	60-62	生物検定, 殺虫剤, BHC, DDT, DM, マラソン, ホリドール, EPN, ディプテレックス, セビン, 防除効果, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ	
杉本達美・杉原収	ツマグロヨコバイの性別薬剤抵抗性(予報)	1960	北陸病害虫研究会報	8	62-64	生物検定, 薬剤抵抗性, 虫体散布法, ガス体散布法, イネ体吸収法, 殺虫剤, マラソン, メチルホリドール, 雌雄間差異, 昆虫体内薬理作用雌雄間差異, ツマグロヨコバイ	
竹沢秀夫	トビイロウンカの越冬に関する研究 I. 自然温下における卵態越冬ならびに越冬後の発育経過	1961	日本応用動物昆虫学会	5	1	40-45	越冬, 卵態越冬, トビイロウンカ
竹沢秀夫	トビイロウンカの越冬に関する研究 II. 秋末期における産卵時期と卵態越冬との関係	1961	日本応用動物昆虫学会	5	2	134-140	産卵, 産卵時期, 越冬, 卵態越冬, トビイロウンカ
三宅利雄・藤原昭雄	セジロウンカの休眠と寄主選択	1961	日本応用動物昆虫学会誌	5	3	174-179	翅型発現性, 休眠, 卵態越冬, 寄主選択, 産卵, セジロウンカ

吉目木三男・須藤弘仁・末永一	ウンカ類の活力を比較する場合に利用される耐性試験方法に関する研究	1961	九州病害虫研究会報	7	34-36	生物検定, トビイロウンカ, セジロウンカ, ツマグロヨコバイ, ライトトラップ
持田作・須藤弘仁・末永一	サクシオンキャッチャーによるトビイロウンカの坪枯れ被害の発生予想	1961	九州病害虫研究会報	7	37-39	サクシオンキャッチャー, 発生予察, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
吉目木三男・下川敬之・末永一	ウンカ類の生態識別に関するpaper chromatographyの応用	1961	九州病害虫研究会報	7	39-42	遊離アミノ酸, トビイロウンカ
宮原和夫・橋爪文次	ツマグロヨコバイ越冬世代の羽化並びに雑草産卵について(第3報)越冬次世代成虫羽化状況の実験的予察について	1961	九州病害虫研究会報	7	42-44	発生予察, ツマグロヨコバイ
樋口泰三・市川伊三郎	ヒメトビウンカに対する数種殺虫剤の効果	1961	九州病害虫研究会報	7	62-64	殺虫剤, NAC, BN, 改良DDT, DN, Malathion, ヒメトビウンカ, 稿葉枯病
平野宏	ツマグロヨコバイの連年集団防除と稲萎縮病の推移	1961	九州病害虫研究会報	7	64-66	ツマグロヨコバイ, 個体群動態, 稲萎縮病
宮原義雄・山科裕郎	キイロショウジョウバエ, ツマグロヨコバイの殺虫剤感受性に及ぼす温度の影響	1961	九州病害虫研究会報	7	66-68	殺虫剤感受性, Malathion, EPN, Parathion, Metyl Parathion, DDT
末永一・山元四郎・水田俊春	土壌施薬による水稻害虫の防圧効果(第2報)	1961	九州病害虫研究会報	7	70-71	殺虫剤, NAC, γ -BHC, Lindene, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
熊本勝己	Sevin, Lindene剤土壌施用による水稻病害虫の防除効果	1961	九州病害虫研究会報	7	72-74	殺虫剤, セビン, リンデン, PCP, Eパラチオン, ディプテレックス, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ, 紋枯
升田武夫・福田秀夫	殺虫剤の土壌施薬に関する基礎的研究 第1報 土壌に施用された 1-naphtyl N-methylcarbamate の水稻への移行	1961	九州病害虫研究会報	7	76-78	殺虫剤, NAC, ツマグロヨコバイ
奈須壮兆・末永一	稲ウイルス病保毒虫検定の一方法について	1961	九州農業研究	23	213-215	生物検定, 幼苗検定, イネ萎縮苗, イナズマヨコバイ, ツマグロヨコバイ

田村多利・小林研三	ヒメビウンカの発生と稿葉枯発病との関係	1961	九州農業研究	23	215-216	殺虫剤, BHC, 防除適期, 稲稿葉枯病, ヒメビウンカ
滝口政数・酒井久夫・熊本勝己	本田初期ウンカ類の防除について	1961	九州農業研究	23	216-217	殺虫剤, NAC, セビン, マラソン, メチルパラチオン, トビイロウンカ, セジロウンカ
宮原義雄・北方節夫	ツマグロヨコバイ1令幼虫に対する数種殺虫剤の残効	1961	九州農業研究	23	217-221	殺虫剤, セビン, EPN, メチルパラチオン, マラソン, Dipterex, 付着薬量, ツマグロヨコバイ
船迫勝男・大村文雄・井口真造	ウンカ類, 主にツマグロヨコバイの産卵分布と消長	1961	北日本病害虫研究会報	12	74-76	分布, 産卵, 産卵最盛期, ツマグロヨコバイ
伊藤春男・五十嵐良造	ウンカ類に対するデナポンの効果	1961	北日本病害虫研究会報	12	151-152	殺虫剤, 殺虫剤残効性, GM水和剤, デナポン水和剤, マラソン乳剤, ほ場調査, ツマグロヨコバイ, ヒメビウンカ, セジロウンカ
花岡岩雄・仲野恭助	セジロウンカの越冬ならびに発生予察に関する研究 第3報 卵の越冬適応性について	1961	北日本病害虫研究会報	12	163-165	卵休眠, 温度条件, 日長, セジロウンカ
花岡岩雄・仲野恭助	セジロウンカの越冬ならびに発生予察に関する研究 第4報 寄主植物の選択性について	1961	北日本病害虫研究会報	12	166-167	寄主選択, 産卵選択, ヒエ, 雑草, セジロウンカ
鈴木照麿	ヘリコプタ散布管見	1961	関東東山病害虫研究会	8	#1-2	ヘリコプタ, ウンカ類
新海昭	稲黄萎病の流行地におけるツマグロヨコバイの伝染虫率(続報)	1961	関東東山病害虫研究会	8	#12	イネ黄萎病, 環境条件, スズメノテッポウ, 伝染虫率, 罹病株率, ツマグロヨコバイ
林清道	イネ黄萎病発生地域の拡大とその原因について	1961	関東東山病害虫研究会	8	#14	イネ黄萎病, 苗の移動, ツマグロヨコバイ
久保田湊・笠井忠雄・飛田蔵人・塚田益夫・伊藤徹・柳武	松代町における稲ウイルス病の大発生とその実態について	1961	関東東山病害虫研究会年報	8	#15	ほ場調査, イネ稿葉枯病, イネ黒条萎縮病, 発生消長, 殺虫剤散布, ホリドール, マラソン, 発病指数, ヒメビウンカ

小菅喜久 弥・保坂 義行	ドリ剤による稲苗処理のヒメビウンカならびに縞 葉枯病の防除効果	1961	関東東山病 害虫研究会 年報	8	#16	生物検定, ポット試験, 殺虫剤, エンドリン, デ イルドリ, BHC, 発生消長, すくい取り法, イ ネ縞葉枯病, イネ黒条萎縮病, 罹病株率, 収 量調査, ヒメビウンカ	
宮沢俊 治・室賀 弥三郎・ 宮入芳 明・市川 久雄	稲黄萎病のヘリコプタによる集団防除について	1961	関東東山病 害虫研究会 年報	8	#17	ヘリコプタ, 殺虫剤散布, マラソン, 誘殺数, イ ネ黄萎病, ツマグロヨコバイ	
三田久 男・南部 俊明	冬期のウンカ・ヨコバイ類採集の1方法	1961	関東東山病 害虫研究会 年報	8	#42	昆虫採集法, すくい取り法, ツマグロヨコバイ, ヒメビウンカ	
高野光之 丞・相馬 茂・石川 元一・村 上正雄	トビイロウンカの被害解析	1961	関東東山病 害虫研究会 年報	8	#43	被害解析, 品種間差異, 生育ステージ, 収量 調査, 収量構成要素, 登熟障害, トビイロウン カ	
杉本達美	昆虫の性別薬剤抵抗性に関する研究 第1報 ツ マグロヨコバイの性別薬剤抵抗性	1961	北陸病虫害 研究会報	9	18-20	生物検定, 薬剤抵抗性, 虫体散布法, 薬液稲 体散布法, 殺虫剤, マラソン, GM, デナボン, バイジツ, BHC, 雌雄間差異, 昆虫体内薬理 作用雌雄間差異, ツマグロヨコバイ	
友永富・ 高島敬一	福井県におけるウンカ・ヨコバイ類の発生予察につ いて	1961	北陸病虫害 研究会報	9	22-24	発生予察, 予察灯, 気象条件, 前期誘殺量, 後期誘殺量, 相関関係, セジロウンカ, トビイ ロウンカ, ツマグロヨコバイ	
矢尾板恒 雄・小野 塚清	新潟県におけるイネシマハガレ病の発生(第2報)	1961	北陸病虫害 研究会報	9	39-41	イネ縞葉枯病, 罹病株率, 予察灯, 誘殺数, 発生消長, すくい取り法, 発生世代数推定, 罹病消長, 保毒虫, ヒメビウンカ	
高橋保 雄・関谷 一郎	イネ黄萎病ウイルス保毒ツマグロヨコバイの組織細 胞	1962	日本応用動 物昆虫学会 誌	6	2	90-94	イネ黄萎病, 脂肪細胞, 細胞組織, ツマグロヨ コバイ
森本尚 武・河野 達郎	1卵塊の卵粒数の変異について	1962	日本応用動 物昆虫学会 誌	6	2	158- 160	卵塊, 卵粒数, セジロウンカ

鮫島徳造・永井清文	ツマグロヨコバイの発生経過とイネ黄萎病との関係	1962	日本応用動物昆虫学会誌	6	4	267-273	イネ黄萎病, 発生予察, ウイルス媒介時期, ツマグロヨコバイ
持田作・久野英二	ウンカ・ヨコバイ類の予察灯による誘殺数の消長と予察田における棲息数との関係	1962	九州病害虫研究会報	8		6-9	発生予察, ステッキートラップ, サクションキャッチャー, 予察灯, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
糸賀繁人・大内義久	セジロ, トビイロウンカの第一次異常飛来までの発生経過について	1962	九州病害虫研究会報	8		9-11	個体群動態, 発生予察, ライムトラップ, ライトトラップ, トビイロウンカ, セジロウンカ
熊本勝己	水稲直播栽培における害虫類の発生消長とウイルス病の発病について	1962	九州病害虫研究会報	8		33-35	直播栽培, 移植栽培, 萎縮病, 黄萎病, 稿葉枯病, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
山下幸彦・栗原徳二	NACの土壤施薬によるツマグロヨコバイの防除効果(水稲苗代時に適用した場合の効果)	1962	九州病害虫研究会報	8		41-43	殺虫剤, NAC, ツマグロヨコバイ, 苗代
宮原和夫・橋爪文次	ツマグロヨコバイの実験的発生予察法について 第4報 ツマグロヨコバイ越冬世代成虫の卵巣成熟状況並びに雑草産卵について	1962	九州農業研究		24	164-165	越冬世代成虫, 予察灯, 卵巣発育, 発生予察, 発生消長, ススメノテッポウ, ツマグロヨコバイ
福田兼四郎	八郎潟周辺の病害虫の発生について	1962	北日本病害虫研究会報		13	87-88	地下水位, 環境条件, 発生量, 掬い取り法, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ, セジロウンカ
船迫勝男・大村文雄・井口真造	ウンカ類, 主にツマグロヨコバイの産卵分布と消長 第2報	1962	北日本病害虫研究会報		13	96-97	ひこばえ, 産卵分布, 産卵消長, ツマグロヨコバイ
伊藤春男・五十嵐良造・伊藤正吾	2. 3の防除機具による水稲害虫防除試験	1962	北日本病害虫研究会報		13	162-163	散布機具の能率, 防除効果, 殺虫剤, デナポン, フミロン, ブラエスM, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
関谷一郎・柳武原田俊男・高橋幸雄・岩崎鬼八	ヘリコプタによる穂いもち病とツマグロヨコバイ同時防除のための液剤散布効果	1962	関東東山病害虫研究会年報		9	#14	ヘリコプタ, 空中散布, 穂いもち病, 殺虫剤, 水銀水和剤, マラソン, カーバガン, デイブテレックス, 薬剤防除効果, 発生量, ツマグロヨコバイ

小森昇・岩本静之・高野誠義	稲黄萎病の感染時期について	1962	関東東山病害虫研究会年報	9	#15	イネ黄萎病, 発生消長, 感染時期, 栽培法, ツマグロヨコバイ
中村知義・林清道・宮沢俊治・柳武	長野県松本平におけるイネ黄萎病のヘリコプタによる集団防除 - 防除効果の概要について -	1962	関東東山病害虫研究会年報	9	#16	ヘリコプタ, 空中散布, イネ黄萎病, 発生消長, 殺虫剤, マラソン, 防除効果, 予察灯, ツマグロヨコバイ
林清道・宮沢俊治・中村知義・柳武	長野県松本平におけるイネ黄萎病のヘリコプタによる集団防除 - 実施結果の問題点について -	1962	関東東山病害虫研究会年報	9	#17	ヘリコプタ, 空中散布, イネ黄萎病, プラニメーター, 発生量, 殺虫剤, 防除効果, ツマグロヨコバイ
久保田湊	長野県埴科地方におけるイネウイルス病のヘリコプタによる集団防除	1962	関東東山病害虫研究会	9	#18	ヘリコプタ, 空中散布, イネ黒条萎縮病, イネ縞葉枯病, 発生量, 防除効果, ヒメトビウンカ
安尾俊・石井正義	イネ萎縮病の発生と栽培様式との関係	1962	関東東山病害虫研究会	9	#19	イネ萎縮病, 栽培様式間差異, 発病株率, すくい取り法, 媒介昆虫, ツマグロヨコバイ
小針幸省	水稲田植時期と縞葉枯病発生との関係	1962	関東東山病害虫研究会	9	#20	イネ縞葉枯病, 発病株率, すくい取り法, 払い落とし法, 発生消長, ヒメトビウンカ, トビイロ
安尾俊・山口富夫	イネ縞葉枯病に対する品種抵抗性に関する研究 IV ヒメトビウンカの孵化幼虫数および幼虫生育におよぼす品種の影響	1962	関東東山病害虫研究会年報	9	#21	イネ縞葉枯病, 品種抵抗性, 孵化幼虫数, 幼虫期間, 死虫率, 成虫体重, ヒメトビウンカ
柳武・関谷一郎・池田義久・松本睦	イネウイルス病を媒介するヒメトビウンカの発生消長とその集団防除	1962	関東東山病害虫研究会年報	9	#54	イネ黒条萎縮病, イネ縞葉枯病, ヘリコプタ, 空中散布, 殺虫剤, マラソン, 防除効果, ヒメトビウンカ
内藤篤	ツマグロヨコバイ幼虫の脱皮時におけるの植物組織内への口針挿入状態	1962	関東東山病害虫研究会	9	#55	唾液鞘, 維管束, 脱皮, 口針挿入状態, ツマグロヨコバイ
高島敬一	福井県下のウンカ・ヨコバイ類生息の地域性について	1962	北陸病虫害研究会報	10	18-19	発生消長, すくい取り法, 地域別隣接時期間相関係数推移状況, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, トビイロウンカ, ツマグロヨコバイ
城野晋	トビイロウンカの翅型決定に関する密度効果の分析	1963	日本応用動物昆虫学会誌	7	1	45-48 翅型発現性, 密度効果, 相互刺激, 雌雄間差異, 日長条件, 温度条件, トビイロウンカ, ヒメトビウンカ

奥村隆史	セジロウンカおよびトビイロウンカの成虫期の飼育条件による卵休眠の誘起	1963	日本応用動物昆虫学会	7	4	285-290	休眠, 休眠卵, 日長条件, 温度条件, 密度条件, トビイロウンカ, セジロウンカ
高橋保雄	イネ黄萎病ウイルス保毒ツマグロヨコバイの細胞組織における小球形成とその意義	1963	日本応用動物昆虫学会	7	4	350-351	イネ黄萎病, ウイルス, 脂肪細胞, 小球, 脂質, リポタンパク質, ツマグロヨコバイ
久野英二・山元四郎・里見緯生・大内義久・岡田忠虎	大面積の水田における害虫の調査方法, とくに負の2項分布の適用について	1963	九州病害虫研究会報	9		33-36	負の2項分布, サンプルング法, 標本調査, 分散分析法, NAC, BHC, ツマグロヨコバイ
山下幸彦・栗原徳二	NACの土壤施薬によるツマグロヨコバイの防除効果 第II報	1963	九州病害虫研究会報	9		37-39	殺虫剤, NAC, ツマグロヨコバイ
吉村清一郎・黒瀬てい三・酒井久夫・大楠山元四郎・末永一	集団水中施薬による稲作害虫防除効果について	1963	九州病害虫研究会報	9		45-47	殺虫剤, NAC, リンデン, ナックリン粒剤, DDT乳剤, デナポン乳剤, ホリドール乳剤, ストレプトマイシン, PCP粒剤, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
宮原和夫	飼料作物害虫の発生相に関する研究(予報)	1963	九州病害虫研究会報	9		63-64	飼料作物, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
船迫勝男・大村文雄・井口真造	ツマグロヨコバイの実験的予察法について 第5報 ツマグロヨコバイ越冬世代成虫の卵巣成熟状況並びに雑草産卵について	1963	九州農業研究	25		168-169	越冬世代成虫, 予察灯, 卵巣発育, 発生予察, 発生消長, 雑草, ツマグロヨコバイ
高野誠義・高野十吾・小森昇・岩本静之	ウンカ類, 主にツマグロヨコバイの世代数の検討と各世代の発生時期について	1963	北日本病害虫研究会報	14		84-85	発生消長, 産卵消長, ひこばえ, 年間世代数
	イネ黄萎病の発生機構に関する研究 第1報 栽培時期と発病との関係	1963	関東東山病害虫研究会年報	10	#1		イネ黄萎病, 栽培時期, 発病株率, ツマグロヨコバイ

安尾俊・石井正義・小森昇・岩本静之	イネ黄萎病の発生機構に関する研究 第2報 第1次感染と第2次感染について	1963	関東東山病虫害研究会年報	10 #2	イネ黄萎病, 第1次感染, 第2次感染, 感染株率, 発病株率, 保毒虫率, ツマグロヨコバイ
安尾俊・石井正義・山口富夫	イネ萎縮病の発生とツマグロヨコバイの発生量との関係	1963	関東東山病虫害研究会年報	10 #3	イネ萎縮病, すくい取り法, 栽培法間差異, 発生量, 発病株率, ツマグロヨコバイ
中垣至郎	ツマグロヨコバイの越冬について	1963	関東東山病虫害研究会	10 #43	イネ黄萎病, 棲息場所, 産卵調査, 保毒虫率, ツマグロヨコバイ
内藤篤	染色法によるヨコバイ類の加害部位(口針挿入部位)の検出方法	1963	関東東山病虫害研究会	10 #44	食痕, 唾液鞘, 口針鞘物質, 染色液, 検出方法, ツマグロヨコバイ
熊沢隆義・谷中清八・尾田啓一・豊田文雄	秋期のツマグロヨコバイに対する航空散布効果調査	1963	関東東山病虫害研究会年報	10 #45	ヘリコプタ, 空中散布, H式調査法, 殺虫剤, マラソン, 防除効果, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ
宮沢俊治・柳武	各種殺虫剤のツマグロヨコバイ最終世代幼虫に対する秋期散布効果	1963	関東東山病虫害研究会年報	10 #46	殺虫剤, BHC, DDT, サクシオンキャッチャー, 吹出法, すくい取り法, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ
間宮哲・二宮融	農薬空中散布によるツマグロヨコバイの防除について	1963	関東東山病虫害研究会	10 #47	ヘリコプタ, 空中散布, 生息密度調査, H式測定板, 防除効果, ツマグロヨコバイ
林清道・窪田政衛・苅間昭光	ウンカ類の越冬幼虫に対するヘリコプタによるマラソン粉剤の秋期集団防除効果	1963	関東東山病虫害研究会年報	10 #49	ヘリコプタ, 空中散布, 殺虫剤, マラソン, H式調査板, 防除効果, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ
大竹昭郎	常発地でのセジロウンカ個体群の1962年度調査	1963	北陸病虫害研究会報	11 #15	坪枯れ, 常発地, 生息密度, セジロウンカ
高島敬一	福井県におけるツマグロヨコバイ発生の動態について	1963	北陸病虫害研究会報	11 15-17	発生年次消長, 年間経過, 気象条件, 地域間差異, すくい取り調査, 予察灯, 予察灯誘殺数, 隣接世代間誘殺量相関, 群集構成, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ

石崎久 次・川瀬 英爾	BHC剤の水口処理による水稻害虫防除について	1963	北陸病虫害 研究会報	11	34-38	殺虫剤, 水口処理, 水面処理, BHC, ガンマド ル, リンデン, ホリドール, EPN, 防除効果, 収 量調査, セジロウンカ, ツマグロヨコバイ	
井上義孝	昭和35年度稲シマハガレ病の発生状況と2, 3環 境との関係実態調査	1963	関西病虫害 研究会報	5	#15-26	イネ縞葉枯病, 予察灯, 誘殺消長, 発生消 長, 発病程度, ヒメトビウンカ	
藤村俊彦	ツマグロヨコバイの予察灯誘殺数と圃場密度・気象 との関係	1963	日本応用動 物昆虫学会 中国支部会	5	22-23	すくい取り法, 発生消長, 予察灯, 誘殺消長, 世代数, 気象条件, 湿度, 降水量, ツマグロヨ コバイ	
持田作	トビイロウンカの産卵について 第2報 卵塊卵粒 数と産卵能力との関係	1964	日本応用動 物昆虫学会	8	2	141- 148	
宮原和 夫・阿部 恭洋	ヒメトビウンカ第2回成虫の発生予察について(第1 報)	1964	九州病虫害 研究会報	10		5-8	個体群動態, サクションキャッチャー, 捕虫 網, ヒメトビウンカ
重永知 明・古山 覚	ツマグロヨコバイ越冬世代の黄萎病媒介について	1964	九州病虫害 研究会報	10		8-10	ツマグロヨコバイ, イネ黄萎病
大内義 久・末永 一	クロスジツマグロヨコバイの稲萎黄病ウイルス媒介 能力について	1964	九州病虫害 研究会報	10		10-12	クロスジツマグロヨコバイ, ツマグロヨコバイ, イネ萎黄病
熊本勝 己・横山 佐太正・ 酒井久夫	混合農薬による稲作病虫害の省力防除例について	1964	九州病虫害 研究会報	10		71-75	ほ場試験, 殺虫剤, 省力防除, サクション キャッチャー, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
永井清 文・岩橋 哲彦・後 藤重喜	稲黄萎病の生態並びに防除に関する研究 第1報 ツマグロヨコバイのウイルス保毒と温度との関係に ついて	1964	九州農業研 究	26		153- 154	温度反応, ウイルス保毒, ウイルス媒介能 力, ウイルス潜伏期間, イネ黄萎病, ツマグロ ヨコバイ
岩橋哲 彦・永井 清文・後 藤重喜	稲黄萎病の生態並びに防除に関する研究 第2報 ツマグロヨコバイのウイルス媒介と温度との関係に ついて	1964	九州農業研 究	26		155- 156	温度反応, ウイルス保毒, ウイルス媒介能 力, イネ黄萎病, ツマグロヨコバイ
後藤重 喜・岩橋 哲彦・永 井清文	稲黄萎病の生態並びに防除に関する研究 第3報 稲の感染並びに発病と温度との関係について	1964	九州農業研 究	26		157- 158	温度反応, ウイルス潜伏期間, イネ黄萎病, ツマグロヨコバイ

伊藤春 男・橋本 保・五十 嵐良造・ 関沢博・ 伊藤正 吾・千葉 文一 市川久雄	水稻病害虫の省力防除に関する研究 病害虫の同時防除（特別講演）	1964 北日本病害 虫研究会報	15	#8-9	省力防除, 殺虫剤, ツマグロヨコバイ, ヒメビ ウンカ
塚田益 夫・原田 敏男・柴 本精・黒 岩匡 石井正義	ヘリコプタによる液剤の穂いもち病, ツマグロヨコバ イの防除効果 各地域における栽培時期とイネ縞葉枯病の防除効 果について	1964 関東東山病 害虫研究会 年報	11	#1-4	すくい取り法, 防除効果, 殺虫剤, ホスミル, スミメル, ブラエス, EPN, ブラスリン, ブラサ ン, ピソ, アソミック, PMD, スミチオン, アソジ ン, スミフミ, フミB, スミマップ, マラソン, ブラ エスM, 水銀, アソジン, デプテレックス, バイ ジット, DDT, デナポン, エルサン, PMD, ツマ グロヨコバイ, ヒメビウンカ
石井正 義・内藤 篤 安尾俊・ 石井正 義・山口 富夫 安尾俊・ 石井正義 高橋保 雄・奈須 壮兆・市 川久雄	ヒメビウンカの摂食活動およびウイルス媒介にお よぼす温度の影響 早植および普通栽培におけるイネ萎縮病の感染時 期 窒素の施用量が萎縮病の感染および発病におよ ぼす影響 血清反応によるイネ黄萎病ウイルス(RYDV)保毒 虫の簡易識別法について	1964 関東東山病 害虫研究会 年報	11	#13	ヘリコプタ, 空中散布, 防除効果, 殺虫剤, PMD, マラソン, ツマグロヨコバイ
		1964 関東東山病 害虫研究会 年報	11	#17	イネ縞葉枯病, 防除面積間差異, 栽培時期, 地域間差異, 防除効果, ヒメビウンカ
		1964 関東東山病 害虫研究会 年報	11	#18	イネ縞葉枯病, 食痕数, 雌雄間差異, 維管 束, 葉脈, 葉肉, 温度条件, ヒメビウンカ
		1964 関東東山病 害虫研究会 年報	11	#19	イネ萎縮病, 感染時期, 栽培時期, ツマグロヨ コバイ
		1964 関東東山病 害虫研究会 年報	11	#20	イネ萎縮病, 窒素施肥量, 防除時期, ツマグ ロヨコバイ
		1964 関東東山病 害虫研究会 年報	11	#21	イネ黄萎病, 血清反応, イネ黄萎病抗原, 抗 血清, 簡易識別法, 保毒虫率, ツマグロヨコバ イ

小森昇・高野誠義 西尾善重・滝田泰章・岩城寛・豊田文雄・青木満・片山栄助	イネ黄萎病の流行地における品種間差異	1964	関東東山病虫害研究会	11 #22	イネ黄萎病, 抵抗性品種間差異, 見取り法, ツマグロヨコバイ
林清道・小松正一 岩本静之・君崎喜之助 豊田文雄・市川保・木村満	栃木県におけるイネ黄萎病の発生経過について	1964	関東東山病虫害研究会 年報	11 #23	イネ黄萎病, 早期栽培, 保毒虫, ツマグロヨコバイ
宮沢俊治・早河広美 早河広美・池田義久・寺沢忠孝・小林和男 久保田湊・柴本精 三田久男・南部俊明	イネ黄萎病発生地域における無防除地区の被害例	1964	関東東山病虫害研究会	11 #24	ヘリコプタ, 空中散布, 越冬, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ
	茨城県におけるイネ黄萎病防除の成果	1964	関東東山病虫害研究会 年報	11 #25	イネ黄萎病, ヘリコプタ, 空中散布, 地上散布, 予察灯, 発生消長, 防除効果, 発病調査, ツマグロヨコバイ, 防除適期
	イネ黄萎病の空中散布による防除効果	1964	関東東山病虫害研究会 年報	11 #26	イネ黄萎病, ヘリコプタ, 空中散布, 越冬虫, 羽化率, 防除効果, 発病株率, ツマグロヨコバイ
	ヘリコプタによるイネ黄萎病の防除回数とその効果	1964	関東東山病虫害研究会 年報	11 #27	ヘリコプタ, 空中散布, イネ黄萎病, 発病株率, 防除適期, ツマグロヨコバイ
	ヘリコプタの液剤散布による穂いもち病, ニカメイチュウおよびツマグロヨコバイの同時防除効果について	1964	関東東山病虫害研究会 年報	11 #61	ヘリコプタ, 空中散布, 殺虫剤, スミチオン, バイジット, 防除効果, ツマグロヨコバイ
	ウンカ, ヨコバイ類の採集法	1964	関東東山病虫害研究会 年報	11 #62	採集法, すくい取り法, 吸い込み法, 吹き出し法, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
	ツマグロヨコバイ雌斑型成虫の発生消長	1964	関東東山病虫害研究会 年報	11 #63	雌斑型成虫, 天敵, 寄生, アタマアブ, 誘蛾灯, 発生消長, 吹き出し法, ツマグロヨコバイ

熊沢隆 義・西尾 善重・谷 中清八・ 尾田啓 一・正木 十二郎・ 三田久 男・南部 俊明 伊藤泰次	栃木県におけるマラソン抵抗性ツマグロヨコバイ ツマグロヨコバイの冬季防除(第1報)	1964	関東東山病 害虫研究会 年報	11	#64	ヘリコプタ, 空中散布, マラソン抵抗性, マラソン 使用量, ツマグロヨコバイ
秋野浩二	DDTに対するツマグロヨコバイの忌避類似反応	1964	関東東山病 害虫研究会 年報	11	#66	イネ黄萎病, 冬季防除, 春季防除, 殺虫剤, デナボン, 防除効果, 発生消長, サクシオン キャッチャー, 防除適期, ツマグロヨコバイ 殺虫剤, DDT, パラチオン, 忌避類似反応, ツ マグロヨコバイ
木暮幹 夫・黒沢 次男・中 里筆二 児玉三 郎・遠藤 賢治 竹内正	農薬の水口施用による水稻初期害虫の防除につ いて 佐渡におけるツマグロヨコバイ発生量の地域性に ついて 水面施用剤に関する研究 室内試験における各種 殺虫剤の効力評価	1964	関東東山病 害虫研究会 年報	11	#69	水口施用, 殺虫剤, BHC, エチカン, イネ縞葉 枯病, すくい取り法, ヒメトビウンカ
石崎久 次・川瀬 英爾 岡本大二 郎・寺口 睦雄・井 上斉	殺虫剤の水面施用による水稻害虫防除について ヒメトビウンカに対する2・3殺虫剤の防除効果につ いて	1964	北陸病虫害 研究会報	12	#1-2	すくい取り法, 発生量, 地域間差異, 気象条 件, 相関関係, 根雪期間, 越冬期平均気温, ツマグロヨコバイ
		1964	北陸病虫害 研究会報	12	35-37	生物検定, 殺虫剤, 水面施用剤, BHC, エカ チン, S-4087, アンチオ, スミチオン, TOP- 2662, EPN, S-1942, ジメトエート, TOP- 2527, デナボン, 水耕液試験装置, 土壌試験 装置, バット試験装置, 殺虫率, ヒメトビウンカ 生物検定, 殺虫剤, 殺虫剤浸漬深度間差異, バイジット, スミチオン, 累積死虫率, セジロウ ンカ
		1964	日本応用動 物昆虫学会 中国支部会 報	6	24-26	イネ縞葉枯病, 発病茎率, 殺虫剤, ダイアジ ン, マラソン, ディプテレックス, バイジット, ペ スタン, エストックス, サイメット, ジメトエート, BHC, DDT, デナボン, T1-551, ゼクトラン, 5006, 5024, 防除効果, 発生消長, ヒメトビウ

奥山善雄・新信義・下田嵩	ヒメビウンカのイネ株越冬について(予報)	1964	日本応用動物昆虫学会 中国支部会報	6	26-29	越冬, サクシヨンキャッチャー法, スイーピング法, 発生消長, 刈り株跡, 陸稲, 畦畔, 牧草地雑草地, ヒメビウンカ	
竹内節二・奥山善雄・下田嵩	ヒメビウンカ第2回成虫発生の年次変動の傾向と発生型についての一考察	1964	日本応用動物昆虫学会 中国支部会報	6	29-31	イネ縞葉枯病, すくい取り法, すくい取り全虫数, 最多すくい取り虫数, 第2回成虫, 年次変動, 地域間差異, 標高間差異, ヒメビウンカ	
高井昭・伊藤嘉昭・中村和雄・宮下和喜	マーキング法とすくい取り法によるツマグロヨコバイ個体数の推定	1965	日本応用動物昆虫学会誌	9	1	#5-12	マーキング法, すくい取り法, triplecatch法, LINCOLN法, LINCOLN-Index, 推定個体数, 個体数推定, ツマグロヨコバイ
腰原達雄	水稻における根系からの γ -BHCの吸収移行について	1965	日本応用動物昆虫学会	9	1	13-18	
尾崎幸三郎・小池久義	ツマグロヨコバイにおけるナフチルアセテートエステラーゼ, とくに有機りん剤に抵抗性の個体群における異常な高活性について	1965	日本応用動物昆虫学会誌	9	1	53-59	
三橋淳	ツマグロヨコバイ胚子の組織培養	1965	日本応用動物昆虫学会	9	2	107-114	
寒川一成	ツマグロヨコバイの消化管のインベルターゼ活性におよぼす植物ホルモンの影響	1965	日本応用動物昆虫学会	9	2	135-137	
三橋淳	In Vitro で培養されたヨコバイ細胞での植物ウイルスの増殖(予報)	1965	日本応用動物昆虫学会	9	2	137-141	
内藤篤	ウンカ・ヨコバイ類の唾液鞘物質の採集方法	1965	日本応用動物昆虫学会	9	2	142-144	
奈須壮兆	稲萎縮病ウイルスの経卵伝染に関する電子顕微鏡的研究	1965	日本応用動物昆虫学会	9	3	225-237	
木村義典	ヒメビウンカの馬拉ソンに対する抵抗性	1965	日本応用動物昆虫学会誌	9	4	251-258	殺虫剤, マラソン, 殺虫剤抵抗性, ほ場試験, 防除効果, 年次変動, 地域間差異, LD50, ヒメビウンカ
寒川一成	稲ウンカ・ヨコバイ類の唾腺に関する研究 第1報 形態と組織構造	1965	日本応用動物昆虫学会	9	4	275-290	
内藤篤	ヒメビウンカの摂食活動と卵巣発育の関係について	1965	日本応用動物昆虫学会	9	4	305-306	

末永一・ 吉目木三 男・藤吉 みどり	九州における主要害虫の発生予想式に関する研究 第2報 稲ウンカ・ヨコバイ類の誘殺数と気象要素と の関係	1965	九州病害虫 研究会報	11	82-84	トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ, 平均気温, 平均最高気温, 平均最低気温, 降水量, 湿度, 日照時数, 相 関関係
吉目木三 男・末永 一	稲ウンカ・ヨコバイ類の蛍光物質とその生態識別へ の利用	1965	九州病害虫 研究会報	11	84-89	トビイロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバ イ
里見綽 生・水田 俊春	水稻の害虫とウイルス病の発生相についての直播 田と移植田との比較	1965	九州病害虫 研究会報	11	90-92	個体群動態, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒ メトビウンカ, ツマグロヨコバイ
加藤勉	予察田におけるツマグロヨコバイの分布と発生消長	1965	九州病害虫 研究会報	11	92-96	発生予察, 個体群動態, 目撃法, 予察灯, ツ マグロヨコバイ
山元四 郎・福田 秀夫	九州産ツマグロヨコバイの殺虫剤感受性(I)	1965	九州病害虫 研究会報	11	96-98	殺虫剤, Metyl parathion, Marathion, Sevin, 微量局所施用法, ツマグロヨコバイ
樋口泰 三・永野 道昭・中 須賀孝正	近年におけるツマグロヨコバイ(第3回)の多発にと もなうニカメイチュウの防除について	1965	九州病害虫 研究会報	11	98-101	殺虫剤, スミナック乳剤, スミチオン乳剤, デブ 乳剤, ダイアジノン粒剤, BHC粒剤, デナポン 粒剤, ツマグロヨコバイ, ドルナック粒剤, ツマ グロヨコバイ, セジロウンカ
横山佐太 正・酒井 久夫・井 上利志栄	大型機械による水稻栽培および営農体系の確立に 関する研究 (VII) 病害虫防除の概要と問題点	1965	九州農業研 究	27	36-37	殺虫剤, 防除体系
大内義久	無菌苗によるツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカの飼 育	1965	九州農業研 究	27	134- 135	無菌飼育, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ
村田全・ 野田政 春・高崎 登美雄・ 立石鞏	ツマグロヨコバイ越冬世代幼虫の寄主植物	1965	九州農業研 究	27	136- 137	越冬世代, 寄主植物, ツマグロヨコバイ
永野道 昭・樋口 泰三	長崎県におけるツマグロヨコバイの年次的消長の 推移について	1965	九州農業研 究	27	138- 140	誘殺数, 発生消長, ツマグロヨコバイ

馬場口勝 男・原敬 一・脇慶 三	早期水稻における黄萎病の感染時期について	1965	九州農業研 究	27	141- 143	感染時期, イネ黄萎病, 早期栽培, ツマグロヨ コバイ
蓮子栄 吉・海田 春美・後 藤重喜	稲黄萎病の生態並びに防除に関する研究 第6報 ツマグロヨコバイの秋季におけるウイルス獲得時期 と保毒媒介	1965	九州農業研 究	27	146- 147	ウイルス獲得時期, ウイルス媒介, イネ黄萎 病, ツマグロヨコバイ
宮原和 夫・山口 徳男	1964年のイネ黄萎病多発生の原因について	1965	九州農業研 究	27	148- 150	殺虫剤, SB, ほ場試験, 予察灯, 発生予察, 発生消長, ウイルス伝染環, イネ黄萎病, ツ マグロヨコバイ
古山覚・ 田村多 利・小林 研三・島 田一明	ヒメビウンカの発生生態と稿葉枯病の感染	1965	九州農業研 究	27	151- 152	ステッキイトラップ, 予察灯, 発生予察, 発生 生態, 防除時期, イネ稿葉枯病, ヒメビウン カ
原敬一・ 堀切正 俊・深町 三朗	鹿児島県におけるヒメビウンカと稿葉枯病の発病 について(第1報)	1965	九州農業研 究	27	153- 154	予察灯, ステッキイトラップ, 発生消長, イネ稿 葉枯病, ヒメビウンカ
吉村清一 郎・酒井 久夫	直播水田のウイルス病防除に関する研究 第1報 土壤施薬法によるツマグロヨコバイ・ヒメビウンカ の殺虫効果試験	1965	九州農業研 究	27	155- 157	殺虫剤, 土壤施薬, 液剤散布, ヒメビウン カ, ツマグロヨコバイ
伊藤春 男・橋本 保・伊藤 正吾・五 十嵐良 造・関沢 博・宮本 硬一	水稻病虫害の省力防除に関する研究	1965	北日本病害 虫研究会報	16	#7-8	省力防除, 殺虫剤, 掬い取り法, ヒメビウン カ, ツマグロヨコバイ
布施寛・ 佐藤政太 郎	有機燐粒剤による稲作害虫の防除 2. 第2世代ニ カメイチュウおよびウンカ・ヨコバイ類の防除効果	1965	北日本病害 虫研究会報	16	#122	殺虫剤, ジメトエイト, スミチオン, バイジット, ダイアジノン, BHC, NAC, 防除効果, ツマグ ロヨコバイ

森喜作・ 牧野秋 雄・大沢 高志	イネ縞葉枯病の山地, 市街地における発生	1965	関東東山病 害虫研究会 年報	12 #12	発生地域, イネ縞葉枯病, 発病株数, ヒメトビ ウンカ
石井正 義・安尾 俊	早植栽培とツマグロヨコバイの萎縮病ウイルスの保 毒率	1965	関東東山病 害虫研究会 年報	12 #13	栽培時期間差異, イネ萎縮病, 保毒率変化, すくい取り法, 発生量, 発病株率, ツマグロヨ コバイ
石井正 義・安尾 俊	萎縮病の発病と潜伏期間	1965	関東東山病 害虫研究会 年報	12 #14	イネ萎縮病, 栽培時期間差異, 潜伏期間, 発 病株率, 被害程度, ツマグロヨコバイ
高橋弘 治・小野 小三郎	窒素の施用量とヒメトビウンカの吸汁および吐出と の関係	1965	関東東山病 害虫研究会 年報	12 #15	吸汁, 吐出, 窒素施用量, ヒメトビウンカ
佐藤允 通・杉野 多万司	イネ黄萎病の予察方法の検討	1965	関東東山病 害虫研究会 年報	12 #18	イネ黄萎病, すくい取り法, 発生量, 発生予 察, 保毒虫率, 任意系統抽出法, ツマグロヨコ バイ
高橋保 雄・黒岩 匡	抗血清によるイネ黄萎病ウイルス保毒虫の検定 (その2)	1965	関東東山病 害虫研究会 年報	12 #19	イネ黄萎病, 保毒虫, 抗血清, 血清検定法, 生物検定法
戸塚武・ 二宮融・ 水沢芳名	空中散布によるツマグロヨコバイ, 穂いもち病, ニカ メイチュウの同時防除効果について	1965	関東東山病 害虫研究会 年報	12 63-64	ヘリコプタ, 空中散布, 殺虫剤, バイジット水 銀, ブラサン, ブラナック, マラソン・ブラエスす くい取り法, 発生消長, 防除効果, ツマグロヨ コバイ
岩本静之	ツマグロヨコバイの産卵に関する2, 3の知見 (第 1報) 第1回成虫について	1965	関東東山病 害虫研究会 年報	12 #65	第1回成虫, 産卵期間, 産卵日数, 総産卵 数, 産卵最盛期, ツマグロヨコバイ
三田久男	アタマアブ類の寄生によるツマグロヨコバイのイネ 黄萎病媒介能力の消去	1965	関東東山病 害虫研究会 年報	12 #66	イネ黄萎病, アタマアブ寄生, 伝染虫率, 媒介 能力, ツマグロヨコバイ
杉野多万 司・高橋 浅夫・竹 島節夫	静岡県におけるツマグロヨコバイのマラソン耐性に ついて	1965	関東東山病 害虫研究会 年報	12 #67	生物検定, マラソン, 殺虫剤耐性, LC50, Leaf-dipping 法, 殺虫剤, カーバメート系殺虫 剤, バイジット, エチオン, ツマグロヨコバイ
宮沢俊 治・玉井 安雄・井 上三郎	ウンカ, ヨコバイ類防除におけるマラソンと水銀剤の 混用効果について	1965	関東東山病 害虫研究会 年報	12 #68	ヘリコプタ, 空中散布, 殺虫剤, 水銀剤, PMA, PMI, マラソン, すくい取り法, 採虫数, 防除効果, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ

高野十 吾・原敬 之助 高島敬一	ツマグロヨコバイの第1回成虫羽化時期の予察法 について 稲縞葉枯病の発生とヒメトビウンカについて	1965 1965	関東東山病 害虫研究会 年報 北陸病害虫 研究会報	12 13	71-72 #11-13	イネ萎縮病, 越冬幼虫休眠, 精巢発育進展状 況, 発生予察, ツマグロヨコバイ イネ縞葉枯病, 発生予察, 年次消長, 発病消 長, 発生消長, 先行ヒメトビウンカ発生密度, 積雪期間, 春期気温, 気象条件, 保毒虫率, ヒメトビウンカ
児玉三郎	ニカメイチュウ第1世代防除薬剤とツマグロヨコバイ 発生についての1事例	1965	北陸病害虫 研究会報	13	18-20	ほ場試験, 殺虫剤, BHC, スミチオン, バイ ジット, EPN, 防除効果, 予察灯, 誘殺数, 相 関関係, ツマグロヨコバイ
石崎久 次・川瀬 英爾	有機燐粒剤の水面施用による水稻害虫防除につ いて	1965	北陸病害虫 研究会報	13	52-54	ほ場試験, 殺虫剤, 有機リン剤, ダイシスト ン, NAC, ジメトエート, MEP, BHC, MPP, 剤 型間差異, 乳剤, 粉剤, 粒剤, 防除効果, ツマ グロヨコバイ
常楽武 男・沢崎 彬・嘉藤 省吾・稲 場祐二 奥山善 雄・下田 嵩 藤原昭雄	穂いもち病, ツマグロヨコバイを主対象とした本田 後期害虫空中総合防除 ヒメトビウンカの稲株越冬について	1965 1965	北陸病害虫 研究会報 日本応用動 物昆虫学会 中国支部会	13 7	61-66 #2-5	総合防除, ヘリコプタ, 空中散布, 殺虫剤, PMI, MEP, NAC, PMC, Hg, すくい取り法, 防 除効果, 天敵, クモ類, ツマグロヨコバイ, ヒメ トビウンカ, セジロウンカ 越冬, 積雪, サクシオンキャッチャー法, ヒメト ビウンカ
井上齊・ 岡本大二 郎 岡本大二 郎・安部 凱裕	ヒメトビウンカ産卵のイネ品種間差異に関する2, 3 の知見 ツマグロヨコバイに対する殺虫剤田面施用の効果	1965 1965	日本応用動 物昆虫学会 中国支部会 日本応用動 物昆虫学会 中国支部会 報	7 7 7	#5-9 #9-11 #11-13	休眠, 休眠誘起, 日長条件, 温度条件, 越 冬, ふ化月日, 羽化月日, 休眠率, 齡期別累 積羽化率, 越冬幼虫齡構成, ヒメトビウンカ 品種間差異, 産卵, 葉鞘, 産卵粒数, 卵塊 数, 一卵粒数, 生育ステージ, ヒメトビウンカ 生物検定, ポット試験, 50%致死時間, LT50, ほ場試験, 2区制卵塊法配置, すくい取り法, サクシオンキャッチャー法, 殺虫剤, ダイアジノ ン, バイジット, ダイシストン, ジメトエート, SD-3562, キルバール, CPMC, マラソン, デイ プテレックス, スミチオン, NAC, サンサイド, BHC, DDT, 同時防除, ツマグロヨコバイ

石井卓爾	ヒメビウンカにおける赤眼系統の遺伝と生態について	1966	日本応用動物昆虫学会誌	10	2	64-68	赤眼系統, メンデル式1遺伝子劣性形質, 性比, 産卵粒数, 産卵期間, 産卵前期間, 孵化率, 幼虫期死亡率, 發育速度, 翅型発現性, 餌条件, ムギ北地モザイク病ウイルス獲得能力, ムギ北地モザイク病ウイルス媒介能力,
重永知明	ツマグロヨコバイの発生量の予察について	1966	九州病害虫研究会報	12		15-17	発生予察, 予察灯, 誘殺数, トビイロウンカ, セジロウンカ, ツマグロヨコバイ, 相関
宮原和夫	ヒメビウンカの発生予察に関する研究(第2報) ヒメビウンカ越冬幼虫の休眠覚醒時期について	1966	九州病害虫研究会報	12		17-19	休眠, 精細胞成熟, ヒメビウンカ
馬場口勝男・原敬一	早期水稲における黄萎病の感染時期について 第2報, 再生稲との関係	1966	九州病害虫研究会報	12		20-21	黄萎病, 潜伏期間, 再生稲, ツマグロヨコバイ
豊田久蔵・吉村清一郎	直播水稲のウイルス病防除に関する研究 第2報 土壤施薬法によるツマグロヨコバイ, ヒメビウンカの殺虫効果試験	1966	九州病害虫研究会報	12		21-25	土壤施用, 土壤面施用, 殺虫剤, ダイシストン粒剤, 4027粒剤, GS-13005粒剤, ダイアジノン粒剤, S-12927A粒剤, S-12927B粒剤, ダイシストン・BHC粒剤, ヒメビウンカ, ツマグロヨコバイ
吉村清一郎・豊田久蔵・野田政春	直播水稲のウイルス病防除に関する研究 第3報 イネ稿葉枯病およびイネ萎縮病の主要感染時期について	1966	九州病害虫研究会報	12		25-27	イネ稿葉枯病, 稲萎縮病, ヒメビウンカ, ツマグロヨコバイ
谷元節夫・山本富二郎・入江洋明・大石和義	佐賀県江北町・福富村における稲ウイルス病の防除 (キルバールによる集団防除の結果)	1966	九州病害虫研究会報	12		27-30	殺虫剤, キルバール, 稲黄萎病, 稲萎縮病, ヒメビウンカ, ツマグロヨコバイ
樋口泰三・永野道昭・中須賀孝正	普通稲前期における害虫防除が中期のツマグロヨコバイに対する防除効果	1966	九州病害虫研究会報	12		31-32	殺虫剤, SB粒剤, ダイアジノン粒剤, BHC粒剤, ツマグロヨコバイ
宮原和夫・飯盛義高・鬼塚朔郎・原口巽	普通栽培水稲病害虫のヘリコプタによる通年防除試験	1966	九州病害虫研究会報	12		35-38	発生消長, セジロウンカ, ヒメビウンカ, ツマグロヨコバイ, 萎縮病, 黄萎病, 稿葉枯病

坪井武夫・井上忠彦・近藤和信	ウンカ・ヨコバイ類に対するキタジン・スミチオンの 連合殺虫作用	1966	九州病害虫 研究会報	12	38-41	殺虫剤, キタジン, スミチオン, トビイロウン カ, ヒメビウンカ, ツマグロヨコバイ
浅野勝司・橋爪文次	ダイアジノン粒剤のツマグロヨコバイおよびヒメビ ウンカにたいする殺虫効力に関する2, 3の知見	1966	九州病害虫 研究会報	12	42-44	殺虫剤, ダイアジノン, ツマグロヨコバイ, ヒメビ ウンカ
原敬一・堀切正俊・深町三朗	1966年のセジロウンカ・トビイロウンカの異常飛来 について	1966	九州病害虫 研究会報	13	83-87	予察灯, 個体群動態, トビイロウンカ, セジロ ウンカ
吉岡恒	早期栽培におけるイネウイルス病の感染時期につ いて	1966	九州農業研 究	28	113- 115	イネ萎縮病, イネ黄萎病, ヒメビウンカ, ツマ グロヨコバイ
後藤重喜・岩橋哲彦・蓮子栄吉	くろすじ萎縮病の生態ならびに防除に関する研究 (予報)宮崎県における発生被害の概況について	1966	九州農業研 究	28	115- 117	生育調査, 収量調査, くろすじ萎縮病, ヒメビ ウンカ
原敬一・馬場口勝男・堀切正俊	稲ウイルス病に対する秋期空中散布について	1966	九州農業研 究	28	117- 119	空中散布, 殺虫剤, PHC, CPMC, NAC, マラ ソン, サクシオンキャッチャー, 生息密度, イネ 黄萎病, イネ萎縮病, ツマグロヨコバイ
宮原和夫	イネ黄萎病罹病株に対するツマグロヨコバイの蝟集 について	1966	九州農業研 究	28	119- 120	サクシオンキャッチャー, 着生虫数, 産卵数, イネ黄萎病, ツマグロヨコバイ
海田春美・蓮子栄吉・鮫島徳造	本年度のツマグロヨコバイの発生要因について	1966	九州農業研 究	28	120- 122	掬い取り法, 吸い取り法, 払落し法, 予察灯, 発生消長, ツマグロヨコバイ
布施寛・佐藤政太郎	有機燐粒剤による稲作害虫の防除 2. 第2世代ニ カメイチュウおよびウンカ・ヨコバイ類の防除効果	1966	北日本病害 虫研究会報	17	#8	殺虫剤, 殺虫機構, ジメエート, スミチオン, バ イジット, ダイアジノン, 殺虫部位, 持続効果, ツマグロヨコバイ
石井卓爾	ヒメビウンカ虫体内におけるムギ北地モザイク病 ウイルスの越冬について	1966	北日本病害 虫研究会報	17	#76	ムギ北地モザイク病ウイルス, 休眠, 越冬, ヒ メビウンカ
佐藤正	空中散布による穂いもち, ウンカの同時防除	1966	北日本病害 虫研究会報	17	#129	空中防除, 地上防除, 殺虫剤, エルリン, ナツ ク, スムフミ, 防除効果, セジロウンカ, ツマグ ロヨコバイ

熊田総一・吉田幸夫	広巾散布機による委託(請負)防除と問題点	1966	北日本病害虫研究会報	17	#130	殺虫剤, マラソン, 薬剤費, 散布量, 労務費, 燃料費, 修理費, ツマグロヨコバイ
森喜作・牧野秋雄・大沢高志	静岡県における昭和40年のイネ稿葉枯病多発生の原因	1966	関東東山病害虫研究会年報	13	#25	イネ稿葉枯病, 感染可能期間, 発生量, 媒介虫率, 密度, 感受性, 環境条件, ヒメトビウンカ
木伏秀夫・高橋浅夫・上山好幸・藤曲恒・松井要三	北駿地帯におけるイネ稿葉枯病の防除について	1966	関東東山病害虫研究会年報	13	26-27	イネ稿葉枯病, 発病株率, 殺虫剤, DS粉剤, SB粉剤, ZB粉剤, サンサイド粉剤, マラソン, ペスタン, DDT, 払い落とし法, 防除効果, ヒメトビウンカ
伊藤昭二・柴本精・早河広美	長野県松本平におけるイネ稿葉枯病の防除時期について	1966	関東東山病害虫研究会年報	13	27-28	イネ稿葉枯病, 発生消長, 吹き出し法, すくい取り法, 発病調査, 防除効果, 防除適期, ヒメトビウンカ
石井正義	早植栽培とツマグロヨコバイの萎縮病ウイルス保毒(媒介)率Ⅱ	1966	関東東山病害虫研究会年報	13	28-29	イネ萎縮病, 発生量, 保毒虫率, 発病株率, 栽培期間差異, ツマグロヨコバイ
石井正義・高橋広治・小野小三郎	イネ黒条萎縮病の発生に関する2・3の調査	1966	関東東山病害虫研究会年報	13	#29	イネ黒条萎縮病, 栽培法, 窒素, ほ場耐病性, ヒメトビウンカ
小森昇	血清反応によるイネ黄萎病保毒虫検定について	1966	関東東山病害虫研究会年報	13	#31	イネ黄萎病, 保毒虫検定, 血清反応, 発生予察, ツマグロヨコバイ
柳武	伊那地方におけるヒメトビウンカの発生消長とイネ稿葉枯病の発病および被害との関係	1966	関東東山病害虫研究会年報	13	84-85	イネ稿葉枯病, 発生消長, 空中散布, マラソン, 発病株率, 収量調査, 発病時期間差異, ヒメトビウンカ
田川憲夫・呉羽好三	ツマグロヨコバイ秋季発生量の予察について	1966	関東東山病害虫研究会年報	13	#86	発生予察, 予察灯, 誘殺数, 予察式, ツマグロヨコバイ
栗原徳二	すくい取り法による水田のツマグロヨコバイ個体数の調査	1966	関東東山病害虫研究会年報	13	#87	すくい取り法, 個人差, 精度, 変動係数, ツマグロヨコバイ

杉野多万 司・竹島 節夫・高 橋浅夫	ツマグロヨコバイのマラソン耐性と数種薬剤に対する耐薬性との関係	1966	関東東山病 害虫研究会 年報	13	#88	生物検定, 吹き出し法, 虫体浸漬法, 耐薬性, LC50, LC95, 殺虫剤, マラソン, デナポン, サンサイド, CPMC
中田正 彦・加藤 睦郎	くん炭使用時におけるサンサイド粒剤の効力について	1966	関東東山病 害虫研究会 年報	13	#89	くん炭, 殺虫剤, カーバメイト, サンサイド, ナック, 生物検定, 殺虫効果, ヒメトビウンカ
熊谷広 志・柳武・ 丸山忠	黒変米の原因となるカメムシ類のヘリコプターによる薬剤散布効果	1966	関東東山病 害虫研究会 年報	13	#93	ヘリコプター, 空中散布, 殺虫剤, スミチオン水銀粉剤, バイジット水銀粉剤, エルリン, 発生消長, ツマグロヨコバイ
相原次 郎・浅見 宏・竹沢 秀夫・水 沢芳名	回転式予察灯について	1966	関東東山病 害虫研究会 年報	13	120- 121	回転式予察灯, 誘殺数, セジロウンカ
石崎久 次・川瀬 英爾	水面展開性殺虫剤による水稻害虫防除について	1966	北陸病虫害 研究会報	14	40-45	ほ場試験, 殺虫剤, 水面展開性殺虫剤, 油剤, 施用法, 灌注法, BHC, MPP, ダイアジノン, EPN, MEP, 防除効果, ツマグロヨコバイ
稲葉一 男・村戸 正治	水稻病虫害防除についての一考察	1966	北陸病虫害 研究会報	14	63-64	ほ場試験, 単剤区, 混合剤区, 殺虫剤, ガンマー, タフセット, キタジン, ネオアソジン, スミナック, スミチオン, 防除効果, 収量調査, ツマグロヨコバイ
友永富・ 山本公志	ツマグロヨコバイの発生と黄きょう病菌との関係	1966	北陸病虫害 研究会報	14	70-72	黄きょう病菌, Isaria-farinosa, フザリウム菌, Fusarium-sp., 湿度条件, 発育, 発芽, 温度条件, 死虫率, ツマグロヨコバイ
森喜作・ 牧野秋 雄・大沢 高志	NAC剤の土壌施用によるイネ萎縮病防除	1966	関西病虫害 研究会報	8	35-40	ほ場試験, イネ萎縮病, イネ縞葉枯病, 発生量, 殺虫剤, NAC, BHC, 発病株率, 収量調査, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ
奥山善 雄・井島 龍男	鳥取県における最近のツマグロヨコバイの発生動向について	1966	日本応用動 物昆虫学会 中国支部会	8	#1-3	予察灯, 誘殺状況, 気象条件, 温度, 湿度, 日照, 温度格差, 相関関係, ツマグロヨコバイ
腰原達雄	ツマグロヨコバイに対するダイアジノン粒剤の殺虫作用の解析	1966	日本応用動 物昆虫学会 中国支部会	8	#13-15	生物検定, 殺虫剤, ダイアジノン, 殺虫作用, 死虫率, 移行作用, 燻蒸作用, ツマグロヨコバイ

井上 齊	日本稲ならび外国稲におけるウンカ・ヨコバイ類生育の品種間差異	1966	日本応用動物昆虫学会 中国支部会報	8	#17-19	生物検定, A型品種, B型品種, C型品種, 幼虫期死亡率, 品種間差異, ほ場試験, サクションキャッチャー, 幼虫密度, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ	
木村義典	ヒメトビウンカのマラソンに対する抵抗性(2) マラソン淘汰による抵抗性の増大 (予報)	1966	日本応用動物昆虫学会 中国支部会報	8	22-24	生物検定, 感受性検定, 薬剤淘汰, 殺虫剤, マラソン, LD50, LD85, ヒメトビウンカ	
永井洋 三・山下 定利	徳島県におけるイネ縞葉枯病の後期発病とその防除	1966	四国植物防疫研究	1	#6-8	イネ縞葉枯病, 殺虫剤, マラソン, 罹病株率, 罹病茎率, 薬剤散布時期間差異, 防除適期, 後期発病, ヒメトビウンカ	
木谷清 美・木曾 皓	イネ縞葉枯病抗体感作赤血球凝集反応の改良法について	1966	四国植物防疫研究	1	#9-11	イネ縞葉枯病, 抗体感作赤血球凝集反応, 改良法	
上原等・ 都崎芳久	ほ場におけるヒメトビウンカ各世代のイネ縞葉枯病ウイルス保毒虫率の動き	1966	四国植物防疫研究	1	#12-14	保毒虫率, 抗体感作赤血球凝集反応法, 発生消長, 発病株率, ヒメトビウンカ	
葛西辰 雄・尾崎 幸三郎	有機合成殺虫剤のヒメトビウンカに対する殺虫効力	1966	四国植物防疫研究	1	#15-18	生物検定, 殺虫剤, 殺虫率, LD50, LD84, γ -BHC, DDT, GPMC, セビン, サンサイド, ダイアジノン, 改良メタシストックス, メチルパラチオン, パラチオン, スミチオン, バイジット, ダイシストン, エチオン, マラソン, フェンカプトン, アッパ, パプチオン, メチルグサチオン, DDVP, EPN, サリチオン, ヒメトビウンカ	
井上孝・ 吉井孝雄	二期作栽培地帯の早期稲に対してツマグロヨコバイがウイルス病を感染させる時期と発病の様相	1966	四国植物防疫研究	1	19-22	イネ黄萎病, イネ萎縮病, 発生消長, 保毒虫率, 寿命, 感染時期, ツマグロヨコバイ	
亀山政 幸・尾崎 幸三郎	香川県平坦地におけるツマグロヨコバイの殺虫剤抵抗性の場所的相違	1966	四国植物防疫研究	1	23-25	生物検定, エステラーゼ反応検定, 局所施用法, 殺虫剤, マラソン, 殺虫剤感受性, LD50, LD84, 地域間差異, ツマグロヨコバイ	
内藤篤・ 正木十二 郎	ツマグロヨコバイの摂食行動に関する研究	1967	日本応用動物昆虫学会 誌	11	2	50-56	口針挿入, 口針挿入開始部位, 口針到達部位唾液鞘, 維管束, 篩管, 導管, ツマグロヨコバイ
渡辺直	トビイロウンカとヒメトビウンカのはね型決定に及ぼす密度効果	1967	日本応用動物昆虫学会	11	2	57-61	翅型発現性, 密度効果, 餌条件, 視覚効果, トビイロウンカ, ヒメトビウンカ
杉本達美	トビイロウンカ卵の孵化条件に関する研究	1967	日本応用動物昆虫学会	11	2	76-78	越冬卵, 温度条件, 翅型, 日長条件, 孵化条件, トビイロウンカ

尾崎幸三 郎・黒須 泰久	ツマグロヨコバイにおける殺虫剤抵抗性	1967	日本応用動物昆虫学会誌	11	4	145-149	殺虫剤, LD50, マラソン, パプチオン, ジメエート, パラチオン, メチルパラチオン, スミチオン, ダイアジノン, バイジット, EPN, デプテレックス, サリチオン, サリオキソン, セビン, CPMC, サンサイド, リンデン, DDT, 交差抵抗性, 地域間差異, ツマグロヨコバイ
内藤篤・ 正木十二 郎	ツマグロヨコバイの摂食行動に関する研究 第2報 成虫の口針挿入頻度	1967	日本応用動物昆虫学会誌	11	4	150-156	口針挿入頻度, 温度条件, 気圧条件, 寄主植物, 餌条件, 日周変動, ツマグロヨコバイ
中田正 彦・石野 洋二	低温時におけるエチルチオメトン粒剤の効果	1967	日本応用動物昆虫学会誌	11	4	187-188	殺虫剤, エチルチオメトン, 防除効果, 地下温度, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ
吉岡幸治 郎・岩田 俊一	殺虫剤の効力低下がみられたツマグロヨコバイにおける各種殺虫剤感受性	1967	日本応用動物昆虫学会誌	11	4	193-195	殺虫剤, パラチオン, メチルパラチオン, バイジット, マラソン, エルサン, ダイアジノン, ジメトエート, デナポン, ホップサイド, サリチオン, DDT, 殺虫剤感受性, 地域間差異, ツマグロ
中島三 夫・野上 隆史	大分県におけるツマグロヨコバイの発生動向	1967	九州病害虫研究会報	13		87-89	予察灯, 個体群動態, ツマグロヨコバイ
豊田久 蔵・吉村 清一郎	ウンカ・ヨコバイ類の多発時期における粒剤の田面水施用の防除効果ならびに施薬後の害虫密度の推移について	1967	九州病害虫研究会報	13		89-93	殺虫剤, BHC, NAC, ダイアジノン, MIPC, PHC, トビイロウンカ, セジロウンカ, ツマグロヨコバイ
阿部恭 洋・宮原 和夫	佐賀県内におけるツマグロヨコバイのNAC剤およびマラソン剤に対する感受性の地域的変動について (第1報)	1967	九州病害虫研究会報	13		94-95	殺虫剤, NAC, マラソン, ツマグロヨコバイ
宮原和 夫・阿部 恭洋・関 正男・鬼 塚朔郎	ツマグロヨコバイに対するマラソンの微量散布効果試験	1967	九州病害虫研究会報	13		96-99	殺虫剤, マラソン, ツマグロヨコバイ
酒井久 夫・熊本 勝己・広 藤謙一郎	パイプダスターによる水稻害虫防除上の問題点	1967	九州病害虫研究会報	13		99-100	殺虫剤, パイプダスター, トビイロウンカ, セジロウンカ, ツマグロヨコバイ
熊本勝己	休閑田におけるウンカ, ヨコバイ類の効率的防除	1967	九州病害虫研究会報	13		100-103	発生消長, 稲萎縮病, 稲縞葉枯病, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ

堀切正 俊・深町 三朗・原 敬一	早期水稻の導入にともなうツマグロヨコバイ発生型 の変化について	1967	九州農業研 究	29	113- 114	殺虫剤, BHC, パラチオン, 発生型, 予察灯, 発生消長, ツマグロヨコバイ
豊田久 蔵・吉村 清一郎	水田害虫の天敵に関する研究 (第4報)水田に生 息するクモ類のウンカ, ヨコバイ類に対する制圧力 について	1967	九州農業研 究	29	115- 118	生息数, クモ, トビイロウンカ, ツマグロヨコバ イ, セジロウンカ
吉村清一 郎・豊田 久蔵	福岡県下におけるツマグロヨコバイの薬剤抵抗性 について	1967	九州農業研 究	29	119- 121	生物検定, エステラーゼろ紙法, 殺虫剤, パラ チオン, ツマグロヨコバイ
手塚浩・ 佐藤謙	ヒメトビウンカ(麦類)に対する土壌施薬の効果につ いて	1967	北日本病害 虫研究会報	18	#9	土壌施薬, 殺虫剤, エカチン, ダイシストン, PSP-204, ジメエート, 施薬量, 施薬時期, 発病程度, 被害株率, ヒメトビウンカ
武田憲 雄・佐藤 靖男・田 中恒一	ツマグロヨコバイの産卵部位の水浸とふ化について (第1報)	1967	北日本病害 虫研究会報	18	#90	産卵部位, 水浸, 孵化, ツマグロヨコバイ,
船迫勝男	ツマグロヨコバイの天敵に関する研究 1. アタマア ブ類の寄生について	1967	北日本病害 虫研究会報	18	#91	天敵, 捕食寄生者, アタマアブ, ツマグロヨコ バイ
高木信一	昭和41年のウンカの異常発生をかえりみて(特別 講演)	1967	関東東山病 害虫研究会	14	#1-3	異常発生, トビイロウンカ, セジロウンカ
沢木忠 雄・佐藤 允通・村 松義司・ 佐藤清	集団防除によるイネ稿葉枯病の防除	1967	関東東山病 害虫研究会 年報	14	15-16	イネ稿葉枯病, 集団防除, 殺虫剤, スミチオ ン, BHC, 黄色水盤, 払い落とし法, 発生消 長, 誘殺数, 発病率, 保毒虫率, ヒメトビウン カ
高橋三 郎・尾田 啓一	空中散布によるイネウイルス病防除に関する研究 (1)空中散布による稿葉枯病防除の考え方	1967	関東東山病 害虫研究会 年報	14	#17	ヘリコプタ, 空中散布, 防除適期, 殺虫剤, サ ンサイド, BHC, 発生消長, 防除効果, ヒメトビ ウンカ, ツマグロヨコバイ
星野三 男・滝田 泰章・亀 井皖司	空中散布によるイネウイルス病防除に関する研究 (2)ウンカ・ヨコバイ類に対する春季低温時空中散 布の効果	1967	関東東山病 害虫研究会 年報	14	#18	ヘリコプタ, 空中散布, イネ黄萎病, イネ稿葉 枯病, サクシヨンキャッチャー, すくい取り法, 発生消長, 防除効果, 殺虫剤, メオパール, MIPC, スミチオン, マラソン, ヒメトビウンカ, ツ マグロヨコバイ

滝田泰章・尾田啓一・岩城寛・豊田文雄・斎藤浩一	空中散布によるイネウイルス病防除に関する研究(3)イネウイルス病に対する春季低温時空中散布の効果	1967	関東東山病害虫研究会年報	14 19-20	ヘリコプタ, 空中散布, 防除時期設定, 防除適期, サクシオンキャッチャー, すくい取り法, 発病調査, 発生消長, イネ縞葉枯病, イネ黄萎病, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
尾田啓一・西尾善重・岩城寛・豊田文雄	空中散布によるイネウイルス病防除に関する研究(4)稿葉枯病に対する水面施用剤空中散布の効果	1967	関東東山病害虫研究会年報	14 21-22	空中散布, 殺虫剤, サンサイド, BHC, イネ縞葉枯病, 黄色水盤法, すくい取り法, 発病調査, 防除適期, ヒメトビウンカ
石井正義	イネ萎縮病の感染時期と株内の補償作用について	1967	関東東山病害虫研究会	14 #23	イネ萎縮病, 補償作用, 収量調査, ツマグロヨコバイ
小森昇/	茨城県におけるイネ黒条萎縮病の発生について	1967	関東東山病害虫研究会	14 #24	イネ黒条萎縮病, イネ縞葉枯病, イネ黄萎病, 殺虫剤, ホップサイド, 収量調査, ツマグ
君崎喜之助	イネ黒条萎縮病の感染時期について	1967	関東東山病害虫研究会	14 #25	イネ黒条萎縮病, 保毒虫率, 媒介虫率, 第2次感染, ヒメトビウンカ
安正純・善林六朗・鈴木計司	水田および畑栽培水稻各品種の黒条萎縮病発生について	1967	関東東山病害虫研究会年報	14 26-27	イネ黒条萎縮病, 気象条件, 黄色水盤法, イネ黒条萎縮病感受性品種間差異, ヒメトビウンカ
松本定利・西尾善重・横倉光昭	稲縞葉枯病・黒条萎縮病に対する集団地上(請負)防除の効果	1967	関東東山病害虫研究会年報	14 27-28	イネ縞葉枯病, イネ黒条萎縮病, 請負防除, すくい取り法, 発病株率, 防除効果, 殺虫剤, BHC, スミフミ, フミビー, ホップ水銀, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
高橋保雄・木船忠	イネ黄萎病ウイルスの第2次感染について	1967	関東東山病害虫研究会年報	14 28-29	イネ黄萎病, 第2次感染, イネ黄萎病ウイルス感受性, 生育時期, ツマグロヨコバイ
岩城寛・片山栄助・飛田卓也・斎藤司朗	イネ黄萎病の立毛発病とヒコバエ発病との関係および防除効果の差異について	1967	関東東山病害虫研究会年報	14 30-31	イネ黄萎病, 立毛発病, ヒコバエ発病, 誘殺数, 発生消長, 発病株率, 年次変動, ツマグロヨコバイ

市原伊助・遠藤亘紀・深津量栄	千葉県におけるセジロウンカとトビイロウンカの異常発生と被害について	1967	関東東山病害虫研究会年報	14 72-73	予察灯, 誘殺数, 発生消長, 発生分布, 発生面積, 被害, 異常発生, 気象条件, 生育条件, 天敵, セジロウンカ, トビイロウンカ
広原宗次	ウンカ・ヨコバイ類の異常大発生とその対策	1967	関東東山病害虫研究会年報	14 74-75	予察灯, 初飛来日, 最盛日, 終息日, 総誘殺数, 気象条件, 品種間差異, 収量調査, 発生面積, トビイロウンカ, セジロウンカ, ツマグロヨコバイ, 殺虫剤, ダイシストン, サンサイドガンマー, スミチオン, バイジット, ジメートエート, マラソン, EPN, 防除効果
高瀬一太郎・飯島文夫	埼玉県埼葛地方におけるセジロ, トビイロウンカの防除と問題点について	1967	関東東山病害虫研究会年報	14 #76	異常発生, セジロウンカ, トビイロウンカ
高野光之丞・村上正雄	トビイロウンカに対する防除薬剤	1967	関東東山病害虫研究会年報	14 77-78	生物検定, 殺虫剤, 残効性, メオパール, マラソン, デナボン, サンサイド, エルサン, バーレン, ベスタン, バイジット, BHC, バイジットサンサイド, パプチオン, デプテレックス, トビイロ
西尾善重・松本定利・横倉光昭	栃木県における昭和41年のトビイロウンカの異常発生について	1967	関東東山病害虫研究会年報	14 79-80	異常発生, 予察灯, 発生消長, 発生面積, 坪枯れ面積, 収量調査, 空中散布, 殺虫剤, マラソン, CPMC, PHC, トビイロウンカ
吉沢中夫・熊谷広志・柳武	長野県伊那地方におけるセジロウンカ・トビイロウンカの異常発生について	1967	関東東山病害虫研究会年報	14 81-82	発生分布, 予察灯, 誘殺数, すくい取り法, 払い落とし法, 異常発生, 収量調査, セジロウンカ, トビイロウンカ
伊藤昭二・井出万二	長野県曾南地方におけるセジロウンカ, トビイロウンカの発生と被害について	1967	関東東山病害虫研究会年報	14 #83	異常発生, 殺虫剤, マラソン, ホップサイド, 防除効果, 作況指数, セジロウンカ, トビイロウンカ
柳武	トビイロウンカに対するマラソン剤の殺虫力について	1967	関東東山病害虫研究会年報	14 #84	生物検定, 殺虫剤, マラソン, サンサイド, ホップサイド, 防除効果, ほ場調査, 室内試験, トビイロウンカ
杉野多万司	昭和41年のトビイロウンカの発生と防除	1967	関東東山病害虫研究会年報	14 85-86	予察灯, 初飛来日, 飛来数, 異常発生, 殺虫剤, 防除適期, 有機燐剤, カーバメイト剤, BHC, DDT, トビイロウンカ

風野光・ 浅川勝・ 岩田俊一	カーバメート系殺虫剤のウンカ・ヨコバイ類に対する 殺虫効力の比較	1967	関東東山病 害虫研究会 年報	14 #87	生物検定, 局所施用法, 殺虫剤, LD50, KT50, ポット試験, 残効試験, デナポン, ホッ プサイド, サンサイド, カソライト, MIPC, メオ パール, ハイドロール, MPC, B-2854, TMC, TCI-66, KI-897, 3M-600, SB, YI-2, H- 4082, 3M600B, γ -MIPC, BHC, マラソン, ツ マグロヨコバイ, ヒメトビウンカ, トビイロウンカ イネ黄萎病, ツマグロヨコバイ, 殺虫剤, メオ パール, ホップサイド, マラソン, 防除効果, マ ラソン感受性低下, ツマグロヨコバイ ほ場試験, 殺虫剤, 水面施用効果, 殺虫剤, ダイジストン, ジメエート, サンサイド, デナポ ン, 防除効果, ツマグロヨコバイ
林清道・ 柴本精・ 呉羽好三	ツマグロヨコバイ越冬世代虫に対するヘリコプタ散 布時期と効果について	1967	関東東山病 害虫研究会 年報	14 88-89	
柴本精・ 新芝実 生・関谷 一郎	ツマグロヨコバイに対する粒剤の水面施用効果	1967	関東東山病 害虫研究会 年報	14 #89	
湖山利篤	水面施用によるウンカ・ヨコバイ類の防除 第1報 吸汁食毒作用の検定	1967	関東東山病 害虫研究会 年報	14 #90	生物検定, 殺虫剤, 3M600, 4027, ダイアジノ ン, ドルナック, ダイシストン, サンサイド, メオ パール, ヒメトビウンカ
山岸義 男・柴本 精・呉羽 好三	植付期の早晩とヒメトビウンカの寄生ならびにイネ 縞葉枯病の発生について	1967	関東東山病 害虫研究会 年報	14 #91	イネ縞葉枯病, ヘリコプタ, 空中散布, 殺虫 剤, マラソン, EPN, 植付時期間差異, 発生消 長, 発病株率, ヒメトビウンカ
尾田啓 一・豊田 文雄・滝 田泰章・ 亀井皖司	ウンカ類に対するマラソン微量散布の効果	1967	関東東山病 害虫研究会 年報	14 92-93	殺虫剤, マラソン, 残存殺虫効力, ヒメトビウン カ, ツマグロヨコバイ
上島俊治	病虫害防除剤の混合使用に関する諸問題	1967	北陸病虫害 研究会報	15 #1-5	農薬混合使用, 生物検定, 殺虫剤, EBP, ダ イアジノン, EPN, MEP, E・パラチオン, DEP, DDT, BHC, EBP, 相乗効果, LC50, ツマグロ 予察灯, 発生予察, 異常飛来, 始期異常飛来 日, 終期異常飛来日, 異常飛来回数
川瀬英爾	セジロウンカの異常飛来について	1967	北陸病虫害 研究会報	15 #5-7	
矢尾板恒 雄・小野 塚清・永 井三善・ 田中嘉一	新潟県におけるイネ黒すじ萎縮病について	1967	北陸病虫害 研究会報	15 26-27	イネ黒条萎縮病, イネ縞葉枯病, 発生状況調 査, 発病株数, 発生消長, 発病程度, 被害解 析, 収量調査, 防除試験, ほ場試験, 殺虫 剤, ダイアジノン, ドルナック, ダイシストン, サ ンサイド, 発病株率, ヒメトビウンカ

大矢慎吾	ツマグロヨコバイの増殖機構に関する研究 第1報 温度と幼虫の発育ならびに産卵との関係	1967	北陸病害虫 研究会報	15	28-30	発生予察, 温度条件, 幼虫期間, 成虫期間, 1世代期間, 産卵数, ツマグロヨコバイ
高島敬一	福井県における昭和41年度のセジロウンカ・トビイ ロウンカの発生特徴について	1967	北陸病害虫 研究会報	15	30-31	ステッキートラップ, すくい取り法, 発生消長, 発生予察, 定点調査, 気象条件, 防除効果, セジロウンカ, トビイロウンカ
鈴木忠夫	ヒメトビウンカによる水稻出穂期前後の被害解析	1967	北陸病害虫 研究会報	15	44-46	被害解析, 直接的吸汁害, スス, 吸汁痕, 幼 穂形成期, 出穂期, 収量調査, 収量構成要 素, ヒメトビウンカ
常楽武 男・高橋 繁成・水 上宗一 郎・稲場 祐二・川 上義昭 石崎久 次・川瀬 英爾	粒剤田面施薬による夏秋期ウンカ・ヨコバイ類の防 除 ニカメイチュウとツマグロヨコバイの同時防除につい て	1967	北陸病害虫 研究会報	15	58-66 67-69	ほ場試験, 殺虫剤, エチルチオメトン, ダイア ジノン, ジメトエート, 4027, NAC, BHC, MIPC, PHC, すくい取り法, 防除効果, ツマ グロヨコバイ, ヒメトビウンカ, セジロウンカ, 天 敵, クモ類 ほ場試験, 殺虫剤, 剤型間差異, SD-7859, CYP, EPN, MPP, BHC, NAC, MEP, DDT, MPMC, PMP, LDT, CPMC, MPMO, ダイシス トン, エチカンTD, MPC, ダイアジノン, MEMC, 防除効果, ツマグロヨコバイ
勝元久 衛・川瀬 英爾	混合粉剤の使用時期別効果について	1967	北陸病害虫 研究会報	15	74-77	ほ場試験, 同時防除, 殺虫剤, 併殺効果, キ タジンEPN, キタジンNAC, オリゾンEPN, オリ ゾンMIPC, オリゾンスミチオン, カスミンFP, カ スパック, ホスプラスチン, プラスチンNAC, す くい取り法, 防除効果, セジロウンカ, トビイロ ウンカ, ツマグロヨコバイ
延与邦 夫・小林 淳二	ウンカ・ヨコバイ類防除薬剤の吟味(第1報)DDT剤 のウンカに対する効果	1967	関西病虫害 研究会報	9	26-31	ほ場試験, 殺虫剤, DDT, EPN, DDT, バイ ジット, メオパール, BHC, かき分け法, 濃度 比較, 防除効果, セジロウンカ, トビイロウン カ, ツマグロヨコバイ
延与邦 夫・小林 淳二	ウンカ・ヨコバイ類防除薬剤の吟味(第2報)粒剤の 防除効果	1967	関西病虫害 研究会報	9	32-34	ほ場試験, かき分け法, 殺虫剤, 粒剤, バイ ジット, ダイアジノン, スミチオン, BHC, 防除 効果, セジロウンカ, トビイロウンカ, ツマ グロ
平尾重太 郎	福山地方における水田ならびにその付近のウンカ・ ヨコバイ類について (予報)	1967	日本応用動 物昆虫学会 中国支部会	9	#1-4	すくい取り法, 予察灯, トビイロウンカ, セジロ ウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ

井上 齊	ヒメビウンカ生息密度および縞葉枯病発病のイネ品種間差異	1967	日本応用動物昆虫学会 中国支部会	9	#4-6	イネ縞葉枯病, 耐病性, 耐虫性, 生息密度, 発病株率, ヒメビウンカ	
坪井昭 正・小林 正志	水稻の乾田直播におけるイネ縞葉枯病防除に関する研究(第1報) 土壤施用浸透殺虫剤の効果について	1967	日本応用動物昆虫学会 中国支部会	9	#6-7	イネ縞葉枯病, 殺虫剤, ダイシストン, PSP204, 4027, ジメエート, 発病茎率, 発病穂率, 防除効果, ヒメビウンカ	
安部凱 裕・岡本 大二郎	ツマグロヨコバイの各態に対する粒状殺虫剤の効果	1967	日本応用動物昆虫学会 中国支部会	9	#7-9	ポット試験, 殺虫剤, PHC, NAC, ダイアジノン, 死虫率, ツマグロヨコバイ	
山下優 勝・藤井 賢三	トビイロウンカに対する薬剤防除について 第1報 飼育温度が薬剤感受性に及ぼす影響	1967	日本応用動物昆虫学会 中国支部会	9	#9-11	生物検定, 温度条件, 殺虫剤, γ -BHC, EPN, マラソン, スミチオン, バイジット, デナボン, プロビット回帰直線, LC50, トビイロウンカ	
中西紀 彦・山下 優勝	トビイロウンカに対する薬剤防除について 第2報 粒剤の効果に関する基礎試験	1967	日本応用動物昆虫学会 中国支部会	9	#11-13	ポット試験, 殺虫剤, ダイシストン, ダイアジノン, ドルナック, 落水状態, 湛水状態, イネ裁断位置, 死虫率, トビイロウンカ	
山口福 男・山下 優勝・藤 本清	トビイロウンカに対する薬剤防除について 第3報 BHC各種製剤の防除効果	1967	日本応用動物昆虫学会 中国支部会 報	9	#13-15	ほ場試験, 殺虫剤, 製剤間差異, BHC, マラソン, くん煙剤, 払い落とし法, 防除効果, トビイロウンカ	
井上 孝・ 中筋房夫	早期稲苗代におけるカンレイシャ被覆法による萎縮病の防除	1967	四国植物防疫研究	2	35-38	イネ萎縮病, イネ縞葉枯病, 栽培法, 払い落とし法, 発生量, ツマグロヨコバイ, ヒメビウ	
小山光男	稲縞葉枯病ウイルス保毒検定法としての抗体感作赤血球凝集反応の実用性について	1967	四国植物防疫研究	2	39-44	生物検定, 血清反応, 水浸漬保存, 食塩水浸漬保存, ヒメビウンカ	
布施寛・ 佐藤政太 郎	山形県下におけるウンカシヘンチュウの寄生	1968	日本応用動物昆虫学会 誌	12	2	97-99	ウンカシヘンチュウ, 寄生率, 地域間差異, トビイロウンカ, セジロウンカ
野口浩・ 玉木佳 男・杉本 渥	ツマグロヨコバイ成虫の脂肪酸構成	1968	日本応用動物昆虫学会 誌	12	2	100- 102	脂肪酸構成, 殺虫剤, マラソン, 殺虫剤感受性, LD50, ツマグロヨコバイ
佐藤仁 彦・斎藤 哲男	NS2662およびDEPの選択毒性	1968	日本応用動物昆虫学会 誌	12	3	148- 155	殺虫剤, NS2662, DEP, 殺虫剤感受性, LD50, 経皮毒性, 表皮透過性, 神経組織透過性, 体内分布, 代謝, コリンエステラーゼ, 選択毒性, ツマグロヨコバイ

湖山利篤・鶴町昌市	殺虫剤の水面施用によるウンカ・ヨコバイ類の防除に関する研究	1968	日本応用動物昆虫学会誌	12	3	156-163	殺虫剤, PHC, エチルチオメトン, ダイアジノン, MPMC, MIPC, MTMC, BHC, NAC, マラソン, 死虫率, 吸汁毒性, ほ場試験, 蒸散ガス毒性, LD50, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ
笹本馨・小林正巳・小林啓文	灯火誘殺に関する研究 第1報 主としてツマグロヨコバイを対象とした各種波長(色相)ならびに混光の誘因効果	1968	日本応用動物昆虫学会誌	12	3	164-170	蛍光灯波長間差異, 室内試験, ほ場試験, 選択試験, ツマグロヨコバイ
原敬一・堀切正俊・深町三朗	1967年のセジロ, トビイロウンカの発生特徴について	1968	九州病害虫研究会報	14		9-12	予察灯, 発生消長, ステッキートラップ, 払い落とし法, すくい取り法, 産卵調査, 移動説, 海外飛來說, トビイロウンカ, セジロウンカ
野田政春・高崎登美雄・村田全	ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ第2世代幼虫の本田発生量の予察について	1968	九州病害虫研究会報	14		12-15	発生予察, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
岸本良一	ヒメトビウンカの発生動向と稲しまはがれ病保毒虫率の季節的変動	1968	九州病害虫研究会報	14		15-18	ヒメトビウンカ, 稲縞葉枯病, 稲萎縮病, 保毒虫率
永田徹・福田秀夫	ダイアジノン粒剤のトビイロウンカに対する防除効果	1968	九州病害虫研究会報	14		18-21	殺虫剤, ダイアジノン, BHC, トビイロウンカ, ツマグロヨコバイ
豊田久蔵	田面水施薬の殺卵性に関する研究 第1報 数種薬剤のウンカ, ヨコバイ卵に対する殺卵効果	1968	九州病害虫研究会報	14		21-25	殺卵, 殺虫剤, カーバノレート, MEP, バミドチオン, ダイアジノン, ジメトエート, エチルチオメトン, NAC, PHC, MPMC, MIPC, CPMC, γ -BHC, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
阿部恭洋・宮原和夫・関正男・鬼塚朔郎・衛藤良助	パイプダスターによるニカメイチュウおよびウンカ・ヨコバイ類の防除について	1968	九州病害虫研究会報	14		25-27	パイプダスター, 殺虫剤, SB粉剤, アソビーナック粉剤, ツマグロヨコバイ
豊田久蔵・吉村清一郎	直播水稻のウイルス病防除に関する研究 (第5報)MIPC水和剤による種子粉衣の媒介虫ならびにウイルス病防除効果	1968	九州農業研究	30		133-135	殺虫剤, MIPC, エリルチオメトン, , ポリビニルアルコール(PVA), 防除試験, 発生消長, イネ萎縮病, イネ稿葉枯病, ツマグロヨコバイ

永井清 文・岩橋 哲彦・後 藤重喜 奈須壮兆	宮崎県における普通水稻のイネ萎縮病の発生とその防除	1968	九州農業研究	30	#135	休閑田, イネ萎縮病, ツマグロヨコバイ
	イネ縞葉枯病の防除とその問題点 (特別講演)	1968	関東東山病 害虫研究会	15	#1-2	イネ縞葉枯病, 発生消長, 防除適期, ヒメビウンカ
片山栄 助・西尾 善重・横 倉光昭・ 滝田泰章	栃木県における昭和42年度のヒメビウンカおよび縞葉枯病・黒条萎縮病の異常発生について	1968	関東東山病 害虫研究会 年報	15	16-17	イネ縞葉枯病, イネ黒条萎縮病, 異常発生, 発生面積, ヒメビウンカ
高橋三 郎・尾田 啓一	空中散布によるイネウイルス病防除に関する研究 (5) 春季越冬世代幼虫防除推進上の問題点	1968	関東東山病 害虫研究会 年報	15	#18	空中散布, 殺虫剤散布, イネ縞葉枯病, イネ黒条萎縮病, 防除適期, ヒメビウンカ
滝田泰 章・尾田 啓一・亀 井皖司	空中散布によるイネウイルス病防除に関する研究 (6) ウンカ・ヨコバイ類に対する低温時の殺虫効果	1968	関東東山病 害虫研究会 年報	15	18-19	空中散布, 殺虫剤, サンサイド, BHC, イネ縞葉枯病, 黄色水盤法, すくい取り法, 発病調査, 防除適期, ヒメビウンカ, マラソン, メオバール, ツマサイドサクシオンキャッチャー, 吹き出しすくい取り法, 気温条件, 降雨条件, 防除効果, ヒメビウンカ, ツマグロヨコバイ
高橋三 郎・尾田 啓一・斎 藤浩一・ 飛田卓 也・斎藤 司朗・豊 田文雄・ 松本定利	空中散布によるイネウイルス病防除に関する研究 (7) 春季(越冬世代幼虫期) 空中散布の効果	1968	関東東山病 害虫研究会 年報	15	#20	空中散布, マラソン, メオバール, ホップサイド, イネ縞葉枯病, イネ黒条萎縮病, イネ黄萎病, サクシオンキャッチャー, すくい取り法, 発病株率, ヒメビウンカ, ツマグロヨコバイ
片山栄 助・滝田 泰章・岩 城寛・西 尾善重・ 横倉光昭	空中散布によるイネウイルス病防除に関する研究 (8) 水面施用剤地上散布の効果	1968	関東東山病 害虫研究会 年報	15	#21	イネ縞葉枯病, イネ黒条萎縮病, 発病株率, サンサイドガンマ, 防除効果, サンサイド, ガンマMIPC, ガンマSMD, SMD, ダイシストン, シュアサイド, ヒメビウンカ

高橋三郎・尾田啓一・星野三男・西尾善重・齋藤浩一・齊藤司朗	空中散布によるイネウイルス病防除に関する研究 (9)水面施用剤空中散布の効果	1968	関東東山病害虫研究会年報	15 #22	空中散布, イネ縞葉枯病, イネ黒条萎縮病, 殺虫剤, サンサイドBHC, サンサイド, 発病株率, ヒメトビウンカ
水沢芳名・竹沢秀夫・熊沢誠治・間宮哲	イネウイルス病の防除について 第1報 イネウイルス病の集団防除	1968	関東東山病害虫研究会年報	15 23-24	イネ萎縮病, イネ縞葉枯病, ほ場試験, 殺虫剤, ダイシストン, ホップサイド, 防除適期, 発病株率, すくい取り法, 払い落とし法, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ
竹沢秀夫・浅見宏・近岡一郎・水沢芳名	イネウイルス病の防除について 第2報 地上散布によるイネ縞葉枯病の防除	1968	関東東山病害虫研究会年報	15 #25	ほ場試験, 殺虫剤, ダイシストン, ダイアジノン, キルバール, 見取り調査, イネ縞葉枯病, 発病株率, ヒメトビウンカ
小森昇・君崎喜之助	水面施用剤によるイネ縞葉枯病の防除	1968	関東東山病害虫研究会年報	15 #26	イネ縞葉枯病, 水面施用剤, サンサイドガンマ, 発生消長, 防除効果, すくい取り法, 発病株率, 発病茎率, ヒメトビウンカ
岩城寛・松本定利	イネウイルス病の地上共同防除による効果について	1968	関東東山病害虫研究会年報	15 #27	ほ場調査, 殺虫剤, BHC, マラソン, スミフミ, ラブバール, イネ縞葉枯病, イネ黒条萎縮病, すくい取り法, 共同防除, 慣行防除, 発生消長, 防除効果, 発病株率, ヒメトビウンカ
杉野多万司・村松義司・福井靖之	水田におけるヒメトビウンカ個体群の動態およびイネ縞葉枯病の感染と発病	1968	関東東山病害虫研究会年報	15 28-29	イネ縞葉枯病, 個体群動態, 黄色水盤法, 発病株率, ヒメトビウンカ
鈴木喜造・齊藤敬・呉羽好三	長野県佐久地方におけるヒメトビウンカによるイネウイルス病の異常多発について	1968	関東東山病害虫研究会年報	15 #31	イネ縞葉枯病, イネ黒条萎縮病, 立地条件, ネット振り, 発病状況, ヒメトビウンカ

尾田啓一・岩城寛・滝田泰章・斉藤司朗・高橋三郎	馬拉ソンの微量散布によるイネ黄萎病防除	1968	関東東山病虫害研究会年報	15 #35	イネ黄萎病, 殺虫剤, マラソン, 防除効果, 吹き出しすくい取り法, 発病率, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ
君崎喜之助	広域防除後のツマグロヨコバイの発消長について	1968	関東東山病虫害研究会年報	15 #75	ヘリコプタ, 空中散布, イネ黄萎病, 殺虫剤, マラソン, ホップサイド, 予察灯, 発消長, ツマグロヨコバイ
赤羽八郎・宮沢俊治・山岸正昭・吉沢久人・西山輝男	ツマグロヨコバイの防除薬剤とDCPA除草剤の近接散布によるイネの薬害について	1968	関東東山病虫害研究会年報	15 #76	薬害, 殺虫剤, DCPA, グラサイド, スタム, CPMC, マラソン, メオバール, ツマグロヨコバイ
林清道・呉羽好三・柴本精	出穂期のツマグロヨコバイに対する液剤のヘリコプタによる散布効果について	1968	関東東山病虫害研究会年報	15 #77	ヘリコプタ, 空中散布, ネット振り, 殺虫剤, メオバール, エストックス, ジメトエート, メオバール, 発消長, 防除効果, ツマグロヨコバイ
柴本精・中村知義・赤穂武重・早川広美	出穂期のツマグロヨコバイに対する粒剤の水面施用時期について	1968	関東東山病虫害研究会年報	15 78-80	ほ場調査, 誘殺数, 発消長, 殺虫剤, ダイジストン, ダイアジノン, サンサイド, ミプシン, メオバール, 防除適期, ツマグロヨコバイ
池田義久・呉羽好三・小林和男	出穂期のツマグロヨコバイに対する早期防除の効果	1968	関東東山病虫害研究会年報	15 80-81	ほ場調査, 発消長, 誘殺数, 殺虫剤, NAC, PHC, 防除適期, ツマグロヨコバイ
竹島節夫	静岡県におけるツマグロヨコバイ薬剤抵抗性の年次変動	1968	関東東山病虫害研究会年報	15 81-82	薬剤抵抗性, 生物検定, 虫体浸漬法, ろ紙浸漬法, LC50, 殺虫剤, マラソン, デナボン, キルバール, エチオン, ダイアジノン, サンサイド, メオバール, ホップサイド, 年次変動, 散布回数, ツマグロヨコバイ
高山隆夫・岡本茂	害虫類の農薬抵抗性に関する研究 第1報 ツマグロヨコバイに関する試験	1968	関東東山病虫害研究会年報	15 83-84	生物検定, 虫体浸漬法, ほ場調査, 殺虫剤, マラソン, NAC, デナボン, ツマサイド, キルバール, LC50, 殺虫剤抵抗性, ツマグロヨコ

三田久男	ヒメトビウンカ第2回成虫の移動性とその特徴	1968	関東東山病 害虫研究会	15	85-86	黄色水盤法, 発生消長, ヒメトビウンカ
伊藤昭 二・井出 万仁 柳武	長野県木曾南部におけるセジロウンカの発生と防除について	1968	関東東山病 害虫研究会 年報	15	#87	誘殺数, 発生消長, ダイアジノン, セジロウンカ
深津量 栄・沼田 巖・市原 伊助・栗 原徳二 織田真吾	長野県伊那地方におけるトビイロウンカ属の誘殺事例 カスミン・マラソン混合剤の微量散布によるいもち病, ツマグロヨコバイ同時防除試験	1968	関東東山病 害虫研究会 年報	15	96-97	予察灯, 発生消長, トビイロウンカモドキ, ニセトビイロウンカ, トビイロウンカ 空中散布, 殺虫剤, カスミン, マラソン, タフセット, NAC, 発生消長, 防除効果, 効力持続性検定, ツマグロヨコバイ
杉本達 美・杉原 収山崎昌 三郎 常楽武男	積雪前後のツマグロヨコバイの食餌環境と死亡との関係 トビイロウンカ卵のふ化条件に関する研究 一交尾, 産卵に関する実験 一	1968	北陸病虫害 研究会報	16	30-33	越冬, 積雪, 寄主植物, ツマグロヨコバイ
	流入施薬に関する研究 第7報 夏秋期ウンカ・ヨコバイ類に対する適合薬剤とその効果程度	1968	北陸病虫害 研究会報	16	49-57	羽化後経過時間, 受精, ふ化, 交尾回数, 総産卵数, 産卵率, 成虫生存期間, 成虫生存日数1日あたり産卵数, 産卵時期, 卵期間, 産卵消長, トビイロウンカ, セジロウンカ 薬剤処理稲茎切り取り放虫試験, 殺虫剤, 剤型間差異, ほ場試験, 流入施薬試験, MPP, PHC, MIPC, ダイアジノン, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
山津敏 男・山原 外喜雄・ 東出進 一・大沢 正雄・山 下利雄・ 浜田茂・ 金岩義 男・藤田 助松・沢 野喜久 郎・杉浦 清勝	3回防除による本田害虫の消長	1968	北陸病虫害 研究会報	16	60-64	ほ場試験, 予察灯, 発生消長, 殺虫剤, ホスバール, EPN, MPMC, ホスデー, DDT, メオバールD, バイジット, 防除効果, 防除回数, ツマグロヨコバイ, セジロウンカ, トビイロウンカ

上林讓・尾崎典光	トビイロウンカの殺虫剤に対する感受性について	1968	関西病虫害研究会報	10	45-50	生物検定, 殺虫剤感受性検定, イネ苗浸漬法, 浸透試験, 残効試験, 殺虫剤, BHC, デナボン, EPN, マラソン, スミチオン, DDT, ホップサイド, サンサイド, ジメエート, キルバー, ペスタン, メス成虫死虫率, 幼虫死虫率, メス成虫, 幼虫, トビイロウンカ
木村義典・中沢啓一・細田昭男	マラソン抵抗性ヒメトビウンカに関する研究(VI) マラソン抵抗性の発達とその持続	1968	日本応用動物昆虫学会中国支部会報	10	#5-7	生物検定, 殺虫剤抵抗性検定, 殺虫剤, マラソン, LC50, 感受性系統, 抵抗性系統, 薬量-死虫率プロビット直線, 感受性低下, 抵抗性低下, 防除効果, ヒメトビウンカ
八木三郎・坪井昭正・小林正志	岡山県北部水稻害虫に対するエチルチオメトン粒剤の効果	1968	日本応用動物昆虫学会中国支部会報	10	31-34	ほ場試験, イネ縞葉枯病, 殺虫剤, エチルチオメトン, 株分け調査, 払い落とし法, すくい取り法, 発生消長, 防除効果, 発病株率, 発病茎率, 発病穂率, 収量調査, 稈長, ヒメトビウンカ, トビイロウンカ, ツマグロヨコバイ
安部凱裕	ツマグロヨコバイに対する各種粒剤の殺虫作用	1968	日本応用動物昆虫学会中国支部会報	10	34-36	殺虫作用, 浸透移行効果, 蒸発効果, イネ植物体吸着効果, 田面水接触効果, 中央致死時間, 殺虫剤, ダイアジノン, MPP, ジメエート, エチルチオメトン, MIPC, PHC, NAC, ツマグロヨコバイ
井上斉・岡本大二郎	ヒメトビウンカに対する各種殺虫剤の効果検定 - 施用方法との関連において -	1968	日本応用動物昆虫学会中国支部会報	10	40-42	生物検定, 殺虫剤, 効力検定方法, 虫体散布, 茎葉散布, 田面施用, 速効性, 残効性, ダイアジノン, エチルチオメトン, アヒダス, ジメトエート, マラソン, MEP, CYAP, バミドチオン, ホサロン, GS-13005, NK-1, NK-0677, PHC, MPC, MIPC, UC-10854, NAC, T-82, CPMC, カーバノレート, 3M-600, MPMC, MTMC, BHC, ヒメトビウンカ
中筋房夫・野村性孝	ツマグロヨコバイの被害	1968	四国植物防疫研究	3	21-26	イネ萎縮病, 被害解析, 加害時期, 収量調査, 殺虫剤, ホップサイド, サンサイド, 発病株率, 発生消長, 感染時期間差異, 吸汁害, ツマグロヨコバイ
清家安長・高山昭夫・河野弘・上田進	ツマグロヨコバイに対する農薬の空中微量散布効果とその後における密度回復の推移	1968	四国植物防疫研究	3	27-34	空中微量散布, 殺虫剤, TCI-65, 防除効果, 密度抑制期間, ツマグロヨコバイ

横山光 夫・尾崎 幸三郎	香川県における有機りん剤抵抗性トビイロウンカの分布について	1968	四国植物防疫研究	3	35-38	殺虫剤抵抗性, 殺虫剤, 有機リン剤, エステラーゼ活性, ヒメトビウンカ
山下定利	徳島県山岳部におけるセジロウンカ, トビイロウンカの生息状況について	1968	四国植物防疫研究	3	39-42	生息状況調査, 飛来, セジロウンカ, トビイロウンカ
秋野浩二	ツマグロヨコバイ成虫の活動と温度および風力との関係	1969	日本応用動物昆虫学会	13 2	78-83	温度反応, 風力反応, ツマグロヨコバイ
小山健 二・三橋 淳	ヒメトビウンカの人工摂食	1969	日本応用動物昆虫学会誌	13 2	89-90	人工飼料, 生存中率, 令期間, pH間差異, ヒメトビウンカ
風野光・ 黒須泰 久・浅川 勝・田中 俊彦・福 永一夫	第2報 カーバメート化合物の農薬への応用 第2報 置換フェニル N-メチルカーバメートのヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイに対する殺虫効力	1969	日本応用動物昆虫学会誌	13 3	117- 123	殺虫剤, NAC, マラソン, 置換フェニルN-メチルカーバメート, XMC, 濃度, 死虫率, イネ幼苗浸漬法, 残効性, 吸収移行性, ポット試験, 葉面散布, 水面施用, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ
福田秀 夫・永田 徹	ウンカ類の種間における殺虫剤の選択毒性	1969	日本応用動物昆虫学会誌	13 3	142- 149	殺虫剤, PHC, NAC, MIPC, MTMC, CPMC, MPMC, APC, ダイアジノン, エチルパラチオン, メチルパラチオン, マラソン, MPP, MEP, PAP, EPN, DEP, DDT, BHC, 薬剤施用装置, 薬剤施用法, LD50, 種間比較, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ
風野光・ 黒須泰 久・浅川 勝・田中 俊彦・福 永一夫	カーバメート化合物の農薬への応用 第3報 置換フェニルN-メチルカーバメートのウンカ・ヨコバイ類に対する殺虫特性の比較	1969	日本応用動物昆虫学会誌	13 4	191- 199	殺虫剤, CXMC, XMC, AMPMC, CPMC, PHC, MPMC, MIPC, MTMC, カーバノレート, NAC, マラソン, メチルパラチオン, MEP, ダイアジノン, BHC, 殺虫剤抵抗性, LD50, 局所施用法, ドライフィルム法, 温度間差異, 殺虫速度, KT50, 葉面散布試験, 水面施用試験, 死虫率, トビイロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロ
岸本良一	九州各地におけるヒメトビウンカ第2回成虫稲しまはがれ病ウイルス保毒虫率	1969	九州病害虫研究会報	15	90-91	縞葉枯病, 保毒虫率, 発病株数, ヒメトビウンカ
堀切正 俊・原敬 一・馬場 口勝男・ 深町三朗	鹿児島県におけるイネ萎縮病の発生と防除について 第2報 ツマグロヨコバイの発生動向	1969	九州病害虫研究会報	15	93-95	予察灯, イネ萎縮病, ツマグロヨコバイ

原敬一・ 馬場口勝 男・堀切 正俊・深 町三朗	鹿児島県におけるイネ萎縮病の発生と防除につ て 第3報 保毒虫率	1969	九州病害虫 研究会報	15	95-97	イネ萎縮病, ツマグロヨコバイ, 保毒虫率,
馬場口勝 男・原敬 一・堀切 正俊・深 町三朗	鹿児島県における稲萎縮病の発生と防除につ いて 第4報 防除	1969	九州病害虫 研究会報	15	97-102	殺虫剤, ツマサイド, DDT, バッサ, マラソン, メオバール, デナポン, ミプシン, ホップサイ ド, イネ萎縮病, ツマグロヨコバイ
崎村弘・ 田之上哲 夫	イネ萎縮病の防除時期について	1969	九州病害虫 研究会報	15	103- 104	イネ萎縮病, ツマグロヨコバイ
永井清 文・萱嶋 砂夫	ツマグロヨコバイの低温時における防除効果につ いて	1969	九州病害虫 研究会報	15	105- 107	殺虫剤, BPMC, MTMC, MPMC, PHC, CPMC, MIPC, バミドチオン, マラソン, NAC, ツマグロヨコバイ
永井清 文・萱嶋 砂夫・後 藤重喜	稲萎縮病の生態ならびに防除に関する研究	1969	九州病害虫 研究会報	15	107- 109	殺虫剤, MIPC, NAC, PHC, ダイアジノン, ツ マグロヨコバイ
赤間嘉 孝・熊本 勝己	PVA加用種子粉衣による乾田直播栽培ウイルス病 防除対策上の問題点について	1969	九州病害虫 研究会報	15	110- 112	殺虫剤, GL-05S, MIPC, PHC, PVA, ヒメトビ ウンカ, ツマグロヨコバイ
永田徹・ 守谷茂雄	トビイロウンカのBHCに対する耐性	1969	九州病害虫 研究会報	15	113- 115	殺虫剤, γ -BHC, DDT, NAC, MEP, 局所施 用法, 交差抵抗性, トビイロウンカ
高崎登美 雄・野田 政春・村 田全	普通期水稻における稲稿葉枯病の被害	1969	九州農業研 究	31	92-93	補償作用, 収量調査, イネ稿葉枯病, ツマグ ロヨコバイ
堀切正 俊・深町 三朗	セジロ, トビイロウンカの色に対する反応	1969	九州農業研 究	31	107- 108	カラートラップ, 黄色水盤, 予察灯, 掬い取り 法, 払い落とし法, 見取り産卵調査, 発生消 長, セジロウンカ, トビイロウンカ
小林研 三・嶋田 一明	直播栽培におけるウイルス病とその媒介昆虫の発 生相について	1969	九州農業研 究	31	#109	掬い取り法, イネ萎縮病, イネ稿葉枯病, イネ 黄萎病, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ

豊田久蔵・吉村清一郎・古城斉一 堀内辰悦	稚苗移植栽培のウイルス病防除に関する研究 (第1報)MIPC水和剤ならびに粒剤の育苗箱施用 によるウイルス病防除効果	1969 九州農業研究	31	110-111	殺虫剤, MIPC, イネ萎縮病, ツマグロヨコバイ
吉田一衛・長谷川勉 伊藤春男・五十嵐良造・船迫勝男・斎伴男・安住喜代志 千葉文一・日野義一・宮本硬一 後藤和夫	青森県におけるウンカ類の発生動向	1969 北日本病害虫研究会報	20	#78	発生予察, 予察灯, 気象条件, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, トビイロウンカ
吉田一衛・長谷川勉 伊藤春男・五十嵐良造・船迫勝男・斎伴男・安住喜代志 千葉文一・日野義一・宮本硬一 後藤和夫	昭和43年岩手県沿岸地方で異常発生したトビイロウンカについて	1969 北日本病害虫研究会報	20	#79	異常発生, 発生予察, 掬い取り法, かき分け検索, 発生分布, トビイロウンカ
伊藤春男・五十嵐良造・船迫勝男・斎伴男・安住喜代志 千葉文一・日野義一・宮本硬一 後藤和夫	昭和43年宮城県におけるトビイロウンカの異常多発生 第1報 発生分布と被害の解析ならびにその対策	1969 北日本病害虫研究会報	20	166-173	異常発生, 発生消長, 発生分布, 発生面積, 被害解析, 収量調査, 防除, 殺虫剤, BHC, マラソン, EPN, トビイロウンカ
千葉文一・日野義一・宮本硬一 後藤和夫	昭和43年宮城県におけるトビイロウンカの異常発生 第2報 発生要因としての気象解析	1969 北日本病害虫研究会報	20	174-180	異常発生, 気象条件, 梅雨前線, 台風, 微気象環境条件, トビイロウンカ
滝田泰章・尾田啓一 呉羽好三・鈴木喜造・小林和男・新海昭 新海昭・呉羽好三・清水節夫	空中微量散布の現状と問題点 (特別講演)	1969 関東東山病害虫研究会	16	#1-3	空中微量散布, 殺虫剤, マラソン, MIPC, ウンカ, ヨコバイ
滝田泰章・尾田啓一 呉羽好三・鈴木喜造・小林和男・新海昭 新海昭・呉羽好三・清水節夫	イネくろすじ萎縮病の防除に関する研究	1969 関東東山病害虫研究会年報	16	#17	イネ黒条萎縮病, もどし接種, ヒメトビウンカ
呉羽好三・鈴木喜造・小林和男・新海昭 新海昭・呉羽好三・清水節夫	高冷地におけるイネ黒条萎縮病, 縞葉枯病の伝染経路 第1報 ヒメトビウンカの発生消長および両病によるイネの感染発病	1969 関東東山病害虫研究会年報	16	19-20	イネ黒条萎縮病, イネ縞葉枯病, 発生消長, 産卵, 保毒虫接種, 発病, ヒメトビウンカ
呉羽好三・鈴木喜造・小林和男・新海昭 新海昭・呉羽好三・清水節夫	高冷地におけるイネ黒条萎縮病, 縞葉枯病の伝染経路 第2報 1967年異常多発地におけるヒメトビウンカの保毒率	1969 関東東山病害虫研究会年報	16	#21	イネ黒条萎縮病, イネ縞葉枯病, 保毒虫率, 媒介虫率, ヒメトビウンカ

清水晴雄・相原次郎	空中散布によるイネ縞葉枯病の防除について	1969	関東東山病害虫研究会年報	16 #22	イネ縞葉枯病, 空中散布, 殺虫剤, マラソン, スミチオン, すくい取り法, 誘殺数, 発生消長, 防除効果, 発病調査, ヒメトビウンカ
針谷信義・渡辺正信・浅野敏夫	越冬期散布によるイネウイルス病防除について	1969	関東東山病害虫研究会年報	16 #23	イネ縞葉枯病, イネ黒条萎縮病, 吹き出し法, すくい取り法, 発病調査, 空中散布, 殺虫剤, マラエース, 防除効果, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ
針谷信義・渡辺正信・浅野敏夫	6月の空中散布によるイネウイルス病防除について	1969	関東東山病害虫研究会年報	16 #24	ヘリコプタ, 空中散布, イネ縞葉枯病, イネ黒条萎縮病, 殺虫剤, メオバル, マラエース, すくい取り法, 見取り法, 黄色水盤法, 発病調査, ヒメトビウンカ
大野清吉・伊藤直治・菅谷勤	7月上旬の空中散布によるイネウイルス病の防除効果について	1969	関東東山病害虫研究会年報	16 #25	空中散布, SB粉剤, イネ縞葉枯病, イネ黒条萎縮病, すくい取り法, 防除効果, ヒメトビウンカ
高山隆夫・原栄一	ヒメトビウンカの防除と稲ウイルス病の発病	1969	関東東山病害虫研究会年報	16 #26	イネ縞葉枯病, イネ黒条萎縮病, 殺虫剤, キルバール, ダイシストン, ダイアジノン, 発病株率, 発病茎率, 防除適期, ヒメトビウンカ
森喜作・牧野秋雄・大沢高志・末永勝	移植時期とイネ萎縮病発生との関係	1969	関東東山病害虫研究会年報	16 #28	イネ黒条萎縮病, 発生消長, 移植時期, 発病回避, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
松尾彰・伊藤泰次	千葉県香取郡におけるトビイロウンカの発生状況 (予報)	1969	関東東山病害虫研究会年報	16 #78	異常発生, 予察灯, 再生イネ株加温調査, トビイロウンカ
菊池哲朗	千葉県山武郡下におけるトビイロウンカの調査例	1969	関東東山病害虫研究会年報	16 #79	すくい取り法, 株分け法, セジロウンカ, トビイロウンカ
滝田泰章・尾田啓一	ヒメトビウンカ第1世代幼虫の動態とその調査法	1969	関東東山病害虫研究会年報	16 #80	イネ縞葉枯病, イネ黒条萎縮病, 産卵調査, すくい取り法, 吹き出し法, 生息部位別密度, ヒメトビウンカ
福島義一・村上正雄・高野光之・安正純	ヒメトビウンカ発生予察の基礎的研究 (1)温度と幼虫期間	1969	関東東山病害虫研究会年報	16 #82	温度条件, 齢期別幼虫期間, ヒメトビウンカ

原敬之助・高井昭	ツマグロヨコバイの越冬世代における卵密度について	1969	関東東山病虫害研究会年報	16 #83	卵数, サクションキャッチャー, 幼虫数, ツマグロヨコバイ
斎藤司郎・豊田文雄	夏季におけるツマグロヨコバイの発生消長について 1. 産卵消長について	1969	関東東山病虫害研究会年報	16 #84	ほ場調査, 産卵消長, 早期田, 普通田, ツマグロヨコバイ
斎藤浩一・片山栄助	夏季におけるツマグロヨコバイの発生消長について 2. 成幼虫の発生消長について	1969	関東東山病虫害研究会年報	16 #85	発生消長, 幼虫齡構成, ツマグロヨコバイ
山口勇・鈴木文夫	千葉県君津地方におけるトビイロウンカの発生と防除体制について	1969	関東東山病虫害研究会年報	16 #91	防除体制, 誘殺消長, セジロウンカ, トビイロウンカ
柳武吉・沢中夫・熊谷広志	長野県伊那地方におけるヒメトビウンカ越冬世代幼虫の春期広域防除効果	1969	関東東山病虫害研究会年報	16 92-93	ヘリコプタ, 空中散布, 殺虫剤, マラソン, イネ縞葉枯病, 吹き出し法, 黄色水盤法, 誘殺消長, 防除適期, 発病株率, 産卵消長, 防除効果, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
柴本精・高沼重義・中村知義・鈴木喜造	ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイに対するヘリコプタ散布効果について	1969	関東東山病虫害研究会年報	16 94-96	ヘリコプタ, 空中散布, 殺虫剤, ダイシストン, ダイシストンガンマ, ダイアジノン, エイトガンマ, ホップサイド, メオパール, サンサイド, ナック, マラソン, 防除効果, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
岡本憲三郎・西野目文男・桜井孝弘	請負防除と発生予察の関連について	1969	関東東山病虫害研究会年報	16 #96	請負防除, 発生予察, 殺虫剤, BHC, ヒノサンサイド, ヒノザン, マラソン, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
尾田啓一・滝田泰章・高橋三郎	ウンカ, ヨコバイ類に対する地上微量散布に関する研究 1. 茎葉繁茂と散布量について	1969	関東東山病虫害研究会年報	16 97-98	殺虫剤, マラソン, 防除効果, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
佐川隆夫・平野誓司・竹内正毅・田中伸彦・富樫邦彦	ツマグロヨコバイに対するカーバメート系殺虫剤の活性におよぼす温度の影響(I)	1969	関東東山病虫害研究会年報	16 99-100	生物検定, 殺虫剤, カーバメート系殺虫剤, Dry film contact 法, 効力試験, 速効性試験, 水耕培養法, 浸透移行性試験, LC50

佐川隆夫・平野誓司・竹内正毅・田中伸彦・富樫邦彦	ツマグロヨコバイに対するカーバメート系殺虫剤の活性におよぼす温度の影響(Ⅱ)	1969	関東東山病害虫研究会年報	16	100-101	生物検定, 殺虫剤, カーバメート系殺虫剤, LC50, KT50, 温度条件, 24時間後死虫率, 速効性, 浸透移行殺虫力
高山隆夫・岡本茂・原栄一	害虫類の農薬抵抗性に関する研究 第2報 ツマグロヨコバイのマラソンおよび2, 3の薬剤に対する感受性について	1969	関東東山病害虫研究会年報	16	#102	生物検定, 殺虫剤, マラソン, サンサイド, メオバル, ダイアジノン, エルサン, LC50, パラチオン, EPN, MPMC, MTMC, CPMC, NAC, バッサ, マラソン抵抗性, ツマグロヨコバイ
田中康夫・中越省逸・鈴木治	数種殺虫剤(粒剤)のツマグロヨコバイに対するガス効果について	1969	関東東山病害虫研究会年報	16	#103	生物検定, 蒸散ガス, 浸透移行性, 殺虫剤, BPMC, PHC, ダイアジノン, エチルチオメトン, ジメトエート, ダイホネート, BHC, MPMC, ツマグロヨコバイ
杉本達美・山崎昌三郎	トビイロウンカに関する研究 ー水稻施肥が発育, 産卵数におよぼす影響ー	1969	北陸病害虫研究会報	17	29-32	施肥条件, 窒素, リン酸, カリウム, 幼虫期間, 成虫期間, 産卵数, 成虫翅型, 死亡率, トビイロウンカ
杉本達美・山崎昌三郎	トビイロウンカに関する研究 ーイネ品種が発育, 繁殖におよぼす影響ー	1969	北陸病害虫研究会報	17	32-35	品種間差異, 齢別幼虫発育期間, 翅型別成虫生存期間, 性別生存期間, 翅型発現率, 性比, 産卵前期間, 総産卵数, 産卵期間, 1日あたり産卵数, 産卵消長, 卵期間, ふ化率, ト
織田真吾	ツマグロヨコバイ卵寄生蜂 <i>Gonatocerus</i> -sp. の2, 3の生態	1969	北陸病害虫研究会報	17	67-69	卵寄生蜂, <i>Gonatocerus</i> -sp., 発育期間, 成虫期間, 温度条件, 産卵条件, ツマグロヨコバイ

山下利輝・山原外喜雄・東出進一・山津敏男・大沢正雄・浜田茂・篠田正信・金岩義雄・藤田助松・沢野喜久郎・杉浦清勝	混合剤による病害虫同時防除の再検討	1969	北陸病害虫研究会報	17	84-86	ほ場試験, 同時防除, 防除回数, 殺虫剤, パダンナック, カルタップ, NAC, バイジット, MPP, 防除効果, ツマグロヨコバイ
平尾重太郎	福山地方におけるウンカ科(Delphacidae)の種類と予察灯による発生消長	1969	日本応用動物昆虫学会中国支部会	11	#5-8	予察灯, 誘殺数, 発生消長, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ
安部凱裕	殺虫剤微量散布の水稻害虫に対する効果	1969	日本応用動物昆虫学会中国支部会	11	#8-10	殺虫剤微量散布, 殺虫剤, MEP, マラソン, 防除効果, ツマグロヨコバイ
木谷清美・木曾皓・山本孝彦	イネ縞葉枯病に関する研究 第3報西南暖地における早植水稻の縞葉枯病に対するキルバール乳剤およびダイシストン粒剤の防除効果	1969	四国植物防疫研究	4	#11-16	ほ場試験, イネ縞葉枯病, 殺虫剤, キルバール, ダイシストン, 発生消長, 発病推移, 発病茎率, 収量調査, ヒメトビウンカ
川原幸夫・桐谷圭治・笹波隆文・中筋房夫・大熊千代子	水田におけるクモの種類相と個体数の季節的消長, とくにツマグロヨコバイの発生消長と関連して	1969	四国植物防疫研究	4	33-44	ほ場調査, 天敵, クモ類, 種構成, 発生消長, ツマグロヨコバイ
大熊衛・尾崎幸三郎	ヒメトビウンカにおけるマラソンおよびスミチオン抵抗性の発達	1969	四国植物防疫研究	4	45-49	生物検定, 薬剤淘汰, 抵抗性発達, 致死薬量, LD50, 残留面接触法, 寒天ゲル薄層電気泳動法, 殺虫剤, スミチオン, マラソン, エステラーゼ活性, ヒメトビウンカ

村松義 司・杉野 多万司・ 中村和雄	未耕起田におけるツマグロヨコバイ第2回成虫の個 体数調査法の検討	1970	日本応用動 物昆虫学会 誌	14	1	19-24	個体数調査法, 効率, マーキング法, すくい取 り法, サクションキャッチャー, 個体数推定, 移 動, ツマグロヨコバイ
山田堅一 郎・徳光 崇・四方 英四郎	ヒメトビウンカ, <i>Laodelphax striatellus</i> FALLEN 胚子 の組織培養	1970	日本応用動 物昆虫学会 誌	14	2	79-84	組織培養, 培地間差異, 増殖細胞, 中空組 織, 上皮性細胞, トリプシン, ヒメトビウンカ
寒川一成	トビイロウンカの吸汁習性に関する研究 第1報 窒素欠乏水稻での吸汁	1970	日本応用動 物昆虫学会 誌	14	2	101- 106	吸汁嗜好性, 甘露分泌量, 口針挿入, 産卵 数, 蔵卵数, 卵巣, トビイロウンカ
寒川一成	トビイロウンカの吸汁におよぼすアスパラギンの効 果	1970	日本応用動 物昆虫学会 誌	14	2	#107	アスパラギン酸, 吸汁選好性, 甘露, 口針鞘, トビイロウンカ
寒川一成	トビイロウンカの吸汁習性に関する研究 第2報 甘露排泄からみた吸汁習性	1970	日本応用動 物昆虫学会 誌	14	3	134- 139	甘露, アミノ酸, アラニン, ヒスチジン, プロリ ン, バリン, グルタミン酸, グルタミン, アスパ ラギン酸, アスパラギン, アルギニン, 蔗糖, グルコース, 維管束, 篩管, 導管, トビイロウ キクズキドクグモ, アシナガグモ, ヤマトコノハ グモ, セスジアカムネグモ, 機能の反応, 寄主 発見能力, 攻撃摂食時間, 最大攻撃量, ツマ グロヨコバイ
笹波隆 文・桐谷 圭治・川 原幸夫	クモ類の補食能力の室内実験による評価法	1970	日本応用動 物昆虫学会 誌	14	3	144- 146	殺虫剤, カーバメート系殺虫剤, CPMC, PHC, MPMC, MIPC, MTMC, XMC, NAC, マ ラソン, BPMC, TBPMC, TAPMC, ドライフィル ム法, 局所施用法, ガス効果, コリンエステ ラーゼ阻害, 死虫率, LD50, 温度条件, KT50, 葉面散布, 水面施用, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
風野光・ 黒須泰 久・浅川 勝・福永 一夫	カーバメート化合物の農薬への応用 第4報 ブチ ルおよびアミル置換フェニルカーバメートのウンカ・ ヨコバイ類に対する殺虫力および殺虫特性の検討	1970	日本応用動 物昆虫学会 誌	14	4	173- 181	殺虫剤, カーバメート系殺虫剤, CPMC, PHC, MPMC, MIPC, MTMC, XMC, NAC, マ ラソン, BPMC, TBPMC, TAPMC, ドライフィル ム法, 局所施用法, ガス効果, コリンエステ ラーゼ阻害, 死虫率, LD50, 温度条件, KT50, 葉面散布, 水面施用, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
大竹昭郎	ヒメトビウンカ第2回成虫の黄色水盤への誘殺消長 と水田内での分布	1970	日本応用動 物昆虫学会 誌	14	4	195- 203	ほ場調査, 黄色水盤法, 読み取り法, 空間分 布, 発生消長, ヒメトビウンカ
法橋信彦	休閑田におけるツマグロヨコバイ越冬世代虫の密 度推定の一方法	1970	九州病害虫 研究会報	16		12-15	負の2項分布, 平均混み合い度指数, ツマグ ロヨコバイ
永井清 文・岩橋 哲彦・後 藤重喜	ツマグロヨコバイの早春(3月)防除について	1970	九州病害虫 研究会報	16		15-17	発生消長, イネ黄萎病, イネ萎縮病, ツマグロ ヨコバイ

豊田久蔵	粒剤の土面施用による秋期トビイロウンカの防除効果	1970	九州病害虫研究会報	16	17-24	殺虫剤, BPMC, MTMC, MPMC, PHC, MPP, MEP, MIPC, NAC, γ -BHC, ダイアジノン, エチルメオチオトン, ジメトエート, ホスドン, サリチオン, トビイロウンカ, ツマグロヨコバイ
阿部恭洋・宮原和夫・関正男・鬼塚朔郎・衛藤良助・福井基彦	ニカメイチュウ第2世代虫, ツマグロヨコバイおよびトビイロウンカに対するパイプダスター散布による粉粒混合剤の同時防除効果について	1970	九州病害虫研究会報	16	32-34	殺虫剤, ゴマアソスミナック粉剤, アソスミナック粉剤, スミナック粉剤, アソリンミップ粉粒剤, ガンマーミプシン粒剤, ツマグロヨコバイ, トビイロウンカ
小林研三・嶋田一明	トビイロウンカの薬剤防除時期について	1970	九州農業研究	32	99-100	防除適期, 殺虫剤, MIPC, BHC, 収量調査, トビイロウンカ
日野義一・千葉文一・伊藤春男・五十嵐良造・船迫勝男	宮城県におけるトビイロウンカ, セジロウンカの生態に関する研究 第1報 トビイロウンカ多発生田と少発生田の微気象について	1970	北日本病害虫研究会報	21	#44	発生量, 微気象, 畦間気温, 畦間湿度, 畦間日射量, セジロウンカ, トビイロウンカ
新海昭	1969年関東各地産ヒメトビウンカにおけるイネ縞葉枯ウイルスの保毒率	1970	関東東山病害虫研究会	17	#25	イネ縞葉枯病, 保毒虫率, ヒメトビウンカ
大野清吉・伊藤直治・菅谷勘	イネの空中散布による通年防除について	1970	関東東山病害虫研究会年報	17	27-28	空中散布, 通年防除, 発生消長, 殺虫剤, メオバール, バイジット60ネオアジソン, カスバール, ヒノコンビ, アソバール, ヒノミックス, ヒノバイジット, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバ
木暮幹夫・水出浩・小林啓一・神保尚一	粒剤施用による水稻病害虫の通年防除について	1970	関東東山病害虫研究会年報	17	29-30	通年防除, 殺虫剤, ダイアジノン, EPN, BHC, ガンマーミプシン, キタジンP, EPN, バイジット, キタジンEPN, ネオアソ, エルキット, ネオキタチオン, カスミン, 被害調査, すくい取り法, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ, 防除効果, 生育調査, 収量調査
稲生稔・高井昭	ヒメトビウンカ越冬幼虫の生息推移について	1970	関東東山病害虫研究会	17	#73	発生消長, 打ちぬき法, 吹き出し法, サクションキャッチャー, 越冬幼虫, ヒメトビウンカ

関谷銃造	ツマグロヨコバイ越冬幼虫のほ場での分散移動	1970	関東東山病 害虫研究会	17 #74	ほ場調査, 越冬幼虫, 分散移動, ツマグロヨコ バイ
三田久男	高所ステッキートラップにおけるヒメトビウンカ成虫 の捕殺とその特徴	1970	関東東山病 害虫研究会	17 75-76	高所ステッキートラップ, 誘殺消長, ヒメトビウ ンカ
柳武	昭和44年長野県伊那地方に多発したセジロウンカ・ トビロウンカの発生消長	1970	関東東山病 害虫研究会	17 #77	発生消長, 払い落とし法, 予察灯, 誘殺消長, セジロウンカ, トビロウンカ
風野光・ 浅川勝	カーバメート化合物のヒメトビウンカに対する殺虫 力試験法の検討	1970	関東東山病 害虫研究会 年報	17 #80	生物検定, 殺虫力試験, ガス効果試験, 局所 施用法, dry film法, LD50, 殺虫剤, TBPMC, TAPMC, BPMC, XMC, MPMC, MTMC, CPMC, NAC, ヒメトビウンカ
田中康 夫・中越 省逸・鈴 木治	数種殺虫剤(粒剤)のヒメトビウンカに対するガス効 果について	1970	関東東山病 害虫研究会 年報	17 #81	生物検定, ガスの殺虫力, 浸透移行殺虫力, 殺虫剤, BPMC, PHC, エチルチオメトン, ダイ アジノン, ジメトエート, ヒメトビウンカ
高山隆 夫・山田 好明	薬剤種子処理のヒメトビウンカに対する効果	1970	関東東山病 害虫研究会 年報	17 #82	生物検定, 殺虫剤, MIPC, PHC, MTMC, MPMC, BPMC, エチカン, キルバール, 累積 死虫率, 生育調査, 発芽数, 草丈, ヒメトビウ ンカ
高山隆 夫・岡本 茂	害虫類の農薬抵抗性に関する研究 第3報 薬剤 防除経歴からみたツマグロヨコバイの薬剤感受性	1970	関東東山病 害虫研究会 年報	17 #83	散布回数, 殺虫剤, パラチオン, EPN, ダイア ジノン, MPP, PAP, MEP, マラソン, テップ, NAC, PHC, MPMC, BHC, LC50, ツマグロヨ コバイ
豊田文 雄・斎藤 司朗	7月空中散布によるツマグロヨコバイ防除効果につ いて	1970	関東東山病 害虫研究会 年報	17 #84	空中散布, 殺虫剤, カスバール, ツマサイド, 発生消長, すくい取り法, ツマグロヨコバイ
斎藤浩 一・片山 栄助	夏期におけるツマグロヨコバイの発生消長について 3. 主として産卵消長よりみた7月防除の可能性に ついて	1970	関東東山病 害虫研究会 年報	17 85-86	産卵数推移, 卵塊数, 生育ステージ別卵数, 発生消長, 死卵率, 世代数推定, 防除適期, ツマグロヨコバイ
呉羽好三	出穂期のツマグロヨコバイに対するBHC, ダイアジ ノン粒剤の施用時期と効果	1970	関東東山病 害虫研究会 年報	17 87-89	ほ場調査, 産卵数推移, 卵の生育状況, 卵塊 数, 発生消長, 殺虫剤, BHC, ダイアジノン, 防除効果, 防除適期, ツマグロヨコバイ
柴本精	ニカメイチュウ防除剤散布がウンカ, ヨコバイの密 度におよぼす影響	1970	関東東山病 害虫研究会 年報	17 90-91	ほ場調査, 殺虫剤, ダイアジノン, BHC, EPN, 産卵, 防除効果, 密度指数, ツマグロヨ コバイ, ヒメトビウンカ

高橋三郎・尾田啓一・滝田泰章・豊田文雄・森倫平・田中康夫	微粒剤空中散布の効果について	1970	関東東山病虫害研究会年報	17 #92	空中散布, 殺虫剤, 薬剤付着量, 微粉剤, 粉剤, バッサ, 落下虫率, 散布後密度, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ
滝田泰章・尾田啓一・星野三男・高橋三郎・森倫平・遠藤尚志	微粒剤地上散布の効果について	1970	関東東山病虫害研究会年報	17 #93	薬剤付着状況, すくい取り法, 殺虫剤, バッサ, 微粒剤, 粉剤, コーティング型, ニードリング型, 防除効果, 落下虫率, 散布後密度, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
尾田啓一・滝田泰章・豊田文雄・高橋三郎	空中微量散布各薬剤の温度別残留殺虫効果について	1970	関東東山病虫害研究会年報	17 #94	空中微量散布, 温度別残留殺虫効果, 殺虫剤, 殺虫率, バッサ, スミバッサ, マラソン, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ
下山守人・柴本精・呉羽好三・高沼重義・中村知義	ツマグロヨコバイに対する微粒剤のヘリコプタ散布効果	1970	関東東山病虫害研究会年報	17 95-96	ヘリコプタ, 空中散布, 殺虫剤, 微粉剤, 薬剤落下量, ダイアジノン, バイジット, YI-4424A, メオバール, 防除効果, 防除効果, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ
滝田泰章・尾田啓一	ウンカ・ヨコバイ類に対する地上微量散布に関する研究 II 低温時における殺虫効果について	1970	関東東山病虫害研究会年報	17 #97	地上微量散布, サクションキャッチャー, 吹き出しすくい取り法, 越冬世代幼虫, マラソン, MIPC, BPMC, 防除効果, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
高瀬一太郎・藤塚三雄・会田誠	マラソンL60の微量散布による殺虫効果	1970	関東東山病虫害研究会年報	17 #98	ヘリコプタ, 微量空中散布, 殺虫剤, 薬剤飛散, 薬剤残効期間, マラソン, サンサイド, 防除効果, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ

高井昭・ 稲生稔	数種薬剤のトビイロウンカに対する殺虫効果	1970	関東東山病 害虫研究会 年報	17	#99	殺虫剤, 粉剤, 粒剤, BHC, メオパール, マラ ソン, ツマサイド, バッサリン, スミチオン, サン サイド, バイジット, ダイシストンエイトガン マー, 防除効果, 防除適期, トビイロウンカ 生物検定, 薬剤感受性, 殺虫剤, NAC, 羽化 後経過日数, 死虫率, 苦悶虫率, トビイロウン カ
杉本達 美・山崎 昌三郎	トビイロウンカに関する研究 ー羽化後の経過日数 と薬剤感受性について	1970	北陸病虫害 研究会報	18	57-58	卵寄生蜂, Mymaridae, Ooctonus-sp., Anagrus-sp., Gonatocerus-sp., Trichogrammatidae, Japania-andoi, Chaetostricha-aurulenta, 卵塊数, 卵粒数, ほ場試験, 払い落とし法, 殺虫剤, 剤型間差 異, バイジット, ネオアソジン, タフジンP, ツマ サイド, キタジンP, ED, ガンマーミブシン, 防 除効果, 収量調査, 精籾重, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバ イ,
織田真吾	北陸地域におけるツマグロヨコバイの卵寄生蜂の 種と寄生率	1970	北陸病虫害 研究会報	18	59-61	卵寄生蜂, Mymaridae, Ooctonus-sp., Anagrus-sp., Gonatocerus-sp., Trichogrammatidae, Japania-andoi, Chaetostricha-aurulenta, 卵塊数, 卵粒数, ほ場試験, 払い落とし法, 殺虫剤, 剤型間差 異, バイジット, ネオアソジン, タフジンP, ツマ サイド, キタジンP, ED, ガンマーミブシン, 防 除効果, 収量調査, 精籾重, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバ イ,
杉浦清 勝・中川 勇・東出 進一・山 津敏男・ 山原外喜 雄・中田 二郎・山 下利輝・ 篠田正 信・金岩 義雄・藤 田助松・ 沢野喜久 郎	粒剤による水稻病虫害防除の一例	1970	北陸病虫害 研究会報	18	83-85	卵寄生蜂, Mymaridae, Ooctonus-sp., Anagrus-sp., Gonatocerus-sp., Trichogrammatidae, Japania-andoi, Chaetostricha-aurulenta, 卵塊数, 卵粒数, ほ場試験, 払い落とし法, 殺虫剤, 剤型間差 異, バイジット, ネオアソジン, タフジンP, ツマ サイド, キタジンP, ED, ガンマーミブシン, 防 除効果, 収量調査, 精籾重, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバ イ,
藤本清・ 山口福男	ツマグロヨコバイの被害に関する2, 3の考察	1970	日本応用動 物昆虫学会 中国支部会	12	#10-14	被害解析, 加害時期間差異, 収量調査, 収量 構成要素, 雌雄間差異, ツマグロヨコバイ
中筋房 夫・桐谷 圭治	ツマグロヨコバイ <i>Nephotettix cincticeps</i> のイネ萎 縮病ウイルス(RDV)吸汁獲得率	1970	四国植物防 疫研究	5	#1-9	イネ萎縮病, 血清法, 抗体感作緬羊赤血球凝 集反応法, イネ萎縮病ウイルス吸汁獲得最高 率, 温度条件, 発病後経過日数間差異, 保毒 虫率, 性比, 羽化率, 発病株率, 吸汁獲得推 定率, ツマグロヨコバイ

上原等・ 都崎芳 久・横山 光夫・大 熊衛・山 本辰雄・ 亀山政 幸・森口 遷	小麦上のヒメビウンカ第1世代幼虫の生息数とイ ネ縞葉枯病の発病との関係	1970	四国植物防 疫研究	5	#11-15	イネ縞葉枯病, 小麦, 幼虫生息数, 予察灯, 誘殺数, 苗代感染率, 発病株率, ヒメビウン カ	
清家安 長・吉岡 幸治郎	愛媛県各地におけるヒメビウンカ個体群の有機りん 剤抵抗性について	1970	四国植物防 疫研究	5	17-21	生物検定, エステラーゼ反応, 殺虫剤抵抗 性, 殺虫剤, エチルパラチオン, マラソン, エ ルサン, EPN, スミチオン, バイジット, ダイア ジノン, キルバール, 地域間差異, ヒメビウン	
清家安 長・高山 昭夫	エステラーゼ活性度によるヒメビウンカの有機りん 剤抵抗性のさいのサンプリングについて	1970	四国植物防 疫研究	5	23-26	生物検定, エステラーゼ活性, 殺虫剤, 殺虫 剤抵抗性, 有機リン剤, 母数推定, 抽出実 験, サンプリング規模, ヒメビウンカ	
尾崎幸三 郎・葛西 辰雄	ツマグロヨコバイとヒメビウンカに対する各種殺虫 剤の効果	1970	四国植物防 疫研究	5	39-43	ほ場試験, 殺虫剤, NAC, PHC, MPMC, CPMC, MTMC, APC, パラチオン, メチルパラ チオン, スミチオン, バイジット, EPN, ダイアジ ノン, マラソン, シディアル, ジメトエート, メカ ルバム, CVP, DDVP, サリチオン, すくい取り 法, 防除効果, 局所施用法, LD50, ヒメビウ ンカ, ツマグロヨコバイ	
桐谷圭 治・川原 幸夫・笹 波隆文・ 中筋房夫	早期水稻におけるゴマシオ剤のニカメイチュウ, ウ ンカ・ヨコバイ類に対する防除効果	1970	四国植物防 疫研究	5	45-50	ほ場試験, 殺虫剤, 剤型間差異, ゴマシオ 剤, MEP, NAC, MAF, ダイアジノン, 薬剤落 下量調査, 稲体比色法, シャーレ比色法, 化 学分析法, 生物試験法, 払い落とし法, 防除 効果, ヒメビウンカ, ツマグロヨコバイ	
大久保宣 雄・岸本 良一	トビイロウンカ第4, 5回成虫期の飛しょう行動の日 周期性	1971	日本応用動 物昆虫学会 誌	15	1	#8-16	飛翔行動, サクショントラップ, 日周期性, 照 度, 気温, 風速, 性比, 雌交尾率, トビイロウ ンカ, ツマグロヨコバイ
寒川一成	ウンカ・ヨコバイ類の唾腺に関する研究 第5報 口 針鞘形成機構	1971	日本応用動 物昆虫学会 誌	15	3	132- 138	口針鞘, 口針鞘物質, 唾腺, 分泌組織, SH 基, ポリフェノール酸化酵素活性, タンパク 質, リポイド性物質, キノンタンニング様反応, トビイロウンカ, ヒメビウンカ, ツマグロヨコバ

寒川一成	トビイロウンカの吸害による水稻葉身部の含有成分の変動	1971	日本応用動物昆虫学会	15	4	175-179	植物生理学, アミノ酸, 糖, タンパク質, 吸汁害, トビイロウンカ
風野光・浅川勝	カーバメート化合物のヒメトビウンカに対する殺卵効力	1971	日本応用動物昆虫学会誌	15	4	262-264	生物検定, 殺虫剤, カーバメート系殺虫剤, TBPMC, TAPMC, BPMC, MIPC, XMC, MPMC, MTMC, PHC, CPMC, NAC, 殺卵反応, 眼点形成, ヒメトビウンカ
坂之下旭・小出聖	休耕田における昆虫相の変動	1971	九州病害虫研究会報	17		103-105	休耕田, ヒエ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
永野道昭	稲作の変遷に伴う害虫の2, 3の問題点	1971	九州病害虫研究会報	17		105-107	休耕田, ツマグロヨコバイ
岡田忠虎	ウンカから分離した疫病菌, <i>Conidiobolus</i> sp. について	1971	九州病害虫研究会報	17		107-110	<i>Conidiobolus</i> sp., トビイロウンカ
原敬一・堀切正俊・深町三朗・今村三男・永島田義則・村永治喜・池田和俊・脇慶三・押川幹夫・牧野晋	セジロ, トビイロウンカのネットトラップ調査について	1971	九州病害虫研究会報	17		110-112	ネットトラップ, ステッキートラップ, 黄色水盤, 予察灯, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
岸本良一	最近の稲しまはがれ病保毒虫率の動向	1971	九州病害虫研究会報	17		112-113	発生消長, 黄色水盤法, 保毒虫率, 稲縞葉枯病, ヒメトビウンカ
有菌敏雄・宮原和夫・阿部恭洋	ニカメイチュウ, ウンカ・ヨコバイ類に対するパイプダスター散布による各種粉粒剤の同時防除効果について (その1)重質粉剤を中心に	1971	九州病害虫研究会報	17		125-128	殺虫剤, ツマノスパン重質粉剤, ツマノスパン微粉剤, ツマノスパン粉粒剤, パタンサイド粉粒剤, ゴマパタンサイド粉剤, クロルフェナミジン, カルタップ, MTMC, トビイロウンカ, ツマグロヨコバイ

阿部恭洋・宮原和夫・有菌敏雄	ニカメイチュウ, ウンカ・ヨコバイ類に対するパイプダスター散布による各種粉粒剤の同時防除効果について (その2) 粉粒剤を中心に	1971	九州病害虫研究会報	17	128-129	殺虫剤, ツマノスパン粉粒剤, パタンサイド粉粒剤, ゴマパタンサイド粉剤, パタンサイド粉剤, トビイロウンカ, ツマグロヨコバイ
豊田久蔵	空中散布による6月防除(苗代期)のイネウイルス病防除効果	1971	九州病害虫研究会報	17	129-131	殺虫剤, MTMC, MEP, NAC, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
中村秀芳・水町正美・山口富佐雄・北島龍澄・飯盛義高・陣竹政七・有菌敏雄・水田博義・関正男・宮原和夫・鬼塚朔郎・阿部恭洋・衛藤良助	ヘリコプター散布によるスミエース微粉剤のウンカ・ヨコバイ類に対する防除効果および薬剤の飛散について	1971	九州病害虫研究会報	17	131-133	殺虫剤, MPMC, MEP, スミエース, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ, 残効試験
永井清文・岩橋哲彦・後藤重喜	パイプダスターによる粉粒剤の散布について	1971	九州農業研究	33	110-111	殺虫剤, パイプダスター, アンプリミップ粉粒剤, ネオアソジン粉剤, ガンマーミプシン粉剤, 防除効果, ツマグロヨコバイ, セジロウンカ, トビイロウンカ
原敬一・堀元学・深町三朗・脇慶三	鹿児島県におけるイネ萎縮病の発生と防除について (第5報) 空中微量散布による越冬ツマグロヨコバイ防除	1971	九州農業研究	33	112-113	越冬, 殺虫剤, 空中散布, バッサ, ホクバー, ミプシン, マラソン, ツマグロヨコバイ
河辺信雄	ツマグロヨコバイの被害解析に関する試験 (2) 被害と粒厚について	1971	北日本病害虫研究会報	22	#56	被害解析, 生育ステージ, 収量調査, ツマグロヨコバイ

内田勉・石原敏郎・保坂義行	IBP粒剤の各種殺虫粒剤との混用と効果	1971	関東東山病害虫研究会年報	18 #6-7	殺虫剤混用試験, 殺虫剤, IBP粒剤, ダイシストン, ダイアジノン, ミプシン, サンサイド, カスミン, 稲穂いもち病, ヒメビウンカ, ツマグロヨコバイ
柴本精・松石一樹・飯島袈裟雄	種子粉衣による直播稲の縞葉枯病防除効果	1971	関東東山病害虫研究会年報	18 #14	種子粉衣, イネ縞葉枯病, 殺虫剤, サンサイド, ランネット, メオバール, ダイアジノン, ヘリコプタ, 空中散布, 見取り調査, ネット振り調査, 残効性試験, 防除効果, ヒメビウンカ
岡本憲三郎・桜井孝弘	防除実地指導の立場からみたヒメビウンカおよびイネ縞葉枯病の発生状況について	1971	関東東山病害虫研究会年報	18 #15	イネ縞葉枯病, すくい取り法, 発生量, 発生面積, 気象条件, 地形条件, 栽培型, 防除適期, ヒメビウンカ
新海昭	1970年関東各地産ヒメビウンカにおけるイネ縞葉枯および黒条萎縮ウイルスの保毒率	1971	関東東山病害虫研究会年報	18 #16	イネ縞葉枯病, イネ黒条萎縮病, 媒介虫率, 成虫, 幼虫, 翅型, ヒメビウンカ
本郷武・松本定利・木島利男・柴田幸省	イネくろすじ萎縮病の防除に関する研究 III 陸稲くろすじ萎縮病の多発地における実態調査	1971	関東東山病害虫研究会年報	18 #17	イネ黒条萎縮病, 栽培様式間差異, 発生消長, 発病株数, 殺虫剤, ダイアジノン, ダイシストン, 防除効果, ヒメビウンカ
高橋広治・吉村彰治	イネ黒すじ萎縮病の発病に及ぼす移植時期の影響	1971	関東東山病害虫研究会年報	18 #18	移植時期, 媒介虫率, 着生数, ヒメビウンカ
君崎喜之助・小森昇	水田基盤整備後におけるイネ黄萎病の発生推移	1971	関東東山病害虫研究会年報	18 #20	水田基盤整備, イネ黄萎病, 立毛稲発病株率, ヒコバエ発病株率, ツマグロヨコバイ
山内寅好・榊原哲男・浦野春男・景山大典	水稻土付苗田植機栽培における主要病害虫の発生実態	1971	関東東山病害虫研究会年報	18 21-22	稚苗田植機栽培, 普通移植栽培, イネ萎縮病, イネ縞葉枯病, 稲黄化萎縮病, ヒメビウンカ, ツマグロヨコバイ, トビイロウンカ, セジロウンカ, 発生消長
村上正雄・鈴木計司	ヒメビウンカ発生予察の基礎的研究 (2) 温度と精巢の発育	1971	関東東山病害虫研究会年報	18 #78	温度条件, 齢期, 精巢発育, ヒメビウンカ
村上正雄・鈴木計司	ヒメビウンカ発生予察の基礎的研究 (3) 越冬世代幼虫の生育進度	1971	関東東山病害虫研究会年報	18 #79	叩き出し法, 越冬世代幼虫, 齢構成, 成虫率, ヒメビウンカ

片山栄 助・斎藤 司朗・市 田宏市・ 滝田泰章	7月空中散布によるツマグロヨコバイの防除効果について	1971	関東東山病 害虫研究会 年報	18 #86	空中散布, 産卵消長, 防除適期, 防除効果, 殺虫剤, ヒノツマサイド, ツマグロヨコバイ
安正純・ 村上正 雄・鈴木 計司・藤 田耕朗	ウンカ・ヨコバイ類の防除効果について	1971	関東東山病 害虫研究会 年報	18 #87	すくい取り法, 齡構成, 殺虫剤, ダイアジノン, 防除効果, ツマグロヨコバイ
大野清 吉・田口 富夫・菅 谷勤	ウンカ類の早春期における広域防除について	1971	関東東山病 害虫研究会 年報	18 88-89	イネ縞葉枯病, イネ黒条萎縮病, サクシオン キャッチャー, 捕虫網, すくい取り法, 殺虫剤, メオパール, マクパール, 発消長, 防除効 果, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
高山隆 夫・角田 信雄	MIPC水和剤種子粉衣のヒメトビウンカに対する殺 虫効果	1971	関東東山病 害虫研究会 年報	18 #90	MIPC粉衣PVA, MIPC粉衣, ダイアジノン, 累 積死虫率, MIPC, MCC, PCP, NIP, リニューロ ン, 生育調査, ヒメトビウンカ
中里筆 二・沖島 寿彦・吉 沢進	多口ホース噴頭による粉粒剤の散布実用化研究	1971	関東東山病 害虫研究会 年報	18 95-96	多口ホース噴頭, 散布実用化研究, イネ体附 着量, ドリフト, すくい取り法, 殺虫剤, BPMC, MTMC, 粉粒剤, 粉剤, 殺虫効果, ヒメトビウ ンカ, ツマグロヨコバイ
織田真吾	ツマグロヨコバイの越冬と積雪深および期間との関 係	1971	北陸病害虫 研究会報	19 42-44	越冬, 積雪深, 積雪期間, 生存率, 発生予 察, ツマグロヨコバイ
大矢慎 吾・鈴木 忠夫	ツマグロヨコバイの増殖機構に関する研究 第II報 日射量および窒素施用量の異なる栽培水稻での幼 虫発育と産卵	1971	北陸病害虫 研究会報	19 45-49	増殖機構, 日射量, 窒素施用量, 幼虫期死亡 率, 幼虫期間, 羽化率, 羽化成虫生体重, 産 卵数, 産卵選択, ツマグロヨコバイ
川久保幸 雄・奈須 田和彦	水稻病害虫による減収要因の解析	1971	北陸病害虫 研究会報	19 52-57	被害解析, ほ場試験, 発生量, すくい取り法, 殺虫剤, MTMC, 収量調査, 収量構成要素, 1 穂粒数, 登熟歩合, 千粒重, ツマグロヨコバ イ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, トビイロウン
嘉藤省 吾・若松 俊弘	流入施薬に関する研究 第9報 夏秋期ウンカ・ヨコ バイ類に対するPHC乳剤・ダイアジノン乳剤の効果	1971	北陸病害虫 研究会報	19 74-81	ほ場試験, 流入施薬, 殺虫剤, PHC, エチル・ チオメトン, MPP, BPMC, ダイアジノン, すくい 取り法, 防除効果, ツマグロヨコバイ, ヒメトビ
山本公志	福井県におけるツマグロヨコバイの薬剤耐性	1971	北陸病害虫 研究会報	19 97-100	生物検定, 局所施用法, 殺虫剤, 有機リン 剤, マラソン, MPP, カーバメート, NAC, LD50, 酵素活性, ツマグロヨコバイ

吉岡幸治 郎・高山 昭夫・重 松喜昭・ 上田進 笹波隆 文・桐谷 圭治	イネ縞葉枯病防除のためのヒメビウンカの発生予 察について	1971	四国植物防 疫研究	6	51-61	イネ縞葉枯病, 予察灯, 誘殺数, すくい取り 法, 払い落とし法, 発生量, 年次変動, 黄色水 盤トラップ, 飛来最盛期, 産卵, 変温条件, 恒 温条件, 産卵臨界温度, 産卵消長, 越冬幼 虫, サクシオンキャッチャー法, 発病株率, ヒメ 食物条件, 発育段階間差異, 温度条件, 降水 量, 種内競争, Morris, single-factor analysis, 個体数変動, 密度効果, 頭幅, 寿命, ツマグ ロヨコバイ	
大竹昭郎	ツマグロヨコバイの産卵力にみられる変異	1971	四国植物防 疫研究	6	73-80	メス成虫, 寿命, 産卵数, 総産卵数, 産卵能 力, 個体間差異, ツマグロヨコバイ	
尾崎幸三 郎・葛西 辰雄	ヒメビウンカの野外個体群における殺虫剤抵抗性	1971	四国植物防 疫研究	6	81-87	生物検定, 殺虫剤, パラチオン, メチルパラチ オン, フェニトロチオン, フェンチオン, ダイアジ ノン, DDVP, CVP, ダイシストン, ジメトエー ト, マラソン, シディアル, メカルバム, バミド エート, EPN, サリチオン, カーバリル, CPMC, MTMC, MPMC, PHC, DDT, γ - BHC, 殺虫剤抵抗性, LD50, 接触毒性, エス テラーゼ活性, マラソン抵抗性, フェニトロチオ ン, 殺虫剤抵抗性, 地域間差異, ツマグロヨコバイ	
尾崎幸三 郎・葛西 辰雄・亀 山政幸	香川県における有機りん剤抵抗性ツマグロヨコバイ の分布	1971	四国植物防 疫研究	6	89-93	生物検定, エステラーゼ活性, 殺虫剤抵抗 性, 地域間差異, ツマグロヨコバイ	
寒川一成	トビイロウンカの吸汁習性に関する研究 第3報 吸汁活動におよぼすアミノ酸およびその他の物質	1972	日本応用動 物昆虫学会	16	1	#1-7	人工飼料, アミノ酸, 糖, 有機塩基化合物, 口 針鞘, 甘露小滴数, 吸汁指数, トビイロウンカ
三橋淳・ 小山健二	ヒメビウンカの人工飼育, 特に1令幼虫の飼育条 件の検討	1972	日本応用動 物昆虫学会 誌	16	1	#8-17	人工飼料, 人工継代飼育, 幼虫期間, 飼育容 器, 飼育密度, 照明法, 光源, 相対湿度, 温 度, ヒメビウンカ
高井昭・ 原敬之 助・稲生 稔	ツマグロヨコバイ越冬幼虫個体数の変動およびそ の調査法について	1972	日本応用動 物昆虫学会 誌	16	2	67-74	ほ場調査, サクシオンキャッチャー, わく内す い取り法, 吹き飛ばし法, 卵密度, 個体群動 態, 捕食性天敵, クモ類, 殺虫剤, デルドリ ン, 越冬幼虫密度, 夏期増殖率, ツマグロヨコ
垣矢直 俊・桐谷 圭治	ツマグロヨコバイの飛しょう能力に及ぼす親の日 齢・密度の影響	1972	日本応用動 物昆虫学会 誌	16	2	79-86	飛しょう能力, 飛しょう行動, 飛しょう時間, 飼 育密度, 羽化後経過日数, 日齢, 後翅幅, 後 脚径節長, 定住型, 移動型, ツマグロヨコバイ

岩田俊一	ツマグロヨコバイにおける黒色型について	1972	日本応用動物昆虫学会	16	3	#162	黒色型, 劣性遺伝, ツマグロヨコバイ
嶋田一明	ツマグロヨコバイに寄生するアタマアブについて	1972	九州病害虫研究会報	18		41-43	ツマグロヒメアタマアブ, ツボイアタマアブ, ツマグロツヤアタマアブ, ツマグロキアタマアブ, ツマグロヨコバイ
宮原和夫・古賀初子	乾田直播水稻に発生する害虫に関する研究(第2報)ウンカ・ヨコバイ類の発生状況について	1972	九州病害虫研究会報	18		43-45	乾田直播水稻, 萎縮病, 稿葉枯病, くろすじ萎縮病, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
中須賀孝正・樋口泰三	長崎県産ツマグロヨコバイの薬剤感受性	1972	九州病害虫研究会報	18		46-48	殺虫剤, ダイアジノン, MPP, PAP, マラソン, MTMC, BPMC, PHC, APC, MPMC, XMC, NAC, MEP, DEP, γ -BHC, ツマグロヨコバイ
前田洋一・守谷茂雄	ツマグロヨコバイの殺虫剤感受性	1972	九州病害虫研究会報	18		49-51	殺虫剤, NAC, BPMC, PHC, MIPC, MTMC, MPMC, CPMC, ツマグロヨコバイ
後藤重喜・永井清文・岩橋哲彦	新剤型農薬の防除効果に関する調査研究(予報)	1972	九州農業研究	34		92-93	パイプダスター, 殺虫剤, MTMC, BPMC, PHC, MPMC, XMP, NAC, NIPC, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ
永井清文・萱嶋砂夫・後藤重喜	新剤型農薬の防除効果に関する調査研究(第1報)ダイアジノン新剤型のニカメイチュウ, ウンカ・ヨコバイ類に対する防除効果	1972	九州農業研究	34		#94	パイプダスター, 空中散布, 殺虫剤, ダイアジノン, スミナック粉剤, ツマグロヨコバイ, セジロウンカ, トビイロウンカ
東海林修	水稻病害虫の発生実態調査 - 昭和46年における宮城県下の一事例 -	1972	北日本病害虫研究会報	23		53-58	発生量, 発生面積, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ, セジロウンカ
腰原達雄	東北地方のツマグロヨコバイ発生地域性	1972	北日本病害虫研究会報	23		71-77	発生分布, 発生消長, 年次変動, 気温, 地域間差異, ツマグロヨコバイ
新海昭	1971年関東東山産ヒメトビウンカにおけるイネ縞葉枯病および黒条萎縮病ウイルスの保毒率	1972	関東東山病害虫研究会	19		#22	イネ縞葉枯病, イネ黒条萎縮病, 保毒虫率, ヒメトビウンカ
柴本精・呉羽好三・山崎利典	ニカメイチュウ第2世代, ウンカおよびヨコバイに対する微粒剤のヘリコプタ散布効果	1972	関東東山病害虫研究会年報	19		74-75	ヘリコプタ, 空中散布, 殺虫剤, バサジット, スミバッサ, スミバー, ダイアジノン, 薬剤垂直分布率, 薬剤落下量, うっぺい密度, 繁茂指数, 防除効果, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ
湖山利篤	採集ムギの加温法によるヒメトビウンカ産卵密度の推定	1972	関東東山病害虫研究会	19		76-77	発生消長, 産卵密度, 黄色水盤, 越冬生態, ヒメトビウンカ
三田久男	水盤の色のちがいとヒメトビウンカの誘殺数	1972	関東東山病害虫研究会	19		78-79	水盤色間差異, 誘殺数, ヒメトビウンカ

村上正雄・鈴木計司	ヒメビウンカ発生予察の基礎的研究 (4)越冬世代幼虫の生息場所と生育速度	1972	関東東山病害虫研究会年報	19	80-81	越冬世代幼虫, 生息場所, 生育速度, 齡構成, 成虫率, 精巢發育, ヒメビウンカ
村上正雄・鈴木計司・藤田耕朗	ヒメビウンカ発生予察の基礎的研究 (5)第1世代幼虫の生育速度	1972	関東東山病害虫研究会年報	19	82-83	第1世代幼虫, たたき落とし法, 生育速度, 齡構成, 発生消長, ヒメビウンカ
関谷銃造	スズメノテッポウおよび再生稲がツマグロヨコバイのほ場密度におよぼす影響	1972	関東東山病害虫研究会年報	19	#85	越冬幼虫, サクシヨンキャッチャー, 吹き出し法, 発生消長, ツマグロヨコバイ
高山隆夫・原栄一	害虫類の農薬抵抗性に関する研究 第4報 ツマグロヨコバイの薬剤に対する感受性の変化	1972	関東東山病害虫研究会年報	19	86-87	馬拉ソン抵抗性, 殺虫剤, 薬剤別濃度一致死亡率プロビット回帰直線, 感受性変化, マラソン, PAP, ダイアジノン, MEP, MPMC, BPMC, PHC, XMC, 有機燐剤, カーバメート系殺虫剤, ツマグロヨコバイ
榎田栄・浅野勝司・野々下和義	ツマグロヨコバイに対するカーバメート系殺虫剤の剤型別殺虫効果について	1972	関東東山病害虫研究会年報	19	#88	剤型間差異, 粗粉剤, 微粉剤, 生物検定, 残効性試験, 殺虫剤, BPMC, XMC, NAC, BPMC, XMC, 殺虫効力, カーバメート系殺虫剤
呉羽好三・柴本精・中村知義・藤沢恒夫	ツマグロヨコバイ越冬世代虫に対する微粒剤のヘリコプタ散布効果	1972	関東東山病害虫研究会年報	19	#89	ヘリコプタ, 空中散布, イネ黄萎病, 殺虫剤, ダイアジノン, バッサ, 薬剤落下状況, 防除効果, ツマグロヨコバイ
若松俊弘・常楽武男	休耕田における稲害虫の発生消長	1972	北陸病害虫研究会報	20	38-41	休耕田, すくい取り法, 発生消長, ツマグロヨコバイ, ヒメビウンカ, セジロウンカ, 天敵, クモ類
平松高明・坪井昭正・小林正志	岡山県におけるツマグロヨコバイのメチルパラチオン抵抗性の実態	1972	日本応用動物昆虫学会中国支部会報	14	#12-15	ほ場試験, 感受性比較試験, 酵素活性検定試験, 生物検定, 薬剤感受性検定, 防除効果, 殺虫剤, メチルパラチオン, バイジット, マラソン, ダイアジノン, エルサン, EPN, ジメエート, スミチオン, 接触毒性, LD50, LD84,
葛西辰雄・尾崎幸三郎	イネの穂揃期におけるツマグロヨコバイの被害	1972	四国植物防疫研究	7	#1-4	被害解析, 生育ステージ, 穂揃期, 吸汁加害, 加害密度, 加害期間, 品種間差異, 読み取り法, 発生消長, 収量調査, ツマグロヨコバ

吉岡幸治 郎・清家 安長・高 山昭夫・ 松本益美	カーバメイト抵抗性ツマグロヨコバイに対する各種 殺虫剤の効果	1972	四国植物防 疫研究	7	#5-12	生物検定, 殺虫剤, 致死薬量, LD50, LD84, 死虫率, 局所施用法, ベルジャーダスター法, ほ場試験, 地域間差異, ツマグロヨコバイ	
大久保宣 雄	宙吊り飛しょう法によるウンカ類飛しょうの実験的研 究 第1報 トビイロウンカの飛しょうの特徴および それらに与える物理的環境条件の影響	1973	日本応用動 物昆虫学会 誌	17	1	#10-18	飛しょう, 宙吊り飛しょう法, 飛しょう前期間, 環境条件, 気温条件, 風速条件, 相対湿度, 長距離移動, トビイロウンカ
永田徹・ 前田洋 一・守谷 茂雄・岸 本良一	トビイロウンカの防除時期について	1973	日本応用動 物昆虫学会 誌	17	2	71-76	防除適期, ほ場試験, 個体群動態, トビイロウ ンカ
小山健 二・三橋 淳	ヒメトビウンカの翅型に影響を与える飼料中の要因	1973	日本応用動 物昆虫学会 誌	17	2	111- 113	人工飼育, 翅型発現性, ビタミン組成間差異, ヒメトビウンカ
小山健二	完全合成飼料によるイナズマヨコバイとツマグロヨ コバイの人工飼育	1973	日本応用動 物昆虫学会 誌	17	3	163- 166	人工飼育, 完全合成飼料, コレステロール懸 濁水, ツマグロヨコバイ
浜弘司・ 岩田俊一	殺虫剤抵抗性ツマグロヨコバイに対するカーバメー ト系殺虫剤と有機リン系殺虫剤の共力作用	1973	日本応用動 物昆虫学会 誌	17	4	181- 186	殺虫剤, マラソン, メチルパラチオン, ダイアジ ノン, ジメトエート, PAP, PHC, NAC, LD50, MIPC, BPMC, MTMC, カーボノレート, APC, 殺虫剤抵抗性, LD50, 共力作用, ツマグロヨ コバイ
小林四 郎・柴田 広秋	水田とその周辺におけるクモ類の個体群変動, 害 虫の生態的防除と関連して	1973	日本応用動 物昆虫学会 誌	17	4	193- 202	ほ場調査, 見取り法, すくい取り法, コドラー ト, 個体群動態, 天敵, クモ類, トビイロウン カ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコ コバイ
永井清 文・野中 耕次・後 藤重喜	新剤型農薬の防除効果に関する調査研究 (第4 報)ウンカ・ヨコバイ類に対する防除効果	1973	九州病害虫 研究会報	19		90-93	殺虫剤, MTMC, PHC, MIPC, XMC, MPMC, NAC, 微粉剤, 粗粉剤, 微粉剤, トビイロウン カ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコ コバイ
守谷茂 雄・永田 徹・前田 洋一	ウンカ・ヨコバイ類の薬剤感受性検定法について	1973	九州病害虫 研究会報	19		93-94	殺虫剤, PHC, NAC, ダイアジノン, DDT, MTMC, BPMC, マラチオン, 幼苗浸根法, ドラ イフィルム法, トビイロウンカ, ツマグロヨコバ イ
芦立正雄	セジロウンカの郡山地方での発生について	1973	北日本病害 虫研究会報	24		#80	気象条件, ハイザーグラフ, クリモグラフ, セジ ロウンカ

新海昭	マイコプラズマ病の種類と生態	1973	関東東山病 害虫研究会	20 #1-4	イネ黄萎病, ツマグロヨコバイ
岸本良一	小型昆虫の移動(特別講演)	1973	関東東山病 害虫研究会	20 #5	梅雨前線, 移動, 適応的意義, ウンカ
柴本精・ 呉羽好 三・小林 莊一・山 崎利典	ニカメイガ第2世代, ウンカおよびヨコバイに対する 微粒剤のヘリコプタ散布効果	1973	関東東山病 害虫研究会 年報	20 98-99	ヘリコプタ, 空中散布, 殺虫剤, ツマジノン, MTMC, ダイアジノン, デプバッサ, DEP, BPMC, エルサン, PAP, 粒度分布, 吐出性, 飛散性, 薬剤落下量, 防除効果, ツマグロヨコ バイ, ヒメビウンカ
稲生稔・ 原敬之助	麦畑におけるヒメビウンカ幼虫の調査法に関する 2, 3の知見	1973	関東東山病 害虫研究会	20 #102	発生量調査法, たたき落とし法, すくい取り 法, よみとり法, 発生量, ヒメビウンカ
岸本良一	関東各地産ヒメビウンカのイネしまはがれ病保毒 虫率	1973	関東東山病 害虫研究会	20 #103	イネ縞葉枯病, 保毒虫率, 抗体感作赤血球凝 集反応, 作型, ヒメビウンカ
高山隆 夫・原栄 一	害虫類の農薬抵抗性に関する研究 第5報 ツマグ ロヨコバイのカーバメイト系殺虫剤およびマラソンに 対する感受性の調査	1973	関東東山病 害虫研究会 年報	20 #104	生物検定, 殺虫剤感受性, 殺虫剤, 虫体浸漬 法, BPMC, NAC, MTMC, 有機燐剤, マラソ ン, MPP, PAP, ダイアジノン, 濃度一致死率 プロビット回帰線, 中央致死濃度, ツマグロヨ コバイ
尾田啓 一・滝田 泰章	ウンカ・ヨコバイ類に対する微粒剤地上散布 (2) 早春季低温時における微粒剤の防除効果	1973	関東東山病 害虫研究会 年報	20 #105	休閑田, 殺虫剤, 微粒剤, 粉剤, サクシオン キャッチャー, 吹き出し法, 防除効果, 補正密 度指数, バッサ, ツマサイド, マクバール, メオ バール, ダイアジノン, バサジノン, BPMC, MPMC, マラバッサ, マラエース, ツマグロヨコ バイ
滝田泰 章・尾田 啓一・高 橋三郎	ウンカ・ヨコバイ類に対する微粒剤空中散布 (4) 早春低温時における微粒剤の効果	1973	関東東山病 害虫研究会 年報	20 #106	ヘリコプタ, 空中散布, ミゼットダスター, 殺虫 剤, BPMC, 防除効果, 微粒剤, 粉剤, ヒメビ ウンカ, トビイロウンカ
大矢慎 吾・鈴木 忠夫	根雪前におけるツマグロヨコバイの密度変動, 令構 成, 幼虫の発育について	1973	北陸病害虫 研究会報	21 61-64	越冬, 密度変動, 齡構成, 産卵消長, 幼虫発 育, 越冬可能幼虫最終ふ化時期, ツマグロヨ コバイ
大矢慎 吾・佐藤 昭夫	根雪前におけるツマグロヨコバイの密度減少におよ ぼす低温, 食餌植物, 浸水の影響	1973	北陸病害虫 研究会報	21 65-68	低温条件, 食餌植物, 齡期, 越冬, 摂食活 動, 食痕数, 浸水, 水没期間, 生存率, ツマグ ロヨコバイ

奥山善雄・下田嵩	各種混合粒剤によるイネ縞葉枯病の防除について	1973	日本応用動物昆虫学会 中国支部会報	15	#7-10	ほ場試験, イネ縞葉枯病, 払い落とし法, 発生消長, 殺虫剤, 防除効果, エチメトン, エチカンTD, ミプスパン, パダンバッサ, ダイスポノン, ダイアジノン, ミプシン, 発病株率, 発病茎率, ヒメトビウンカ	
石黒文雄・片山慈敏	浸透殺虫剤の施用法に関する基礎的研究 (V) Vamidothionとmalathionの殺虫力におよぼす降雨の影響	1974	日本応用動物昆虫学会誌	18	1	32-35	殺虫剤, キルバール, マラソン, 降雨条件, 死亡率, 殺虫速度, LT-50, トビイロウンカ
竹田真木生	トビイロウンカの配偶行動	1974	日本応用動物昆虫学会	18	2	43-51	配偶行動, 翅型間差異, 交尾能力, トビイロウンカ
永田徹・守谷茂雄	トビイロウンカのBHCに対する抵抗性	1974	日本応用動物昆虫学会誌	18	2	73-80	殺虫剤抵抗性, 殺虫剤, BHC, フェニトロチオン, カルバリル, MEP, バミドチオン, NAC, カスガマイシン, MIPC, 有機ヒ素, ダイアジノン, MTMC, 微量局所施用法, LD50, 薬剤吸収速度, 薬剤感受性変動, トビイロウンカ
中須賀孝正・樋口泰三・横溝徹世敏	長崎県におけるツマグロヨコバイの薬剤抵抗性とほ場における防除効果	1974	九州病害虫研究会報	20		1-2	殺虫剤, PAP, ターバム, ジメエート, CVMP, ピリダフェンチオン, MTMC, XMC, BPMC, ダイアジノン, プロパホス, すくい取り法, 払い落とし法, ツマグロヨコバイ
永井清文・崎村弘・三浦猛夫・後藤重喜	薬剤抵抗性ツマグロヨコバイに対する各種薬剤の効果	1974	九州病害虫研究会報	20		3-5	殺虫剤, ダイアジノン, プロパホス, アセフェート, ピリダフェンチオン, ターバム, MPMC, MTMC, BPMC, PHC, NAC, ネオピナミン, XMC, メカルバムMPP, PAP, ジエトメート, ピレスロイド系, ベルジャーダスター, ツマグロヨコバイ
古賀初子・宮原和夫	MTMC・MEP剤の剤型に関する研究	1974	九州病害虫研究会報	20		5-8	殺虫剤, MTMC, MEP, 微粉剤, 粗粉剤, DL粉剤, 粉剤, ツマグロヨコバイ
横尾広規・占野悟・久富勝・倉富紀年・酒見寛郎	新剤型の防除効果と落下量について	1974	九州病害虫研究会報	20		8-11	殺虫剤, MTMC, カヤフォス, ツマサイド, 一般粉剤, DL型粉剤, 粗粉剤, 微粒剤F, 払い落とし法, ツマグロヨコバイ
平尾重太郎	1973年梅雨期東シナ海におけるウンカの飛来	1974	九州病害虫研究会報	20		15-17	洋上飛来調査, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ

川崎勇・ 岡本大二 郎	イネわい性症状の研究経過と今後の問題点	1974 九州病害虫 研究会報	20	115- 116	イネわい化病, ツマグロヨコバイ
関正男・ 鬼塚朔 郎・宮原 和夫・古 賀初子・ 松崎正文	イネわい性症状に関する試験	1974 九州病害虫 研究会報	20	121- 125	イネわい化病, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
小林研 三・田上 俊太郎・ 嶋田一 明・重永 知明	イネわい性症状の発生相と原因説明について	1974 九州病害虫 研究会報	20	125- 128	イネわい化病, 発生消長, ツマグロヨコバイ
平尾重太 郎・里見 綽生・岡 田忠虎	ツマグロヨコバイによるイネわい性症状の媒介につ いて	1974 九州病害虫 研究会報	20	128- 133	イネわい化病, ウイルス接種, ツマグロヨコバ イ
中須賀孝 正	ツマグロヨコバイの薬剤感受性検定法間における 死虫率の関係	1974 九州農業研 究	36	122- 123	殺虫剤, 浸漬法, 局所施用法, BPMC, NAC, ダイアジノン, PAP, PHC, マラソン, LC50, LD50, ツマグロヨコバイ
小山重郎	遠隔地におけるセジロウンカ誘殺数の相関関係	1974 北日本病害 虫研究会報	25	#59	予察灯, 相関関係, 誘殺数, 年次変動,
齊藤満, 渡部嘉 平・猪俣 衛・宗方 隆・徳永 友三	イネ黄萎病の防除に関する研究 1. 昭和48年度 福島県の発生実態と問題点	1974 北日本病害 虫研究会報	25	#60	イネ黄萎病, 保毒虫率, ツマグロヨコバイ
浅賀宏 一・古田 力	産地の異なるイネ黄萎病病原とツマグロヨコバイと の親和性	1974 関東東山病 害虫研究会 年報	21	19-20	イネ黄萎病, 親和性, 媒介虫率, 潜伏期間, 産地間差異, ツマグロヨコバイ

高橋浅夫・木伏秀夫・榊原哲男・杉野多萬司・沢木忠雄・村松義司	水稻集団栽培地域における病害虫の経済的防除に関する検討例	1974	関東東山病害虫研究会年報	21 #23	発生量, 防除状況, 防除経費, 収量調査, セジロウンカ, トビイロウンカ
武田幸雄・嶋津治夫・匝瑳昭次	イネ紋枯病, ツマグロヨコバイの同時防除	1974	関東東山病害虫研究会年報	21 #24	ヘリコプタ, 空中散布, ほ場調査, 病害虫同時防除, 殺虫剤, ツマサイドバリダシンFGF, MTMC, バリダマイシンA, HT-734FGF, MTMC, 防除効果, ツマグロヨコバイ
村上正雄・鈴木計司・渡辺耕造	ヒメトビウンカ発生予察の基礎的研究 6. 第1回成虫の発生時期と第1世代幼虫の発生量との関係	1974	関東東山病害虫研究会年報	21 81-82	第1回成虫, 第1世代幼虫, 発生消長, 寿命, 産卵, 産卵前期間, 気象条件, ヒメトビウンカ
村上正雄・鈴木計司・渡辺耕造	ヒメトビウンカ発生予察の基礎的研究 7. 第2回成虫の発生時期, 量と縞葉枯病及び黒すじ萎縮病の発生との関係	1974	関東東山病害虫研究会年報	21 #83	イネ縞葉枯病, イネ黒条萎縮病, 発病株率, 発生量, ヒメトビウンカ,
高山隆夫・原栄一・中里筆二	ツマグロヨコバイの発生とイネの被害について	1974	関東東山病害虫研究会年報	21 #84	発生消長, 被害解析, 収量調査, すず病, すくい取り法, ツマグロヨコバイ
木嶋利男・合田健二・本郷武・尾田啓一	低温時のツマグロヨコバイに対するカーバメート剤および複合剤の防除効果	1974	関東東山病害虫研究会年報	21 #85	ほ場試験, 殺虫剤, バッサジノン, BPMC, ダイアジノン, ワイエース, PHC, MTMC, スミバッサ, MEP, BPMC, ND粉剤, NAC, ダイアジノン, マクパール, XMC, バッサ, バッサナック, サクシオンキャッチャー, すくい取り法, 越冬世代幼虫, ツマグロヨコバイ
大兼善三郎・合田健二・尾田啓一	栃木県におけるツマグロヨコバイのカーバメート剤感受性について	1974	関東東山病害虫研究会年報	21 #86	殺虫剤感受性, 生物検定, 殺虫剤, 濃度一致死亡率プロビット回帰線, 中央致死濃度, BPMC, ツマグロヨコバイ

柴本精・ 呉羽好 三・小林 莊一・藤 沢恒夫	ツマグロヨコバイ越冬前幼虫に対する微粒剤Fのヘ リコプタ散布効果	1974	関東東山病 害虫研究会 年報	21	#87	ヘリコプタ, 空中散布, イネ黄萎病, 散布薬剤 水平分布, ほ場調査, 畦畔調査, ダイアジノ ン, バッサ, ツマサイド, ワイエース, ツマグロ ヨコバイ	
関口亘・ 常楽武男	見取り法との比較によるツマグロヨコバイすくい取り 法の効率について	1974	北陸病害虫 研究会報	22	25-29	発生消長, 調査効率, すくい取り法, 見取り 法, ツマグロヨコバイ	
常楽武 男・嘉藤 省吾	ツマグロヨコバイに対する積雪の影響	1974	北陸病害虫 研究会報	22	30-31	気象条件, 積雪深, 積雪日数, 積雪量, 越冬 前密度, 越冬虫淘汰, 発生予察, ツマグロヨコ バイ	
榎井幹 夫・江村 一雄	ツマグロヨコバイの多発生と2・3の考察	1974	北陸病害虫 研究会報	22	32-34	多発生, 発生消長, 気象条件, 積雪量, 高温 条件, 越冬密度, ツマグロヨコバイ	
常楽武 男・嘉藤 省吾・若 松俊弘	セジロウンカ初期飛来状況および増殖期気象と被 害期発生量との関係	1974	北陸病害虫 研究会報	22	34-38	発生予察, 予察灯, 初飛来日, 最盛日, 終そく 日, 誘殺数, 誘殺日数, 最盛期量, 被害期発 生量, 気象条件, 気温条件, 日照条件, 高温 多照時多発, セジロウンカ	
小嶋昭 雄・江村 一雄・中 臣謙太 郎・堀口 正幸・榎 井幹夫	新潟県におけるツマグロヨコバイのマラソン感受性	1974	北陸病害虫 研究会報	22	82-85	ほ場試験, 空中散布, 小型ホース, 殺虫剤, マラソン, カスミン, すくい取り法, 生存虫率, 生物検定, スプレー法, 葉浸漬法, 仰天虫 率, LC50, 累代経過, 感受性変動, 気象条 件, 気温条件, 多照条件, ツマグロヨコバイ	
中筋房 夫・桐谷 圭治	低濃度のカーバメイト系殺虫剤によるウンカ・ヨコバ イ類の防除	1974	四国植物防 疫研究	9	#1-6	ほ場試験, 殺虫剤, MTMC, BPMP, MPMC, NAC, すくい取り法, 払い落とし法, 生育ス テージ間差異, 防除効果, 殺虫剤濃度, ツマ グロヨコバイ, トビイロウンカ, セジロウンカ	
尾崎幸三 郎・大熊 衛・岩部 武司	ツマグロヨコバイと稲萎縮病に対するカルタップ剤 の効果	1974	四国植物防 疫研究	9	#7-11	ほ場試験, 殺虫剤, カルタップ, MIPC, すくい 取り法, 読み取り法, 防除効果, 散布回数, 剤 型間差異, 天敵, クモ類, ツマグロヨコバイ, ヒ メトビウンカ, セジロウンカ	
片山栄助	稲のウンカ類およびツマグロヨコバイの卵巣発育と 交尾との関係	1975	日本応用動 物昆虫学会	19	3	176- 181	卵巣発育, 交尾, トビイロウンカ, セジロウ ンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ

石井象二 郎・市川 俊英	トビイロウンカの鼓膜器官とその発音を聞く方法	1975	日本応用動 物昆虫学会 誌	19	4	295- 296	鼓膜器官, 雄成虫, トビイロウンカ
永田徹・ 守谷茂雄	トビイロウンカに対するクロルジメホルムの作用性	1975	日本応用動 物昆虫学会 誌	19	4	300- 301	殺虫剤, クロルジメホルム, 殺虫作用, LD50, 浸透移行性, 局所施用法, 産卵, 産卵数, 卵塊数, 寄主選択, ふ化, トビイロウンカ
平尾重太 郎・轟篤 里見緯 生・平尾 重太郎・ 木村俊彦	トビイロウンカに対する熱帯農研育成系統稲の抵抗性機作 クロスジツマグロヨコバイ <i>Nephotettix nigropictus</i> (STAL) によるイネわい化病の媒介	1975	九州病害虫 研究会報	21		56-60	抵抗性品種, 選好性, 抗生作用, 耐性, トビイロウンカ
嶋田一明	熊本県におけるツマグロヨコバイの薬剤抵抗性について	1975	九州病害虫 研究会報	21		63-64	BPMC, PHC, マラソン, アセチルコリンエステラーゼ, chE, ツマグロヨコバイ
守谷茂 雄・前田 洋一	ベルジャーダスターによるツマグロヨコバイの薬剤感受性検定法について	1975	九州病害虫 研究会報	21		65-67	ベルジャーダスター, 生物検定法, 殺虫剤, MTMC, ダイアジノン, プロパホス, BPMC, NAC, LD50, ツマグロヨコバイ
木村俊彦	九州地方のツマグロヨコバイのイネ萎縮ウイルス保毒虫率	1975	九州病害虫 研究会報	21		143- 146	イネ萎縮病, 保毒虫率, 抗体感作赤血球凝集反応, ツマグロヨコバイ
嶋田一 明・小林 研三	熊本県におけるツマグロヨコバイの薬剤抵抗性について	1975	九州農業研 究		37	#123	ほ場試験, 局所施用法, 生息密度, LD50, BPMC, MPMC, XMC, MTMC, MIPC, NAC, ダイアジノン, プロパホス, マラソン, ツマグロヨコバイ, 生物検定,
岩本静 之・菊地 久穂	ヘリコプタによる微粒剤Fの少量散布試験ーいち病, ウンカ, ヨコバイの防除効果ー	1975	関東東山病 害虫研究会 年報		22	#16	ヘリコプタ, 空中散布, 殺虫剤, ヒノツマ微F, ヒノチオン微F, エルトップラブサイド, キタエースP, すくい取り法, ツマグロヨコバイ, ヒメトビ
藤沢恒 夫・柴本 精	手植, 機械移植によるイネ黄萎病発生の違い	1975	関東東山病 害虫研究会 年報		22	#19	手植, 機械移植, イネ黄萎病, すくい取り法, 発生量, 発病株率, ツマグロヨコバイ
小林荘 一・呉羽 好三・柴 本精	本田植付後におけるイネ黄萎病感染の重要性	1975	関東東山病 害虫研究会 年報		22	#20	イネ黄萎病, 発生消長, 保毒虫率, 感染機構, 発病株率, 再生芽発病株率, ツマグロヨコバイ
高井昭・ 稲生稔	殺虫剤の稚苗育苗箱施用によるイネ黄萎病防除	1975	関東東山病 害虫研究会 年報		22	#21	イネ黄萎病, 殺虫剤, ダイアジノン, ダイシストン, バイジット, 防除効果, 発病株率, ヒコバエ発病株率, ツマグロヨコバイ

村上正雄・庭山孝・鈴木計司・野口洋子	ヒメトビウンカ発生予察の基礎的研究 8. イネ品種と縞葉枯病及び黒すじ萎縮病との関係	1975	関東東山病害虫研究会年報	22 #22	イネ縞葉枯病, イネ黒条萎縮病, 発生消長, 品種間差異, 発病株率, 被害程度, 耐病性, ヒメトビウンカ
柴本精・小林荘一・山岸義男	苗箱施薬による本田初期害虫防除	1975	関東東山病害虫研究会年報	22 75-76	ほ場調査, すくい取り法, 見取り調査, 殺虫剤, ダイアジノン, ダイシストン, 発生消長, 防除効果, 発病株率, イネ縞葉枯病, イネ黒条萎縮病, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
片木尚寿・内藤忠・浅見宏・近岡一郎	神奈川県小田原地方におけるトビイロウンカの異常発生	1975	関東東山病害虫研究会年報	22 #77	異常発生, 坪枯れ, 道路照明, トビイロウンカ
浅利覚・岸本良一	陸稲畑におけるヒメトビウンカの発生消長	1975	関東東山病害虫研究会年報	22 #78	陸稲, 発生消長, 雑草地, 陸稲, ヒメトビウンカ
本郷武・合田健二・木嶋利男・滝田泰章・大金善三郎・尾田啓一	カーバメート剤感受性低下ツマグロヨコバイに対する薬剤防除	1975	関東東山病害虫研究会年報	22 #79	ほ場試験, 殺虫剤, BPMC, ダイアジノン, MTMC, マラソン, カヤフォス, NAC, MPMC, PAP, PHC, オルトラン, 温度条件, 防除効果, ツマグロヨコバイ
沢木忠雄・杉野多万司・村松義司	静岡県におけるツマグロヨコバイの薬剤抵抗性に関する研究 第3報 カーバメート剤に対する感受性の低下	1975	関東東山病害虫研究会年報	22 #80	生物検定, 虫体浸漬法, 殺虫剤, バッサ, デナポン, マラソン, LC-50, ほ場調査, カヤフォス, オルトラン, マラソン, ダイアジノン
大矢慎吾	多雪地帯におけるツマグロヨコバイの休眠誘起および覚醒時期について	1975	北陸病虫害研究会報	23 37-41	越冬, 休眠, 休眠覚醒, 休眠誘起, 越冬幼虫ふ化時期, 日長条件, 温度条件, ふ化時期別幼虫羽化状況, 消雪時期別越冬幼虫羽化状況, ツマグロヨコバイ
楡井幹夫・仲里隆之	ツマグロヨコバイによる水稻の減収事例	1975	北陸病虫害研究会報	23 41-43	多発生, すくい取り法, 発生消長, ツマグロヨコバイ

藤田勝 大・小島 秀治郎・ 河田和・ 辻栄明	粉剤によるツマグロヨコバイおよびヒメトビウンカの 殺虫剤感受性評価	1975	関西病虫害 研究会報	17	#8-14	生物検定, 殺虫剤感受性, 局所施用法, ポット試験, 死亡率, 殺虫剤, ダイアジノン, MEP, PAP, マラソン, EPN, DEP, PMP, CYP, MPMC, MTMC, BPMC, NAC, 終齢幼虫, MPP, ジメエート, プロパフォス, PMP, MBPC, IBP, EDDP, 粉剤, ヒメトビウンカ, ツ稲イモチ病, 葉いもち, 相関関係, 気象条件, セジロウンカ, トビイロウンカ	
柏木弥太 郎・永井 洋三	葉いもちとセジロウンカ, トビイロウンカの発生との 関係 - 気象からの検討 -	1975	四国植物防 疫研究	10	#1-6	生物検定, 局所施用法, ベルジャーダスター法, 液剤散布法, 殺虫剤, IBP, 共力作用, ほ場試験, 払い落とし法防除効果, 補正密度指数, ツマグロヨコバイ	
吉岡幸治 郎・松本 益美・別 宮岩義・ 金森正剛	殺虫剤抵抗性ツマグロヨコバイに対するIBPと各種 殺虫剤の共力作用	1975	四国植物防 疫研究	10	49-58	生物検定, 局所施用法, ベルジャーダスター法, 液剤散布法, 殺虫剤, IBP, 共力作用, ほ場試験, 払い落とし法防除効果, 補正密度指数, ツマグロヨコバイ	
河野義 明・坂井 道彦・守 谷茂雄	ツマグロヨコバイのイネ萎縮病媒介に対するカル タップの抑制作用	1976	日本応用動 物昆虫学会 誌	20	4	191- 197	イネ萎縮病, 殺虫剤, カルタップ, ウイルス媒介, 甘露排泄量, 死虫率, 口針鞘, ツマグロヨコバイ
守谷茂 雄・前田 洋一	ツマグロヨコバイにおける置換フェニルメチルカーバ メートの吸収と代謝	1976	日本応用動 物昆虫学会 誌	20	4	198- 202	殺虫剤, BPMC, MIPC, 殺虫剤抵抗性, 浸透移行性, 局所施用法, LD50, 代謝, ツマグロヨコバイ
深町三朗	トビイロウンカ・ツマグロヨコバイに対する熱帯農研育 成系統稲のほ場における抵抗性	1976	九州病虫害 研究会報	22		102- 103	見取法, 払落法, 平均こみあい度, ほ場抵抗性, トビイロウンカ, ツマグロヨコバイ
平尾重太 郎・井上 斉	イネわい化病接種苗の移植よる耐病性検定(予報)	1976	九州病虫害 研究会報	22		104- 106	イネわい化病, ほ場抵抗性, 真性抵抗性, 品種間差異, ツマグロヨコバイ
上和田秀 美・原敬 一・深町 三朗	イネわい化病の防除時期について	1976	九州病虫害 研究会報	22		107- 109	イネわい化病, ツマグロヨコバイ
宮原和 夫・中村 秀芳・橋 本勇夫	水田の裏作栽培が翌年のイネ萎縮病の発生に及 ぼす影響	1976	九州病虫害 研究会報	22		109- 111	裏作栽培, イネ萎縮病, 血清反応, 保毒虫率, ツマグロヨコバイ

嶋田一 明・荒木 衛	雑草防除と殺虫剤の育苗箱処理によるイネ萎縮病の防除	1976	九州病害虫 研究会報	22	111- 113	殺虫剤, 除草剤, 雑草防除, ツマグロヨコバイ
堀元学・ 今村三 男・押川 幹夫・池 田和俊・ 肥後三 郎・栄清 二・神野 賢浩・上 忠衛・深 町三朗・ 上和田秀 美	ベルジャーダスターによるツマグロヨコバイの薬剤感受性検定法について	1976	九州病害虫 研究会報	22	113- 115	ベルジャーダスター, 殺虫剤, カーバメート, ダイアジノン, ツマジノン, カヤフホス, メオジノン, ツマサイド, メオバール, ND, バッサジノン, デナポン, バッサ, ツマグロヨコバイ
藤吉臨, 横山佐太 正・高崎 登美雄	休閒田におけるツマグロヨコバイ第1回成虫の産卵状態について	1976	九州農業研 究	38	102- 103	産卵, m-m*法, 集中分布, スズメノテツポウ, ツマグロヨコバイ
野上隆 史・中島 三夫	稚苗田植機栽培の萎縮病に対するパダン粒剤の利用と薬害について	1976	九州農業研 究	38	#104	殺虫剤, カルタップ粒剤, エチルメトン粒剤, 薬害, イネ萎縮病, ツマグロヨコバイ
吉村彰治	田植機利用水稻栽培における病害虫の発生と研究課題 (特別講演)	1976	関東東山病 害虫研究会	23	#1-5	ツマグロヨコバイ
岩田俊一	ツマグロヨコバイの薬剤抵抗性問題の現状 (特別講演)	1976	関東東山病 害虫研究会 年報	23	#6-10	薬剤抵抗性, 生物検定, 殺虫剤, 有機燐剤, カーバメート剤, LD50, 局所施用法, メチルパラチオン, MEP, EPN, マラソン, ジメトエート, メカルバム, バミドチオン, DMCP, CVP, ダイアジノン, プロパホス, NAC, BPMC, PHC, MIPC, APC, カーバノレート, CPMC, MTMC, MPMC, XMC, メソミル, 抵抗性発達経過, 抵抗性遺伝子, 不完全優性, ナフチルアセテート, エステラーゼ, 寒天ゲル薄層電気泳動法, コリンエステラーゼ, マラオクソン, スミオクソン, ビニフェート, ダイアゾクソン, オフナック,

岩城寛	微量散布による本田初期害虫防除	1976	関東東山病 害虫研究会 年報	23	#73	殺虫剤, 微量散布, スミチオン, スミバツサL, スミチオンL60, すくい取り調査, 防除効果, ツ マグロヨコバイ
滝田泰 章・片山 栄助	水稻出穂期におけるウンカ・ヨコバイ類の株あたり 寄生密度について(予報)	1976	関東東山病 害虫研究会 年報	23	#74	ほ場調査, すくい取り法, 発生消長, 幼虫, 成 虫, ツマグロヨコバイ, ヒメビウンカ
大兼善三 郎・小熊 純一・和 田悦郎・ 増山幸 男・尾田 啓一・岩 城寛	栃木県におけるツマグロヨコバイのカーバメート剤 感受性について	1976	関東東山病 害虫研究会 年報	23	75-76	生物検定, 殺虫剤, カーバメート剤, BPMC, 濃度一致死率プロビット回帰線, 中央致死濃 度, 複合剤効果調査, パイダスター, バツサ ジノン, ダイアジノン, 防除効果, 死虫率, 補 正密度指数, ツマグロヨコバイ
高山隆 夫・原栄 一・中里 筆二・五 十嵐誠治	ツマグロヨコバイの防除と問題点	1976	関東東山病 害虫研究会 年報	23	#77	加害密度, 収量, 殺虫剤抵抗性, 有機リン 剤, カーバメート系殺虫剤, すくい取り法, 防 除効果, 加害時期, ツマグロヨコバイ
常楽武 男・嘉藤 省吾・若 松俊弘	ツマグロヨコバイ初期発生量と盛期発生量との関係	1976	北陸病虫害 研究会報	24	19-21	発生予察, 予察灯, 誘殺状況, 初期発生量, すくい取り法, 発生消長, 盛期発生量, 世代 関係, 年次変動, ツマグロヨコバイ
今井富士 夫	富山県西部におけるツマグロヨコバイの発生実態と 発生量予測	1976	北陸病虫害 研究会報	24	22-24	年次変動, 地域間差, 積雪日数, 総誘殺数, 時期別累積誘殺数, ツマグロヨコバイ
中筋房 夫・桐谷 圭治	カーバメイト剤の濃度を変えた有機りん剤・カーバメ イト剤複合剤によるツマグロヨコバイの防除	1976	四国植物防 疫研究	11	67-69	ほ場試験, 殺虫剤, MTMC, ダイアジノン, NAC, アセフェート, MTMC, ピリダフェンチオ ン, 複合剤, すくい取り法, 防除効果, ツマグ 人工飼育, MED-1飼料, 不可欠ビタミン, 生存 率曲線, チアミン, パントテン酸, ピリドキシ ン, 塩化コリン, 至適濃度, ヒメビウンカ 窒素量, 吸汁活動, 排泄甘露, トビイロウンカ
小山健 二・三橋 淳	ヒメビウンカの幼虫発育に不可欠なビタミン	1977	日本応用動 物昆虫学会 誌	21	1	23-26
菅野紘 男・金武 祚・石井 象二郎	稲に対する窒素施肥がトビイロウンカの吸汁活動 におよぼす影響	1977	日本応用動 物昆虫学会 誌	21	2	110- 112

守谷茂 雄・前田 洋一・米 久保智 得・浅川 浩一 前島勇, 岩崎真 人, 新海 昭 河合章	トビイロウンカの増殖に対するイソプロチオランの作 用 圃場におけるイネわい化病発病の品種間差異 ツマグロヨコバイ青色型の遺伝様式について	1977	日本応用動 物昆虫学会 誌	21 4	220- 226	殺菌剤, イソチオプロラン, 殺虫力, 産卵, ふ 化, 生存率曲線, 脱皮阻害作用, トビイロウン カ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコ バイ
中須賀孝 正	ウンカ・ヨコバイ類を刺食するメクラカメムシ2種に ついて	1977	九州病害虫 研究会報	23	#1-3	イネわいか病, レイホウ, ニシミノリ, ツクシバ レ, 農林18号, 金南風, 西海139号, 日本 晴, ツマグロヨコバイ
井上齊 島津光明	本田におけるツマグロヨコバイの発生と病株配置に よるイネわい化病の伝播 トビイロウンカに対するEntomophthora delphacisの 病原性	1977	九州病害虫 研究会報	23	83-84	青色型個体, 交配, ツマグロヨコバイ
野上隆 史・北内 義弘・中 島三夫・ 富来務 野上隆 史・橋本 昭彦・北 内義弘 東海林修	ウンカ類並びにいもち病に対するイソプロチオラン 粒剤の効果 苗播栽培のイネ萎縮病の防除について	1977	九州病害虫 研究会報	23	85-88	カタグロミドリメクラカメムシ, ムナグロキイロメ クラカメムシ, 捕食者, トビイロウンカ, セジロ ウンカ, ヒメトビウンカ
東海林 修・加藤 直義・伊 藤恒志 森喜作	水田休耕地等における主にツマグロヨコバイの発 生実態について 宮城県北部におけるツマグロヨコバイの発生経過と 発生予測 イネ縞葉枯病の発生予察と防除	1977	九州病害虫 研究会報	23	88-91	イネわい化病, 発生消長, 保毒虫率, ステッ キートラップ, ツマグロヨコバイ
		1977	九州病害虫 研究会報	23	92-94	昆虫寄生菌, Entomophthora delphacis, トビ イロウンカ
		1977	九州病害虫 研究会報	23	94-96	殺虫剤, イソプロチオラン粒剤, プロベナゾー ル粒剤, IBP粒剤, セジロウンカ, トビイロウン カ
		1977	九州農業研 究	39	71-72	殺虫剤, 薬害, カルタップ粒剤, エチルメトン 粒剤, イネ萎縮病, ツマグロヨコバイ
		1977	北日本病害 虫研究会報	28	#82	休耕地, 苗代跡地休耕地, 発生消長, ツマグ ロヨコバイ, ヒメトビウンカ
		1977	北日本病害 虫研究会報	28	#83	掬い取り法, 増殖回帰式, 発生消長, 発生予 察, ツマグロヨコバイ
		1977	関東東山病 害虫研究会	24	#1-2	イネ縞葉枯病, 媒介虫率, 発生予察, 要防除 水準, 経済的被害水準, ヒメトビウンカ

上田康 郎・稲生 稔・高井 昭	殺虫剤の苗箱施薬による本田初期害虫の防除効果	1977	関東東山病 害虫研究会 年報	24 #86	苗箱施薬, 殺虫剤, イネ黄萎病, エチルチオメ トン, カルタップ, プロパホス, 発病株率, 生息 数, ツマグロヨコバイ
大兼善三 郎・滝田 泰章	ツマグロヨコバイの稲体口針そう入部位	1977	関東東山病 害虫研究会 年報	24 87-88	エオシン, 染色法, 食痕, 実体顕微鏡, オスミ ナック酸水溶液蒸気固定, エタノール系列脱 水, 臨界点乾燥機, 走査型電子顕微鏡, イネ 体部位別食痕数, ツマグロヨコバイ
柳武	ツマグロヨコバイの予察灯誘殺量と圃場密度との関 係	1977	関東東山病 害虫研究会	24 #89	予察灯, 誘殺数, 気象要因, 圃場密度, すくい 取り法, ツマグロヨコバイ
滝田泰 章・大兼 善三郎・ 高野久・ 高橋三郎	マイクロカプセル化農薬のヒメトビウンカに対する効 果	1977	関東東山病 害虫研究会 年報	24 90-91	殺虫剤, ダイアジノン, スミチオン, MEP, マイ クロカプセル化スラリー製剤, MC, 生物検定, ヘリコプタ, 空中散布, 防除効果, ヒメトビウン カ
若松俊 弘・嘉藤 省吾	ツマグロヨコバイ第1世代幼虫の令期間と羽化消長 について	1977	北陸病虫害 研究会報	25 38-39	死虫率, 羽化率, 齢期間, 幼虫期間, ツマグ ロヨコバイ
小林莊一	長野県の薬剤抵抗性ツマグロヨコバイ	1977	北陸病虫害 研究会報	25 60-63	生物検定, イネ幼苗浸漬法, 局所施用法, 殺 虫剤, マラチオン, ダイアジノン, バミドチオ ン, BPMC, MTMC, MPMC, 展着剤, アグ ラー, 殺虫率, 感受性系統, LD50, 年次変 化, ツマグロヨコバイ
渋谷一 郎・小林 莊一	薬剤抵抗性ツマグロヨコバイの2, 3の酵素的性質	1977	北陸病虫害 研究会報	25 63-66	生物検定, 局所施用法, 殺虫剤, BPMC, MTMC, MPMC, マラチオン, コリンエステラー ゼ活性, 非特異的エステラーゼ, 感受性系 統, コリンエステラーゼ阻害量, I50, ツマグロ ヨコバイ
三浦正	中国地方におけるツマグロヨコバイの卵寄生蜂の 調査 (ヨコバイ類の天敵に関する研究 3)	1977	日本応用動 物昆虫学会 中国支部会 報	19 43-49	卵寄生蜂, トビイロウンカタマゴバチ, Gonatocerus-sp., 卵塊, 卵粒, 卵塊寄生率, 卵粒寄生率, 卵塊共寄生, 卵粒共寄生, 地理 的分布, ツマグロヨコバイ
吉岡幸治 郎	抵抗性ツマグロヨコバイに対するIBPと有機りん系 殺虫剤の前後施用による共力作用	1977	四国植物防 疫研究	12 49-53	生物検定, ベルジャーダスター法, 殺虫剤, IBP, マラソン, PAP, ポット試験, ほ場試験, 死虫率, 散布間隔, 共力作用, 殺虫剤抵抗 性, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ

辻英明・ 藤田勝大	殺虫剤抵抗性ツマグロヨコバイに対するホルモチオンとMTMCとの共力作用	1978	日本応用動物昆虫学会誌	22	1	33-37	殺虫剤, ホルモチオン, MTMC, BPMC, MPMC, NAC, 粉剤施用, 虫体局所施用, アセチルコリンエステラーゼ活性阻害, 共力作用, 分布位置, ツマグロヨコバイ
河野義明・井上光司・酒井道彦	育苗箱処理したカルタップのイネ体への移行と吸汁性昆虫に対する殺虫力	1978	日本応用動物昆虫学会誌	22	2	74-80	殺虫剤, カルタップ, 定量法, 殺虫力, 土壌条件, 浸根実験, 葉身, 篩管, 導管, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ
大矢慎吾	ツマグロヨコバイの休眠誘起に及ぼす日長の影響	1978	日本応用動物昆虫学会誌	22	2	108-114	休眠, 休眠誘起, 休眠維持, 日長条件, 臨界日長, ツマグロヨコバイ
前田洋一・守谷茂雄	トビイロウンカに対するイソプロチオラン粒剤の効果	1978	日本応用動物昆虫学会誌	22	2	117-119	殺虫剤, イソチオプロラン, 次世代生存数, 幼虫生存率, 施用時期, 防除効果, トビイロウンカ
岸野賢一・安藤幸夫	水稲のツマグロヨコバイ耐虫性に関する研究 1. 抗生作用の検定法について	1978	日本応用動物昆虫学会誌	22	3	169-177	耐虫性, 生物検定法, 芽出し苗検定法, 幼苗検定法, 葉検定法, 幼虫生存率, 抗生作用, 簡易検定法, ツマグロヨコバイ
姜鐘大・桐谷圭治	冬期間の捕食によるツマグロヨコバイの死亡	1978	日本応用動物昆虫学会誌	22	4	243-249	越冬生態, 室内捕食実験, 捕食者, キクヅキコモリグモ, セスジアカムネグモ, アオバアリガタハネカクシ, コナガゴミムシ, 温度条件, 野外調査, 重回帰式, 漸近回帰曲線, ツマグ
永野道昭・横溝徹世敏・永田康久	トビイロウンカ抑圧剤としてのイソプロチオラン粒剤の使用法	1978	九州病害虫研究会報	24		82-85	殺虫剤, イソプロチオラン粒剤, MTMC粉剤, エチルチオメトン粒剤, カルタップ, NAC粒剤, BPMC粉剤, トビイロウンカ
中島三夫・山下隆貴・小野彰・河越克己・末松昭人・北内義弘・西田国生	宇佐防除所管内の稚苗移植とツマグロヨコバイ並びに萎縮病の発生について	1978	九州農業研究	40		#97	稚苗移植, イネ萎縮病, ツマグロヨコバイ

酒井久 夫・野田 政春・村 上まり 飯富暁康	福岡県の箱施薬によるツマグロヨコバイ防除と問題 点	1978	九州農業研 究	40	98-99	障壁, 苗箱施薬, 殺虫剤, キルバール液剤, マイクロデナボン, ダイアジノン水和剤, ダイシス トン粒剤, ツマグロヨコバイ
河部暹	昭和52年秋田県由利地方におけるセジロウンカと コブノメイガの発生実態	1978	北日本病害 虫研究会報	29	#24	予察灯, 発生消長, 掬い取り法, セジロウンカ
柳武・小 宮山政 人・関四 郎・伊藤 喜隆	昭和52年長野県佐久地方に多発生したイネ縞葉 枯病について	1978	関東東山病 害虫研究会 年報	25	30-31	電気的測定法, 吸汁波形, セジロウンカ, トビ イロウンカ イネ縞葉枯病, イネ黒条萎縮病, 年次変動, 標高, 第2回成虫, 寄生密度, 発生消長, 保 毒虫率, ヒメトビウンカ
高山隆 夫・原栄 一・中里 筆二	ヒメトビウンカの発生と防除対策	1978	関東東山病 害虫研究会 年報	25	#32	第2回成虫, 予察灯, すくい取り法, すくい取り 数, 予察灯飛来最盛日, 年次変動, イネ縞葉 枯病, 発病株率, 保毒虫率, ヒメトビウンカ
滝田泰 章・大兼 善三郎・ 片山栄助	水稻出穂期におけるツマグロヨコバイの圃場密度 の実態について	1978	関東東山病 害虫研究会 年報	25	#85	乳熟期, 穂揃期, 株当たり虫数, 25回振りす くい取り虫数, 成虫, 幼虫, ツマグロヨコバイ
大兼善三 郎・滝田 泰章・内 藤篤	ツマグロヨコバイの齢期別食痕サイズ	1978	関東東山病 害虫研究会 年報	25	#86	齢期別食痕サイズ, 長径, ツマグロヨコバイ
鶴町昌市	1976年東シナ海洋上のウンカ類飛来調査	1978	関東東山病 害虫研究会 年報	25	#87	東シナ海洋上定点, ネットトラップ, 吸虫管, ブ ラックライト, セジロウンカ, トビイロウンカ, ヒ メトビウンカ, ツマグロヨコバイ
嘉藤正 吾・若松 俊弘	富山県におけるツマグロヨコバイの発生経過	1978	北陸病害虫 研究会報	26	#12-17	越冬個体群, 羽化推移, 発生消長, すくい取 り法, 見取り法, 株採集法, 越冬前個体群発 生経過, 集中度指数, 早生イネ, 晩生イネ, ツ マグロヨコバイ
嘉藤省 吾・若松 俊弘	ツマグロヨコバイによる加害と収量への影響	1978	北陸病害虫 研究会報	26	18-21	被害解析, スス病, 収量調査, 収量構成要 素, 加害時期間差異, ツマグロヨコバイ

渋谷一郎	薬剤抵抗性ツマグロヨコバイに対するマラソンとカーバメイト剤の共力作用とその機作	1978	北陸病害虫研究会報	26	80-83	生物検定, 局所施用法, 殺虫剤, マラソン, ダイアジノン, BPMC, NAC, MTMC, MPMC, XMC, DDVP, EDDP, LD50, マラソン分解酵素, 非特異的酵素, アリエステラーゼ, 共力作用, 阻害, ツマグロヨコバイ	
山仲巖	東海, 近畿地方における稲作病害虫防除を展望する	1978	関西病害虫研究会報	20	19-24	歴史, 変遷, 年次変動, 殺虫剤, BHC, DDT, EPN, パラチオン, マラソン, ダイアジノン, MEP, PAP, MPP, ヘリコプタ, 航空防除, イネ萎縮病, イネ縞葉枯病, イネ黄萎病, イネ黒条萎縮病, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ	
吉岡幸治 郎・向井 宣広・土 居隆洋・ 河野弘	トビイロウンカの薬剤感受性について	1978	四国植物防疫研究	13	#1-4	殺虫剤, 薬剤感受性, 局所施用法, ベルジャーダスター法, ほ場試験, トビイロウンカ	
大兼善三 郎・滝田 泰章・内 藤篤	水稻の生育後期におけるツマグロヨコバイの吸汁部位	1979	日本応用動物昆虫学会誌	23	1	#11-16	ポット試験, ほ場試験, 生育段階, 食痕, 稲体部位, 齢期別食痕分布, ツマグロヨコバイ
小山健二	完全合成飼料によるトビイロウンカの人工飼育	1979	日本応用動物昆虫学会誌	23	1	39-40	人工飼育, 湿度条件, トビイロウンカ
岸野賢 一・安藤 幸夫	水稻のツマグロヨコバイ耐虫性に関する研究 2. 稲の生育時期による抗生作用の変動	1979	日本応用動物昆虫学会誌	23	3	129-133	耐虫性, 生物検定法, 葉検定法, 袋かけ検定法, 抗生作用, 生育段階, 品種間差異, 葉位, ツマグロヨコバイ
小山健 二・三橋 淳	ヒメイロウンカの幼虫発育に不可欠な微量元素	1979	日本応用動物昆虫学会誌	23	3	173-177	人工飼育, 微量元素欠乏飼料, 幼虫期生存率, 最適濃度, 必須微量元素, ヒメトビウンカ
遠藤正 造・升田 武夫	ツマグロヨコバイに対する育苗箱施用薬剤の稲体中濃度と殺虫効力	1979	九州病害虫研究会報	25	74-76	殺虫剤, LC50, エチルチオメトン, プロパホス, ツマグロヨコバイ	
永井清 文・田原 誠・野中 耕次	カルタップ粒剤の播種前床土施薬によるツマグロヨコバイの防除	1979	九州病害虫研究会報	25	77-78	殺虫剤, 育苗箱施用, カルタップ粒剤, ツマグロヨコバイ	

村永治喜	サンジノン粒剤によるトビイロウンカの防除時期について	1979	九州病害虫研究会報	25	79-80	殺虫剤, サンジノン粒剤, トビイロウンカ
野中耕次・田原誠・永井清文	ツマグロヨコバイの水稲育苗期間中における耕種的防除対策	1979	九州農業研究	41	#73	耕種的防除法, 生息数, ツマグロヨコバイ
深町三朗	トビイロウンカのほ場における季節発生消長の予察法について	1979	九州農業研究	41	#74	発生予察, 予察灯, 発生消長, 産卵調査, トビイロウンカ
岸本良一	小型昆虫の長距離移動(特別講演)	1979	北日本病害虫研究会報	30	#1	生活史, 長距離移動, 気象条件, 海上調査, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
飯富暁康	セジロウンカの発生と地形的特徴	1979	北日本病害虫研究会報	30	#21-25	ほ場調査, オスボーン式系統抽出法, 平面型系統抽出法, 被害発生状況, 被害多発地点, セジロウンカ
岸本良一	稲しまはがれ病の流行機構	1979	関東東山病害虫研究会	26	#4-7	イネ縞葉枯病, ネット捕虫数, 発病指数, 黄色水盤捕虫数, 保毒虫率, ヒメトビウンカ
堀米忠三・山口東洋・稲葉文男・松本隆四・栗原三郎・川島保二・石関敏宏	群馬県東部地帯におけるイネ縞葉枯病の発生	1979	関東東山病害虫研究会年報	26	#21	イネ縞葉枯病, 保毒虫率, 発病面積, 収量調査, 発生量, ヒメトビウンカ
上田康郎・松井武彦	水田裏作麦栽培地帯におけるヒメトビウンカの水田への飛び込みとイネ縞葉枯病発生について	1979	関東東山病害虫研究会年報	26	22-23	イネ縞葉枯病, 発病株率, 育苗様式間差異, 田植時期間差異, ヒメトビウンカ
岩城寛・滝田泰章	稚苗移植栽培におけるイネ縞葉枯病の感染時期	1979	関東東山病害虫研究会年報	26	24-25	イネ縞葉枯病, 移植時期間差異, 黄色水盤法, すくい取り法, 払い落とし法, 発生消長, 発病株率, 発病茎数, ヒメトビウンカ
安坂茂芳・藤沢恒夫・永田和人・原田敏男	カヤホス粒剤の苗箱施薬による大面積処理と稲黄萎病の防除効果	1979	関東東山病害虫研究会年報	26	#27	イネ黄萎病, 殺虫剤, 苗箱施薬, カヤホス, 見取り法, すくい取り法, 発病株率, ヒコバエ発病株率, 防除効果, ツマグロヨコバイ

大兼善三郎・滝田泰章	ツマグロヨコバイの各種トラップ捕虫数と圃場密度の関係	1979	関東東山病害虫研究会年報	26	#87	発生消長, 予察灯, ジョンソン・テイラー・サクシントラップ, ジョンソントラップ, ネットトラップ, スティックトラップ, ほ場調査, すくい取り法, ツマグロヨコバイ	
小林荘一	ツマグロヨコバイの薬剤に対する感受性 - 発育ステージおよび温度の関係 -	1979	関東東山病害虫研究会年報	26	88-89	生物検定, 抵抗性系統, 感受性系統, 気温条件, 殺虫剤, マラソン, ダイアジノン, BPMC, PHC, ツマグロヨコバイ	
高山隆夫・原栄一・川端一彰・中里筆二・滝田泰章	ツマグロヨコバイに対する殺虫剤混用の効果 栃木県におけるヒメトビウンカの薬剤感受性	1979	関東東山病害虫研究会年報	26	#90	ほ場試験, 生物検定, 虫体浸漬法, 殺虫剤, プロパホス, BPMC, PAP, PHC, EDDP, DEP, PMP, MTMC, マラソン, IBP, ジメチルビンホス, NAC, ダイアジノン, ピリダフェンチオン, アセフェート, XMC, ツマグロヨコバイ	
加藤三奈子・村田明夫・市原伊助・関口亘・成瀬博行・今井富士夫・宮井俊一・桐谷圭治	BPMC・フサライド散布直後の降雨による効果低減と残留 ツマグロヨコバイの多発要因解析 I 稲熟期とツマグロヨコバイの発生消長	1979	関東東山病害虫研究会年報	26	145-146	生物検定, イネ幼苗浸漬法, 局所施用法, LD50, マラソン, スミチオン, バッサ, ヒメトビウンカ 殺虫剤, バッサ, BPMC, 降雨, 効果低減, 残留, 死虫率, ツマグロヨコバイ	
吉岡幸治郎	天敵に対する殺虫剤の選択毒性の評価法 抵抗性発達程度の異なるツマグロヨコバイに対する薬剤間における共力作用	1979	北陸病害虫研究会報	27	23-27	天敵, キクヅキコモリグモ, 殺虫剤, 選択毒性, LD5, LD50, LD95, RT50,50, RT5,95, ツマグロヨコバイ 生物検定, ほ場試験, 局所施用法, ベルジャーダスター法, 殺虫剤, 共力作用, 死虫率, 補正密度指数, LD50, ツマグロヨコバイ	
小山健二・三橋淳	完全合成飼料によるセジロウンカの人工飼育	1980	日本応用動物昆虫学会誌	24	2	117-119	人工飼育, 完全合成飼料, MED-1, MMD-1, 生存率曲線, 幼虫齢期間, セジロウンカ
平尾重太郎・伊藤清光	1974年梅雨期東シナ海におけるイネウンカ類採集記録	1980	日本応用動物昆虫学会誌	24	2	121-124	空中ネット, 誘殺灯, 天気図, 誘殺消長, 気象条件, 洋上飛来虫, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ

山科裕郎	アジアにおけるトビイロウンカの諸問題	1980	九州病害虫研究会報	26	89-93	トビイロウンカ
遠藤正造・升田武夫	トビイロウンカとツマグロヨコバイの水稻およびパラフィルムを通しての吸汁量	1980	九州病害虫研究会報	26	96-101	MIPC, 吸汁量, トビイロウンカ, ツマグロヨコバイ
牧野晋・上和田秀美	エチルチオメトン粒剤施用とセジロウンカ飛来成虫の性比	1980	九州病害虫研究会報	26	101-104	殺虫剤, エチルチオメトン粒剤, 発生消長, セジロウンカ
深町三朗・村永治喜・上忠衛・牟田辰朗・肥後三郎・馬場口勝男・永島田義則	育苗箱施薬によるツマグロヨコバイ抵抗性検定結果とほ場における実態	1980	九州病害虫研究会報	26	104-107	殺虫剤, 育苗施薬, プロパホス粒剤, エチルメトン粒剤, カルタップ粒剤, ツマグロヨコバイ
深町三朗・村永治喜・上忠衛・牟田辰朗・肥後三郎・馬場口勝男・永島田義則	ベルジャーダスターによるトビイロウンカの殺虫剤感受性検定	1980	九州病害虫研究会報	26	108-112	殺虫剤, 殺虫剤感受性検定, デナポン粉剤, メオバール粉剤, ツマサイド粉剤, バッサ粉剤, ダイアジノン粉剤, カヤフォス粉剤, マラソン粉剤, ND粉剤, メオジノン粉剤, ツマジノン粉剤, カヤフォスナック粉剤, ツマカヤフォス粉剤, カヤフォスバッサ粉剤, マラエース粉剤, ツマウンカレス粉剤, マラバッサ粉剤, クミホップ粉剤, フォスマクDL粉剤, ツマウンカレスDL粉剤, スミバッサ粉剤, スミバール粉剤, ツマスマ粉剤, ガードサイドバッサ粉剤, ミプシン粒剤, ダイアジノン粒剤, ダイアジノン微粒剤, NAC, MPMC, MTMC, BPMC, プロパフォス, IBP, XMC, MEP, CVMC, MIPC, KT50, ト
野中耕次・永井清文・後藤重喜	DL型粉剤の散布方法に関する試験 第1報 稲の生育時期別付着状態と防除効果	1980	九州病害虫研究会報	26	112-114	殺虫剤, マラバッサ粉剤DL, マラバッサ粉剤, DL型粉剤, ツマグロヨコバイ, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ

田原誠・ 岡田大・ 永井清 文・後藤 重喜	DL型粉剤の散布方法に関する試験 第2報 散布 機のエンジン開度と防除効果	1980	九州病害虫 研究会報	26	114- 116	殺虫剤, DL型粉剤, アソツマスマミ粉剤DL, トビ イロウンカ
山口東 洋・堀込 忠三	群馬県におけるイネ縞葉枯病発生の特徴	1980	関東東山病 害虫研究会 年報	27	20-21	イネ縞葉枯病, 被害株率, 被害茎率, 作付時 期間差異, 保毒虫率, 発消消長, ヒメトビウン カ
村上正 雄・横山 奉三郎	田植時期の差によるイネ縞葉枯病・黒すじ萎縮病 の発生差異	1980	関東東山病 害虫研究会 年報	27	#24	イネ縞葉枯病, イネ黒条萎縮病, 田植時期間 差異, 発消消長, ネットトラップ, 感染率, 感染 時期, ヒメトビウンカ
石川元一	ヒメトビウンカ第2世代幼虫とイネ縞葉枯病の防除	1980	関東東山病 害虫研究会 年報	27	#99	ほ場調査, ほ場調査, 殺虫剤, マラソン, BPMC, エチルチオメトン, MEP, バミドチオ ン, NNI750, 発病株率, 発病茎率, 防除効 予察灯, 発生予察, 発消消長, 株当たり密 度, 誘殺量, 増殖率, 年次変動, ツマグロヨコ バイ
大兼善三 郎・斉藤 浩一・滝 田泰章	栃木県におけるツマグロヨコバイ発生量の年次変 動と増殖率の地域性	1980	関東東山病 害虫研究会 年報	27	100- 102	ほ場調査, 網がこい試験, 発生量, 収量調 査, 殺虫剤, バッサ, すくい取り法, BPMC, ダ イアジノン, 防除効果, 減収防止効果, 経済 的被害許容水準, ツマグロヨコバイ
斉藤浩 一・滝田 泰章・大 兼善三 郎・矢古 宇孝	ツマグロヨコバイによる吸汁と減収	1980	関東東山病 害虫研究会 年報	27	103- 105	ほ場調査, 網がこい試験, 発生量, 収量調 査, 殺虫剤, バッサ, すくい取り法, BPMC, ダ イアジノン, 防除効果, 減収防止効果, 経済 的被害許容水準, ツマグロヨコバイ
小林莊 一・藤沢 恒夫・安 坂茂芳	薬剤抵抗性ツマグロヨコバイに対する苗箱施薬の 効果	1980	関東東山病 害虫研究会 年報	27	106- 107	稲黄萎病, 苗箱施薬, 殺虫剤, カヤフォス, パ ダン, サンサイド, ダイシストン, ダイアジノン, マラソン, BPMC, MTMC, MPMC, 死虫率, 感 受性系統, 抵抗性系統, 発病株率, 局所施用 法, 生物検定, ツマグロヨコバイ
関口亘・ 成瀬博行	ツマグロヨコバイの多発要因解析 II 稲熟期と成 虫サイズの推移	1980	北陸病害虫 研究会報	28	13-16	発生消長, すくい取り法, 頭幅, 前翅長, 気象 条件, 生育ステージ, 成虫サイズ, 生息密度, 早生イネ, 晩生イネ, ツマグロヨコバイ
大矢慎吾	ツマグロヨコバイの吸汁による分けつ初期水稻の 被害	1980	北陸病害虫 研究会報	28	17-22	被害解析, 草丈, 茎数, 乾物重, 生育抑制 量, 加害虫数, 苗サイズ, 温度条件, 移植条 件, ツマグロヨコバイ

大矢慎吾・佐藤昭夫	ツマグロヨコバイ抵抗性品種における抗生作用と非選好性	1980	北陸病害虫研究会報	28	23-29	品種間差異, 抵抗性品種, 抗生作用, 幼虫発育, 生存率, 羽化率, 幼苗期, 成苗期, 分けつ期, 幼穂形成期, ふ化幼虫, 中齢幼虫, 産卵数, 産卵選択, 品種選好性, 抵抗性機作, 抵抗性簡易検定法, ツマグロヨコバイ	
寒川一成	トビイロウンカの甘露の性状と排泄活動	1980	北陸病害虫研究会報	28	30-35	吸汁, 維管束, 篩管, 導管, アミノ酸, 糖類, 微動ターンテーブル法, 感受性系統, 抵抗性系統, トビイロウンカ	
寒川一成	野生稲 <i>Oryza-perennis</i> 上でのトビイロウンカの幼虫発育, 増殖および吸汁	1980	北陸病害虫研究会報	28	36-38	野生イネ, 抵抗性品種, 感受性品種, 幼虫発育, 幼虫期死亡率, 幼虫期間, 短翅型メス成虫羽化率, 頭幅, 増殖試験, 摂食試験, ろ紙法, 甘露排泄量, トビイロウンカ	
望月正巳	ツマグロヨコバイとヒメトビウンカの越冬期の天敵について	1980	北陸病害虫研究会報	28	#39	天敵, アタマアブ, クロハラカマバチ, 寄生率, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ	
隅田喜代司・遠藤賢治・菊地輝・江村一雄	ツマグロヨコバイ防除の問題点	1980	北陸病害虫研究会報	28	48-50	ほ場試験, 空中散布, 地上散布, 殺虫剤, BPMC, KSM, フサライド, MEP, 発生消長, すくい取り法, 防除効果, 防除適期, ツマグロヨコバイ	
小畑登紀夫・金武祚・高行植・深海浩	ウンカに対するイネの誘引作用	1981	日本応用動物昆虫学会誌	25	1	47-51	生物検定法, イネ, タイヌビエ, 誘引成分, 空気伝搬性揮発成分, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ
杉本渥	ツマグロヨコバイの大量飼育法	1981	日本応用動物昆虫学会	25	2	77-83	大量飼育法, 生育ステージ, 飼料イネ更新間隔, 増殖率, 飼育密度, ツマグロヨコバイ
小山健二	数種糖類の水溶液上でのトビイロウンカ幼虫の生存期間	1981	日本応用動物昆虫学会誌	25	2	125-126	人工飼育法, 糖類, スクロース, グルコース, フルクトース, ラフィノース, マルトース, トレハロース, トビイロウンカ

宮田正・ 齋藤哲 夫・深町 三朗・桐 谷圭治・ 川原幸 夫・吉岡 幸治郎・ 尾崎幸三 郎・佐々 木善隆・ 坪井昭 正・浜弘 司・岩田 俊一	ツマグロヨコバイにおける殺虫剤抵抗性とアリエス テラーゼとの関連について	1981	日本応用動 物昆虫学会 誌	25	3	150- 155	殺虫剤, 殺虫剤抵抗性, マラチオン, フェニ ロチオン, バッサ, β -ナフチルアセテート, アセチルコリンエステラーゼ, カルボキシルエ ステラーゼ, アリエステラーゼ, ツマグロヨコバ イ
安藤幸 夫・岸野 賢一	水稲のツマグロヨコバイ耐虫性に関する研究 3. 寄主選好性を利用した検定法について	1981	日本応用動 物昆虫学会 誌	25	3	196- 197	耐虫性, 生物検定法, 選好性検定, 葉検定 法, ツマグロヨコバイ
古徳祥・ 伊藤嘉昭 寒川一 成・佐藤 昭夫	北陸地方と東海・西日本地方とのツマグロヨコバイ (<i>Nephotettix cincticeps</i> UHLER)の分布型について 稲品種に対する寄生性を異にするツマグロヨコバイ 個体群	1981	日本応用動 物昆虫学会 誌	25	4	276- 279	発生消長, 地域間差異, 遺伝的条件差異, 平 均こみあい度指数, 集中分布, ツマグロヨコバ イ
		1981	日本応用動 物昆虫学会 誌	25	4	280- 285	生物検定, 集団幼苗検定, 幼虫個体飼育, 選 好性試験, 増殖試験, ニンヒドリン反応, ウォーターブルーろ紙, 地理的変異, バイオタ イプ, 吸汁阻害因子, 集団交雑試験, 量的遺 伝形質, ツマグロヨコバイ
岡田忠 虎・平尾 重太郎	九州農試(筑後)の予察灯で記録されたウンカの種 類と誘殺虫数(1966~1975)	1981	九州病害虫 研究会報	27		71-73	分類, 予察灯, トビイロウンカ
深町三朗	コブノメイガとセジロウンカ・トビイロウンカの飛来の 関係	1981	九州病害虫 研究会報	27		73-78	発生予察, 発生消長, コブノメイガ, セジロウ ンカ, トビイロウンカ
井辺時雄	粘着板による水稲品種のツマグロヨコバイ抵抗性 ほ場検定法	1981	九州病害虫 研究会報	27		78-80	生物検定, 品種間差異, ほ場調査, ツマグロ ヨコバイ
大矢慎 吾・平尾 重太郎	トビイロウンカ抵抗性中間母本系統の抵抗性現象 とほ場における生息密度抑制効果	1981	九州病害虫 研究会報	27		81-85	生物検定, 抵抗性品種, 抗生作用試験, 選好 性試験, 耐性試験, 発生消長, トビイロウンカ

高桑亮	昭和55年(1980)の冷害に伴う病害虫発生相の特異性とその要因解析 4. 北海道における水田作及び畑作病害虫	1981	北日本病害虫研究会報	32	178-180	冷害, 発生量, ヒメビウンカ
井上徹・及川俊雄・本蔵良三	昭和55年(1980)の冷害に伴う病害虫発生相の特異性とその要因解析 7. 宮城県における水田作及び畑作病害虫	1981	北日本病害虫研究会報	32	190-193	冷害, 発生面積, ツマグロヨコバイ, ヒメビウンカ, セジロウンカ
東海林久雄・斎藤隆	昭和55年(1980)の冷害に伴う病害虫発生相の特異性とその要因解析 9. 山形県における水田作及び畑作病害虫	1981	北日本病害虫研究会報	32	198-201	冷害, 発生量, セジロウンカ
鈴木忠夫	昭和55年(1980)の冷害に伴う病害虫発生相の特異性とその要因解析 13. 北日本における水田作及び野菜害虫	1981	北日本病害虫研究会報	32	215-216	冷害, 発生量, 発生面積, 世代数, セジロウンカ, トビイロウンカ, ツマグロヨコバイ
斉藤浩一・赤羽根朋子	エチルチオメトン粒剤施用後の水管理とヒメビウンカ防除効果	1981	関東東山病害虫研究会年報	28	#82	殺虫剤, エチルチオメトン, 水管理, ヒメビウンカ
関口亘・成瀬博行・今井富士夫・湯野一郎・川原俊昭・若松俊弘	ツマグロヨコバイ多発要因の解析 III ツマグロヨコバイ発生分布の地域性解明	1981	北陸病害虫研究会報	29	19-23	越年雑草繁茂量, スズメノカタビラ, 生息密度, 越冬, 融雪時期, ツマグロヨコバイ
寒川一成	トビイロウンカの下唇先端部, 食痕, および口針鞘の走査型電子顕微鏡による観察	1981	北陸病害虫研究会報	29	32-35	走査型電子顕微鏡, 下唇, 食痕, 口唇鞘錘状感覚子, トビイロウンカ
寒川一成	トビイロウンカ抵抗性稲品種の吸汁阻害作用に関する2, 3の検討	1981	北陸病害虫研究会報	29	36-39	抵抗性品種, 感受性品種, 甘露排泄量, 吸汁阻害作用, 生育ステージ, 黄化苗, 根部切断苗, アルビノ変異苗, トビイロウンカ
望月正巳	北陸におけるアタマアブについて	1981	北陸病害虫研究会報	29	48-49	天敵, ツマグロツヤアタマアブ, ツマグロヨコバイ
望月正巳	北陸におけるカマバチについて	1981	北陸病害虫研究会報	29	50-51	天敵, クロハラカマバチ, ヒメビウンカ

藤田祐輔・石黒丈雄	ツマグロヨコバイの抵抗性程度と殺虫速度	1981	関西病虫害研究会報	23	73-74	生物検定, 殺虫剤抵抗性, 局所施用法, 茎葉散布法, 殺虫剤, バミドチオン, マラソン, BPMC, LD50, 殺虫速度, KT50, ガス作用, ツマグロヨコバイ	
吉岡幸治郎・山崎康男	ツマグロヨコバイ薬剤抵抗性発達の地域変動とその要因	1981	四国植物防疫研究	16	97-101	生物検定, ほ場試験, 局所施用法, 予察数, 年間平均誘殺数, 払い落とし法, すくい取り法, LD50, 窒素量, 珪酸量, 殺虫剤, 薬剤抵抗性, ツマグロヨコバイ	
河野義明・河部暹・酒井道彦・佐藤安夫・鈴木忠夫	ツマグロヨコバイの吸汁行動に及ぼすカルタップの影響	1982	日本応用動物昆虫学会誌	26	1	41-47	イネ萎縮病, イネ黄萎病, 吸汁行動, 電氣的測定法, 生物検定, 浸根法, パラフィルム法, 甘露, 口針鞘数, 殺虫試験, 殺虫剤, カルタップ, ネライストキシン, 媒介能力低下, ツマグロヨコバイ
岸本良一・平尾重太郎・平原洋司・田中章	沖縄, 奄美, 九州および東シナ海におけるトビイロウンカ, セジロウンカの飛来の同時性	1982	日本応用動物昆虫学会誌	26	2	112-118	天気図, 海上定点調査, 誘殺消長, 地域間差異, 飛来源, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒエウンカ, カタグロミドリカスミカメムシ
古徳祥・伊藤嘉昭	野外アミ室内におけるツマグロヨコバイの雌成虫の寿命	1982	日本応用動物昆虫学会誌	26	4	228-231	マーキング法, 雌成虫寿命, 地域間差異, 世代間差異, ツマグロヨコバイ
尾崎幸三郎・葛西辰雄	トビイロウンカの野外個体群における薬剤抵抗性の発達と抵抗性型	1982	日本応用動物昆虫学会誌	26	4	249-255	殺虫剤, 殺虫剤抵抗性, 生物検定法, ドライフィルム法, 局所施用法, アリエステラーゼ, 地域間差異, トビイロウンカ
古徳祥・伊藤嘉昭	ツマグロヨコバイの見取り調査に必要な標本数を求めるグラフ	1982	日本応用動物昆虫学会誌	26	4	305-306	平均こみあい度, 標本数決定, 精度, ツマグロヨコバイ
岩崎真人・中野正明・新海昭	イネグラッシースタントウイルスのトビイロウンカ飼育系統による媒介率	1982	九州病虫害研究会報	28		#1-3	イネグラッシースタントウイルス, 媒介虫選抜, トビイロウンカ
山下幸彦・深町三朗	コブノメイガ及びトビイロウンカ捕集箱の試作	1982	九州病虫害研究会報	28		111-113	捕集箱, 発生予察, 発生消長, コブノメイガ, トビイロウンカ

嚴基白・井上齊・平尾重太郎	本邦産3種Sogatella属ウンカの寄主植物分化と腹部振動波による求愛歌の特徴	1982 九州病害虫研究会報	28	113-116	腹部振動波, 求愛歌, 分類, 種間交雑, イネ, タイヌビエ, メシバ, セジロウンカ, ヒエウンカ, メシバ
大矢慎吾・平尾重太郎	1981年梅雨期東シナ海洋上と北部九州におけるイネウンカ類の飛来状況とその関連性	1982 九州病害虫研究会報	28	117-121	東シナ海上定点調査, ライトトラップ, ほ場調査, セジロウンカ, トビイロウンカ, ヒメトビウンカ
深町三朗・下町明雄	育苗箱におけるエチルチオメトン粒剤とカルタップ粒剤の混用効果	1982 九州病害虫研究会報	28	121-124	殺虫剤, カルタップ粒剤, エチルチオメトン粒剤, プロパホス粒剤, ほ場調査, 生物検定, ツマグロヨコバイ, セジロウンカ
村上正雄・藤田耕朗・野田聡・石川元一	昭和56年埼玉県におけるイネ縞葉枯病の多発生	1982 関東東山病害虫研究会年報		29 #10-11	イネ縞葉枯病, イネ黒条萎縮病, ネットトラップ, 発消長, 田植時期間差異, 発病株率, 保毒虫率, ヒメトビウンカ
上田康郎・針谷信義	田植時期とイネ縞葉枯病の発生との関係	1982 関東東山病害虫研究会年報		29 #12-13	イネ縞葉枯病, 田植時期間差異, 品種間差異, 生息密度, 保毒虫率, ヒメトビウンカ
高山隆夫・岩田直紀・中里筆二	ヒメトビウンカの寄主植物選好性について	1982 関東東山病害虫研究会年報		29 #117	寄主植物選好性, 強制産卵試験, 産卵選好性試験, 越冬後野外調査, たたき出し法, ヒメトビウンカ
寒川一成・佐藤昭夫・藤巻宏	多収形質をもつ外国稲のツマグロヨコバイ抵抗性	1982 北陸病害虫研究会報		30 69-71	生物検定, 室内集団幼苗検定法, 多収性要素, ツマグロヨコバイ抵抗性, 優性単遺伝子支配, ツマグロヨコバイ
寒川一成・佐藤昭夫・香村敏郎	水稻品種愛知42号と愛知49号のツマグロヨコバイ抵抗性	1982 北陸病害虫研究会報		30 72-75	イネ萎縮病抵抗性, ツマグロヨコバイ抵抗性品種, 生物検定, 選好性, 幼虫発育, 切断幼深上死亡率, 甘露排泄量, 増殖, 吸汁阻害作用, 抗生作用, ツマグロヨコバイ
寒川一成	トビイロウンカの吸汁におよぼす有機酸, アミノ酸, および無機化合物の影響	1982 北陸病害虫研究会報		30 76-78	生物検定, 吸汁阻害作用, 吸汁阻害物質, 有機酸, 酢酸, シュウ酸, 安息香酸, サリチル酸, トランス-アコニット酸, イタコン酸, マレイン酸, アミノ酸, 無機化合物, トビイロウンカ

隅田喜代 司・江村 一雄・大 倉哲男・ 内山次男 佐藤昭夫	BPMC低感受性ツマグロヨコバイに対するBPMC・マ ラソン混合散布の効果	1982	北陸病害虫 研究会報	30	84-87	生物検定, 局所施用法, 殺虫剤, BPMC, マラ ソン, ポット植えイネ検定, MEP, ほ場試験, LD50, 共力係数, 複合抵抗性個体群, 仰天 死虫率, すくい取り法, 防除効果, 殺虫剤混 用適量, ツマグロヨコバイ	
	ツマグロヨコバイに対する幼若ホルモン剤ALTOSID の影響	1982	北陸病害虫 研究会報	30	88-89	生物検定, 幼若ホルモン剤, ALTOSID, ほ場 試験, NAC, 防除効果, 稲体散布試験, 虫体 散布試験, 異常虫, ツマグロヨコバイ	
山崎康 男・吉岡 幸治郎	ツマグロヨコバイ野外個体群におけるアセチルコリ ンエステラーゼの薬剤感受性の個体変異	1982	四国植物防 疫研究	17	#1-6	殺虫剤抵抗性, 殺虫剤淘汰系統, 殺虫剤, プ ロパホス, BPMC, PHC, 生物検定, 局所施用 法, アセチルコリンエステラーゼ, ツマグロヨコ	
寒川一 成・佐藤 昭夫	稲品種に対する反応を異にする上越および筑後産 ツマグロヨコバイ個体群の形態および生理的形質 の比較	1983	日本応用動 物昆虫学会 誌	27	1	22-27	成虫形態, 黒化程度, 頭幅, 後脚径節長, 覆 翅長, 幼虫発育速度, 甘露排泄量, 蔗糖濃 度, ツマグロヨコバイ
細田昭男	トビイロウンカの有機リン剤およびカーバメート剤に 対する感受性低下	1983	日本応用動 物昆虫学会 誌	27	1	55-62	殺虫剤, ダイアジノン, NAC, MEP, BPMC, MPP, カルタップ, EDDP, IBP, プロパホス, PHC, マラソン, PAP, LD50, 薬剤感受性検 定, ほ場試験, 年次変動, 地域間差異, トビイ ロウンカ
小山健 二・三橋 淳	短日条件下でのウンカの人工飼育	1983	日本応用動 物昆虫学会 誌	27	1	69-71	短日条件, 発育遅延現象, セジロウンカモド キ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ
常楽武 男・関口 亘・嘉藤 省吾・成 瀬博行・ 今井富士 夫・若松 俊弘	北陸地方におけるツマグロヨコバイの個体数変動	1983	日本応用動 物昆虫学会 誌	27	2	146- 151	ほ場調査, 発生消長, 季節的増殖様式, 年次 変動, 地域間差異, 後続世代指標, 密度調節 機構, 密度安定度, ツマグロヨコバイ
牟田辰朗	ブプロフェジン剤のトビイロウンカに対する効果	1983	九州病害虫 研究会報	29	61-64	殺虫剤, ブプロフェジン, BPMC, MTMC, マラ ソン, ほ場調査, 粘着板法, 発生消長, トビイ ロウンカ	

平尾重太郎・井上齊・深町三朗・山下幸彦	イネ褐穂病に対するプロフェジン剤の防除効果	1983	九州病害虫研究会報	29	64-67	殺虫剤, プロフェジン, BPMC, マラソン, 褐穂病, 稿葉枯病, 予察灯, トビイロウンカ	
飯富暁康・土橋茂・佐藤幸夫	秋田県におけるセジロウンカの被害許容密度	1983	北日本病害虫研究会報	34	#6-8	被害解析, 収量調査, 収量構成要素, 被害許容密度, 平面型系統抽出法, 幼虫密度, 発生消長, 要防除密度, セジロウンカ	
秋野浩二	水田でのツマグロヨコバイ成虫小移動の日周的变化	1983	関東東山病害虫研究会年報	30	105-106	短距離移動虫数, 垂直的小移動, 水平的小移動, 見取り法, 環境条件, 気象条件, ツマグロヨコバイ	
松井武彦・上田康郎・稲生稔	晩植田に飛来するヒメトビウンカ第3回成虫	1983	関東東山病害虫研究会年報	30	107-108	イネ縞葉枯病, 早植田, 晩植田, 第2回成虫, 第3回成虫, ネットトラップ, 保毒虫率, ヒメトビウンカ	
上田康郎・針谷信義・岩瀬一行	麦跡水稻のイネ縞葉枯病発生について	1983	関東東山病害虫研究会年報	30	109-110	イネ縞葉枯病, 発病株率, 田植時期, 前作物, 薬剤防除, 抵抗性品種, むさしこがね, 本田飛び込み調査, ネットトラップ, すくい取り法, 発生消長, 年次間差異, ヒメトビウンカ	
高山隆夫・飯塚清・中里筆二	1982年群馬県におけるイネ縞葉枯病発生の特徴と今後の対策	1983	関東東山病害虫研究会年報	30	111-113	イネ縞葉枯病, 幼虫密度, すくい取り法, 予察灯, 誘殺状況, 空中ネット, 防除体系試験, 殺虫剤, エチルチオメトン, バサジット, バッサ, マラバッサ, 抵抗性品種, 発生消長, 収量調査, ヒメトビウンカ	
藤田祐輔・石黒丈雄・谷元節男	滋賀県内のツマグロヨコバイの数種殺虫剤に対する感受性	1983	関西病虫害研究会報	25	25-26	生物検定, 殺虫剤抵抗性, 茎葉散布法, LC50, 殺虫速度, KT50, 地域間差異, 殺虫剤, バミダチオン, BPMC, マラソン, ダイアジノン, MPMC, NAC, ツマグロヨコバイ	
葛西辰雄・尾崎幸三郎	トビイロウンカの Carbaryl または Propoxur 淘汰系統における抵抗性型	1984	日本応用動物昆虫学会誌	28	1	20-24	殺虫剤, カーバメート剤, 有機リン剤, 殺虫剤抵抗性, 局所施用法, LD50, トビイロウンカ
浜弘司	ヒメトビウンカの殺虫剤抵抗性に関する2, 3の知見	1984	日本応用動物昆虫学会誌	28	3	176-179	殺虫剤, カーバメート剤, 有機リン剤, 殺虫剤抵抗性, 地域間差異, アセチルコリンエステラーゼ活性, アリエステラーゼ活性, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ

岩崎真人・中野正明・新海昭	イネグラッシースタントウイルスの媒介虫率に関する2, 3の要因	1984	九州病害虫研究会報	30	#1-2	イネグラッシースタントウイルス, 媒介虫率, トビイロウンカ
岩永京子・東條純夫・永田徹	トビイロウンカの翅型発現とそれにみられる地域的変異性	1984	九州病害虫研究会報	30	85-89	地域変異, 翅型発現性, 翅型選抜, トビイロウンカ
嶋田一明	イネウンカ類の幼苗浸漬法による薬剤感受性検定	1984	九州病害虫研究会報	30	89-91	殺虫剤, マラソン, PAP, イソキサチオン, MEP, MPP, ピリダフェンチオン, BPMC, XMC, NAC, 生物検定, 幼苗浸漬法, 局所施用法, LD50, LC50, ヒメトビウンカ, トビイロウ
高野俊昭・藤崎祐一郎・安部寛二・佐藤智美	1983年に宮城県で多発したセジロウンカとコブノメイガについて	1984	北日本病害虫研究会報	35	72-74	予察灯, 誘殺数, 発生予察, 発生消長, 掬い取り法, 梅雨前線, 湿舌, トビイロウンカ, セジロウンカ
飯富暁康・土橋茂・佐藤幸夫	秋田県におけるセジロウンカ個体群密度の季節的推移	1984	北日本病害虫研究会報	35	75-78	予察灯, 誘殺数, 発生予察, 発生消長, 有効積算温量, 掬い取り法, 見取り法, 低気圧, 地域間差異, 季節推移, セジロウンカ
村井智子・藤田正男・阿部信夫・荒谷悦務・木村利幸・藤村建彦	青森県におけるヒメトビウンカの周年経過	1984	北日本病害虫研究会報	35	79-81	越冬幼虫, 齢構成, 発生消長, 掬い取り法, ヒメトビウンカ
小菅喜久弥・鈴木恵三・落合三男・土屋重文	山梨県における最近の病害虫発生動向について	1984	関東東山病害虫研究会年報	31	92-93	ツマグロヨコバイ, セジロウンカ, トビイロウンカ

高橋修・ 松井武彦	イネ縞葉枯病抵抗性品種とヒメトビウンカの保毒虫率	1984	関東東山病 害虫研究会 年報	31 96-97	イネ縞葉枯病, 生育段階, 抵抗性品種, 経卵伝染率, 媒介力, 系統間差異, 発病株率, 幼苗検定, ヒメトビウンカ
斉藤浩一・本郷武・橋田弘一・大森貴寿	イネ縞葉枯病抵抗性品種「星の光」におけるヒメトビウンカ及びイネ縞葉枯病の発生	1984	関東東山病 害虫研究会 年報	31 98-99	イネ縞葉枯病, 発生消長, イネ縞葉枯病, イネ黒すじ萎縮病, 保毒虫率, ヒメトビウンカ
宇田川晃・近岡一郎・小林正伸・阿久津四良	神奈川県におけるイネ縞葉枯病とヒメトビウンカの発生	1984	関東東山病 害虫研究会 年報	31 #100	イネ縞葉枯病, 発生面積, 誘殺数, 保毒虫率, ヒメトビウンカ
内藤篤・高橋敬一	冬作イタリアンライグラスにおけるヒメトビウンカの越冬問題	1984	関東東山病 害虫研究会 年報	31 101-102	越冬密度, ヒメトビウンカ
斉藤浩一・本郷武・橋田弘一・大森貴寿・合田健二・尾田啓一	ブプロフェジン剤の空中散布によるヒメトビウンカ防除効果	1984	関東東山病 害虫研究会 年報	31 103-104	空中散布, ヘリコプタ, 殺虫剤, ブプロフェジン, アプロード, バッサジノン, 発生消長, 防除効果, すくい取り法, 残効性試験, 薬害発生状況, ヒメトビウンカ
沢木忠雄・佐藤允通	トビイロウンカの各種殺虫剤に対する感受性	1984	関東東山病 害虫研究会 年報	31 105-106	生物検定, 茎葉浸漬法, 殺虫剤感受性, 殺虫剤, BPMC, MPMC, XMC, PHC, NAC, ダイアジノン, MEP, MPP, マラソン, PAP, 水面処理法, トビイロウンカ
高山隆夫・岩田直紀・田村利行	1983年群馬県におけるセジロウンカの発生について	1984	関東東山病 害虫研究会 年報	31 107-108	ほ場調査, すくい取り調査, 品種間差異, 予察灯, 気象条件, 発生消長, 防除効果, セジロウンカ
原栄一・斉藤満	イネ品種とセジロウンカの寄生密度	1984	関東東山病 害虫研究会	31 #109	すくい取り法, 品種間差異, すず病, セジロウンカ

村上正雄・神田徹	昭和58年埼玉県におけるセジロウンカの発生	1984	関東東山病虫害研究会年報	31	110-111	発生消長, 予察灯, ネットトラップ, すくい取り法, 被害解析, 収量調査, セジロウンカ
岩城寛・片山栄助	栃木県北部のイネ黄萎病多発地におけるツマグロヨコバイの保毒虫率	1984	関東東山病虫害研究会年報	31	#112	イネ黄萎病, 保毒虫率, ヒコバエ発病株率, 殺虫剤, BPMC, ダイアジノン, 越冬世代, ツマグロヨコバイ
福田寛・村上一夫・森川正己・武田幸雄・清水喜一・丸諭・遠藤巨紀	千葉県における水稲病虫害の発生予察	1984	関東東山病虫害研究会年報	31	#123	BASICプログラム, 発生予察, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
池田利昭・前山明・石黒政邦・森松敬・前坂正二・高田正明・池原義信・成瀬博行	富山県における海外飛来害虫の多発生について	1984	北陸病虫害研究会報	32	51-55	気象図, 予察灯, 誘殺消長, 県内分布, 発生量, すくい取り法, 坪枯れ, セジロウンカ, トビイロウンカ
常楽武男	富山県における水田地帯とその付近のヨコバイ類	1984	北陸病虫害研究会報	32	56-61	分類, 発生分布, 発生期, ツマグロヨコバイ
永田徹・里見緯生	中国から導入された多収性イネ品種のツマグロヨコバイ抵抗性	1984	北陸病虫害研究会報	32	62-63	ツマグロヨコバイ抵抗性品種, 生物検定, 集団幼苗検定法, 選好性, 抗生性, バイオタイプ, ツマグロヨコバイ
三浦一芸	ツマグロヨコバイの卵寄生蜂2種の寄生率	1984	日本応用動物昆虫学会中国支部会	26	22-27	卵寄生蜂, Paracentrobia-andoi, Gonatocerus-miurai, 発生消長, 寄生率, ツマグロヨコバイ
嶋田一明	ツマグロヨコバイの穂加害による減収について	1985	九州病虫害研究会報	31	82-83	減収率, 登熟具合, ツマグロヨコバイ

岩永京子・東條純夫	トビイロウンカにおける翅型多型の内分泌制御	1985	九州病害虫研究会報	31	84-88	羽型発現性, 卵巣発育, 幼若ホルモン, JHA, メソプレントビイロウンカ
大矢慎吾・平尾重太郎	水稻系統西海165号, 西海168号におけるトビイロウンカ抵抗性の機作とほ場における生息密度抑制効果	1985	九州病害虫研究会報	31	89-93	抗生作用, 選好性, ほ場調査, 発生消長, トビイロウンカ
深町三朗	トビイロウンカの最近の薬剤感受性と防除効果	1985	九州病害虫研究会報	31	94-95	殺虫剤, 生物検定, ほ場調査, MTMC, NAC, BPMC, マラソン, ダイアジノントビイロウンカ
沢木忠雄・佐藤允通・竹島節夫・小林義明	水稻の湛水土壤中直播栽培における病害虫の発生実態	1985	関東東山病害虫研究会年報	32	36-37	直播栽培, 移植栽培, 発生量, ツマグロヨコバイ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ
大村敏博・匠原監一郎・本郷武・大森貴寿・野田聡・神田徹・田村利行・土崎常男	ラテックス凝集反応法による感染イネ及び保毒虫からのイネ縞葉枯ウイルスの検出	1985	関東東山病害虫研究会年報	32	39-40	イネ縞葉枯病, ラテックス凝集反応法, 赤血球血清凝集反応法, 抗血清, ヒメトビウンカ
鈴木正光・片山栄助・尾田啓一	昭和59年のヒメトビウンカの発生の特徴とイネ縞葉枯病の発生	1985	関東東山病害虫研究会年報	32	41-42	イネ縞葉枯病, 黄色水盤法, 飛び込み虫数, 保毒虫率, ヒメトビウンカ
田村利行・岩田直記・高山隆夫	イネ縞葉枯病抵抗性品種の導入がヒメトビウンカの発生と保毒虫率におよぼす影響	1985	関東東山病害虫研究会年報	32	154-155	イネ縞葉枯病, 抗体感作赤血球凝集反応, 発病株率, 発生消長, 抵抗性品種, 感受性品種, すくい取り法, ネットトラップ, ヒメトビウンカ

上田康 郎・松井 武彦・金 井克己・ 小森隆太 郎・長塚 久・稲生 稔・法橋 信彦・浜 田龍一・ 宮井俊 一・川本 均・村田 勝利・仲 田道生	ネットトラップによるヒメトビウンカの捕獲に関する知見	1985	関東東山病 害虫研究会 年報	32	156- 157	イネ縞葉枯病, 抗血清凝集反応検定, ネット トラップ, 保毒虫率, 飛来時刻, 気象条件, ヒメ トビウンカ
松井武 彦・上田 康郎	ヒメトビウンカのRSV保毒虫率	1985	関東東山病 害虫研究会 年報	32	#158	イネ縞葉枯病, 経卵伝染率, 保毒虫率, 感作 赤血球凝集反応, ラテックス凝集反応法, ヒメ トビウンカ
近岡一 郎・小林 正伸・高 橋知加子	イネ縞葉枯病に対するブプロフェジン・BPMC粉剤 の防除効果	1985	関東東山病 害虫研究会 年報	32	159- 160	イネ縞葉枯病, 防除体系, 殺虫剤, ブプロフェ ジン, BPMC, カヤホス, ダイシストン, アプ ロード, バッサ, 発生消長, 防除効果, 発病 度, ヒメトビウンカ
岩田直 記・田村 利行・高 山隆夫	群馬県におけるヒメトビウンカの薬剤感受性	1985	関東東山病 害虫研究会 年報	32	#161	生物検定法, 局所施用法, 殺虫剤, BPMC, MTMC, ダイアジノン, MEP, MPP, 薬剤感受 性, 感受性系統, 長翅型雌成虫, ヒメトビウン カ
岩城寛・ 中山喜 一・片山 栄助・斉 藤浩一	ブプロフェジン剤早春季散布のツマグロヨコバイ・ヒ メトビウンカに対する防除効果	1985	関東東山病 害虫研究会 年報	32	#163	殺虫剤, ブプロフェジン, 越冬幼虫, 防除効 果, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ
今村和 夫・村田 英一郎・ 田嶋睦・ 田嶋公夫	水銀灯との比較による予察灯の誘殺効率の見直し	1985	北陸病害虫 研究会報	33	33-34	予察灯, 白熱灯, 水銀灯, 誘殺効率, ツマグ ロヨコバイ, ヒメトビウンカ, セジロウンカ, トビ イロウンカ

常楽武男	富山県における水田地帯とその付近のウンカ類	1985	北陸病害虫研究会報	33	57-64	分類, 発生地, 発生期, 予察灯, 誘殺消長, ヒメトビウンカ, セジロウンカ, トビイロウンカ
永田徹・里見緯生	ツマグロヨコバイのほ場での増殖にみられるイネ品種間差異	1985	北陸病害虫研究会報	33	65-69	ほ場試験, 品種間差異, 抵抗性品種, 感受性品種, 見取り法, 粘着板法, 発生消長, ツマグロヨコバイ
五十川是治・加藤順久・天野隆	イネグラッシースタント病の発生生態と品種の感受性	1985	関西病虫害研究会報	27	#42	イネグラッシースタント病, 感受性品種, トビイロウンカ
竹島節夫・小林義明・沢木忠雄・佐藤允通	水稻湛水土壤中直播栽培の病虫害防除法	1985	関西病虫害研究会報	27	#43	イネ縞葉枯病, 発病率, 発生量, 殺虫剤, パダン, オフナック, バサジツ, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ
河田和雄・足立裕弘	半翅目昆虫数種の吸汁行動	1985	日本応用動物昆虫学会中国支部会	27	30-36	吸汁波形, ツマグロヨコバイ
村井智子・阿部信夫・小山信行・境谷清光	青森県で1985年に多発したウンカ類の発生実態	1986	北日本病害虫研究会報	37	131-134	発生量, 掬い取り法, 払い落とし法, 坪枯れ, 被害面積, 増殖率, セジロウンカ, ヒメトビウンカ
小山健二・高山隆夫・三橋淳・岸野賢一	ヒメトビウンカの越冬期の寄生性天敵	1986	関東東山病害虫研究会年報	33	168-169	捕食寄生性天敵, セグロカマバチ, クロハラカマバチ, トビイロカマバチ, エダヒゲネジレバネ, ヒメトビウンカ
村上正雄・神田徹	イネ縞葉枯病耐病性品種におけるイネ害虫類の発生	1986	関東東山病害虫研究会年報	33	186-187	イネ縞葉枯病, イネ縞葉枯病耐病性品種, 発生消長, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ

永田徹・ 中野潔・ 小山正 一・隅田 喜代司・ 成瀬博 行・里見 緯生	水田に放飼したツマグロヨコバイの増殖	1986 北陸病害虫 研究会報	34	16-19	増殖, ほ場試験, 品種間差異, すず病, 払い 落とし法, 発生消長, 幼虫密度, 成虫密度, 増殖率, すくい取り法, 粘着板法, 相関, ツマ グロヨコバイ	
山本公 志・西野 一夫	福井県嶺南地域におけるツマグロヨコバイの多発 生とその要因	1986 北陸病害虫 研究会報	34	20-22	予察灯, 誘殺消長, すくい取り法, 発生消長, 気象条件, 積雪日数, ツマグロヨコバイ	
平工孝 義・山田 偉雄	9月下旬以降に発生したトビイロウンカの被害につ いて	1986 関西病虫害 研究会報	28	#48	坪枯れ, 払い落とし法, 生息分布, 収量調査, 防除法, トビイロウンカ	
本美善 央・宮田 正・斉藤 哲夫	殺虫剤抵抗性トビイロウンカにおける交差抵抗性	1987 日本応用動 物昆虫学会 誌	31	1	76-78	殺虫剤, 有機リン剤, カーバメート剤, 合成ピ レスロイド剤, 殺虫剤抵抗性, 殺虫剤交差抵 抗性, トビイロウンカ
片山栄助	予察灯で採集したウンカ・ヨコバイ類の卵巣発達程 度と交尾個体の割合	1987 日本応用動 物昆虫学会	31	3	264- 266	卵巣発達程度, 交尾個体率, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
野田博明	イネ加害性ウンカ3種の寄生習性	1987 日本応用動 物昆虫学会	31	2	156- 161	定位, 寄生位置, トビイロウンカ, セジロウン カ, ヒメトビウンカ
小川義雄	長崎県におけるヒメトビウンカの薬剤感受性	1987 九州病害虫 研究会報	33		94-97	殺虫剤, 生物検定, BPMC, MTMC, NAC, MEP, PAP, MPP, CVP, マラソン, ジメチルピ ンホス, ダイアジノン, イソキサチオン, チオン クラム, エトフェンプロックス, ピリダフェンチオ ン, XMP, IBP, PHC, EDDP, クロルピリホスメ チル, カルタップ, ベルジャーダスター法, 局 所施用法, 薬剤感受性, LD50, ヒメトビウンカ
飯富暁康	晩植イネにおけるセジロウンカの増殖	1987 北日本病害 虫研究会報	38		92-95	予察灯, ネットトラップ, 見取り法, 粘着板法, 平均密度, 増殖率, 晩植イネ, 寄主選好性, 密度依存性, 世代区分法, セジロウンカ

荒谷悦 務・藤村 建彦・木 村利幸・ 市田忠夫	セジロウンカ の1985, '86に おける青森 県への飛来 の特徴	1987	北日本病 害虫研究 会報	38	96-100	予察灯, 誘殺 数, 誘殺消 長, 天気図, 低気圧, セ ジロウンカ
斎藤隆・ 布施寛	ヒメビウン カの吸汁害 によるイネ への影響	1987	北日本病 害虫研究 会報	38	101- 102	被害解析, 収量調査, 収量構成要 素, スス, ヒメビウン カ
武田光 能・永田 徹	ツマグロヨ コバイ抵抗 性中間母本 の抗生作用 の時期別変 動	1987	北日本病 害虫研究 会報	38	103- 106	ツマグロヨ コバイ抵抗 性中間母本 , 抗生作用, 生存率, 生 物検定, 幼 苗検定, 葉 検定, 生育 時期別変動, ツマグロヨ コバイ
小林正 伸・近岡 一郎・間 宮哲・五 十嵐禧・ 佐藤昭・ 高橋知加 子	神奈川県に おけるイネ 縞葉枯病の 薬剤体系防 除	1987	関東東山 病害虫研 究会年報	34	19-20	イネ縞葉枯 病, 薬剤防 除体系, 殺 虫剤, ダイ シストン, ダイアジノ ン, アプロ ード, バッ サ, マラバ ッサ, キル バール, 発 病株率, 発 病指数, 発 生消長, ヒ メビウンカ, セジロウン カ
伊藤清光	鴻巣および 筑波におけ るヒメビウ ンカの発生 消長	1987	関東東山 病害虫研 究会年報	34	127- 128	ネットトラ ップ, 個体 群動態, ヒ メビウンカ
小山健 二・高山 隆夫・三 橋淳・岸 野賢一	ヒメビウン カに対する カマバチの 年次別季節 別寄生率	1987	関東東山 病害虫研 究会年報	34	#129	捕食寄生性 天敵, クロ ハラカマバ チ, 寄生率, ヒメビウン カ
青木襄 児・小檜 山久寿・ 岡田斉 夫・松井 正春・伊 藤清光	ヒメビウン カおよびツ マグロヨコ バイに有効 な糸状菌の 選抜	1987	関東東山 病害虫研 究会年報	34	130- 132	糸状菌選抜 試験, 天敵, ヒメビウン カ, ツマ グロヨコバ イ
藤村秀 雄・石関 敏宏・岩 崎悦雄	アプロード ゾルの航空 散布による ウンカ・ヨ コバイ類の 防除	1987	関東東山 病害虫研 究会年報	34	#133	ヘリコプタ , 空中散布, すくい取り 法, 殺虫剤, アプロード, モンセレン フロアブル, ラブサイド, ダイアジノ ン, モンカ ット, カス ミン, 防除 効果, ツマ グロヨコバ イ, ヒメビ ウンカ

平工孝 義・下畑 次夫・椎 名淑佳	ヒメトビウンカ飛来期予測	1987	関西病虫害 研究会報	29	#36	飛来期予測, 発育所要温度, すくい取り法, ス テッキートラップ, ヒメトビウンカ	
長谷川美 克・山本 雅則・成 瀬莞爾	殺虫剤抵抗性ツマグロヨコバイに対するブプロフェ ジン剤の広域散布効果	1987	関西病虫害 研究会報	29	#39	空中散布, 殺虫剤, MEP, MPP, BPMC, ブプ ロフェジン, 発消長, すくい取り法, 防除効 果, ツマグロヨコバイ	
北村憲二	西南日本の水田におけるウンカ・ヨコバイ類の幼 虫・成虫の寄生性天敵	1987	日本応用動 物昆虫学会 中国支部会 報	29	17-29	捕食寄生性天敵, 寄生率, セグロカマバチ, ナカガワカマバチ, キアシカマバチ, クロハラ カマバチ, トビイロカマバチ, サカイカマバチ, エダヒゲネジレバネ, ツマグロツヤアタマ アブ, ツマグロヒメアタマアブ, ツマグロキアタ マアブ, ツボイアタマアブ, シヘンチュウ, ヒメトビ ウンカ, セジロウンカ, トビイロウンカ, ツマグ 密度調査法, 袋掛け法, 水面上払い落とし 法, 粘着板上払い落とし法, すくい取り法, 調 査効率, セジロウンカ, トビイロウンカ, ヒメトビ ウンカ, ツマグロヨコバイ	
山下優 勝・河野 哲・広瀬 敏晴	イネのウンカ・ヨコバイ類に対する粘着板による密 度調査法の検討	1987	日本応用動 物昆虫学会 中国支部会 報	29	36-39	密度調査法, 袋掛け法, 水面上払い落とし 法, 粘着板上払い落とし法, すくい取り法, 調 査効率, セジロウンカ, トビイロウンカ, ヒメトビ ウンカ, ツマグロヨコバイ	
井上 齊	水稻虫媒ウイルス病の流行について「協議課題」	1987	四国植物防 疫研究	22	#1-4	イネ黄萎病, イネ萎縮病, イネ縞葉枯病, ツマ グロヨコバイ, ヒメトビウンカ	
那波邦彦	ツマグロヨコバイの吸汁害に関する研究 Ⅲ. 穂吸 汁加害によるイネの生理的反応	1988	日本応用動 物昆虫学会	32	1	31-36	穂吸汁加害, 吸汁痕, 吸汁部位, 登熟経過, イネ品種早晚性, 要防除密度, ツマグロヨコ 生体重, 発育速度, 日長条件, 地域間差異, 飛来源, 生育ステージ, トビイロウンカ
岩永京 子・藤條 純夫	トビイロウンカ2系統における幼虫生息密度・日長・ 温度および稲の発育ステージに対する反応性の比 較	1988	日本応用動 物昆虫学会 誌	32	1	68-74	
渡邊朋 也・清野 裕・北村 實彬・平 井剛夫	長距離移動性ウンカ類の移動予知のためのコン ピュータープログラム	1988	日本応用動 物昆虫学会 誌	32	1	82-85	コンピュータープログラム, トビイロウンカ, セ ジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
寒川一 成・渡邊 朋也・鶴 町昌市	トビイロウンカの飛来源と海外飛来要因に関する考 察	1988	九州病虫害 研究会報	34		79-82	発生予察, 下層ジェット, ひまわり雲画像, 流 跡線解析, 気象要因, トビイロウンカ

平井剛夫・渡邊朋也・鶴町昌市・小川義雄	トビイロウンカ飛来波別個体群における発育速度および翅型発現の比較	1988	九州病害虫研究会報	34	83-85	発育速度, 産卵前期間, 翅型発現率, トビイロウンカ
小川義雄・中須賀孝正	長崎県におけるイネウンカ類の近年の飛来動向と発生の特徴	1988	九州病害虫研究会報	34	86-89	発生予察, 予察灯調査, ネットトラップ調査, ほ場調査, 発生消長, 飛来侵入密度, セジロウンカ, トビイロウンカ
中須賀孝正・寺元健・高木英夫	トビイロウンカ密度抑制要因としてのカタグロミドリメクラガメの評価 (カタグロミドリカスミカメ)	1988	九州病害虫研究会報	34	90-92	天敵, 発生消長, 殺虫剤, カルタップ, BPMC, カタグロミドリカスミカメムシ, トビイロウンカ
田中幸一・佐藤昭夫	水稲のウンカ・ヨコバイ類に対する新殺虫剤の効果判定とクモ類に対する影響	1988	九州病害虫研究会報	34	93-96	殺虫剤, ブプロフェジン, エトフェンプロックス, プロパフォス, MTMC, 発生消長, アシナガグモ, コモリグモ, サラグモ, 払い落とし法, 坪枯れ, ヒメトビウンカ, セジロウンカ, トビイロウンカ, ツマグロヨコバイ
御厨秀樹・山口純一郎・松崎正文・山津憲治・宮崎秀雄・中村秀芳・阿部恭洋・原口巽	佐賀県における水稲病害虫の効率的防除 第1報 トビイロウンカについて	1988	九州病害虫研究会報	34	97-99	殺虫剤, ブプロフェジン, BPMC, ほ場試験, 発生消長, トビイロウンカ
小川義雄・市川伊三郎・西野利勝・渡邊朋也	1987年梅雨期東シナ海洋上と長崎県におけるウンカ類の飛来状況	1988	九州農業研究	50	#124	海上調査, 下層ジェット気流, セジロウンカ, トビイロウンカ, ヒメトビウンカ

遠藤正造・風野光・升田武夫	マラソン及びMTMCで淘汰したトビイロウンカのマラソン抵抗性機作	1988	九州農業研究	50	#125	生物検定, 殺虫剤感受性, 殺虫剤, MTMC, マラソン, マラオクソン, ダイアジノン, ダイアグソン, テトラクロルビンホス, ジメチルビンホス, NAC, アリエステラーゼ, トビイロウンカ
佐藤政太郎・富樫博・谷口恵之助・石垣仁	庄内地方における長距離移動性害虫の飛来について	1988	北日本病害虫研究会報	39	135-139	予察灯, ブラックライト, 発生予察, 天気図, 低気圧, 前線, セジロウンカ, トビイロウンカ
八谷和彦・梶野洋一・秋山安義	ヒメビウンカの寄生性天敵カマバチ類の発生と寄生率の年次推移	1988	北日本病害虫研究会報	39	140-142	クロハラカマバチ, ナカガワカマバチ, カマバチ類, 寄生率, 年次推移, 地域間差異, ヒメビウンカ
八谷和彦	ヒメビウンカの寄生性天敵エダヒゲネジレバネの発生と寄生率	1988	北日本病害虫研究会報	39	143-145	エダヒゲネジレバネ, 寄生率, 地域間差異, ヒメビウンカ
八谷和彦	北海道産と茨城県産のクロハラカマバチの生理生態的差異の有無	1988	北日本病害虫研究会報	39	146-148	クロハラカマバチ, 交配実験, 捕食個体数, 次世代幼虫数, 次世代羽化率, ヒメビウンカ
飯富暁康・中村信夫・松橋正仁	粘着板法における稲ウンカ類の捕捉効率と密度推定の精度	1988	北日本病害虫研究会報	39	149-152	ほ場調査, 粘着板法, 網掛け法, 捕捉効率, 推定密度, 必要標本数, セジロウンカ, トビイロウンカ
高野俊昭	宮城県におけるツマグロヨコバイの多発生とその地域性	1988	北日本病害虫研究会報	39	153-156	発生予察, すくい取り法, 気象条件, 発生量, 発生密度, 収量調査, 収量構成要素, ツマグロヨコバイ
永田徹・武田光能	微量サンプルを対象にしたツマグロヨコバイの吸汁量測定方法	1988	北日本病害虫研究会報	39	157-161	抵抗性原因物質検索, 生物検定法, 吸汁量, 甘露排泄量, 蔗糖濃度, アミノ酸, 抵抗性品種, 選好性, 篩管液, 甘露, トビイロウンカ, ツマグロヨコバイ
高山隆夫	稲縞葉枯病の発生と抵抗性品種による防除 (特別講演)	1988	関東東山病害虫研究会年報	35	#1-7	イネ縞葉枯病, 生態, 越冬場所, 予察灯, 誘殺数, 空中ネット, イネ縞葉枯病抵抗性品種, 発病株率, 保毒虫率, セジロウンカ, ヒメビウンカ, ツマグロヨコバイ
神田徹・野田聡・村上正雄	埼玉県におけるイネ縞葉枯病抵抗性品種の作付と縞葉枯病の防除	1988	関東東山病害虫研究会年報	35	19-20	イネ縞葉枯病, イネ縞葉枯病抵抗性品種, 防除体系, 発病株率, 収量, 殺虫剤, エチルチオメトン, ププロフェジン, MTMC, PHC, ダイアジノン, BPMC,

福田充・鈴木正光 野田博明	栃木県におけるイネ黄萎病の多発生 1987年のトビイロウンカの発生と少被害	1988 関東東山病 害虫研究会 1988 関東東山病 害虫研究会	35 21-22 35 117- 118	イネ黄萎病, 発病株率, 発病面積, 越冬後密度, ツマグロヨコバイ 翅型発現性, ウンカシヘンチュウ, 寄生率, トビイロウンカ
小森隆太郎・仲田道生・高橋修・横須賀知之・秋山実・千葉恒夫・中島久仁夫・関口淳	陸稲におけるセジロウンカの異常発生について	1988 関東東山病 害虫研究会 年報	35 119- 120	生息密度, 陸稲, すず病, すくい取り法, 予察灯, 誘殺数, 被害状況, セジロウンカ
小山健二・高山隆夫・三橋淳・岸野賢一	クロハラカマバチの飼育法	1988 関東東山病 害虫研究会 年報	35 121- 122	クロハラカマバチ, 飼育法, ヒメトビウンカ
斎藤浩一	ツマグロヨコバイに対する各種殺虫剤の効果	1988 関東東山病 害虫研究会 年報	35 #123	生物検定, 殺虫剤, 殺虫剤感受性, マラソン, MEP, PAP, ダイアジノン, ピリダフェンチオン, バミドチオン, DEP, BPMC, PHC, NAC, カルタップ塩酸塩, エトフェンプロックス, ツマグ
山本公志・西野一夫	福井県嶺南地域におけるトビイロウンカの発生要因	1988 北陸病虫害 研究会報	36 18-20	発生面積, 被害面積, 予察灯, 誘殺消長, すくい取り法, 発生消長, 白熱灯, 水銀灯, 初飛来日, 初期飛来数, 総誘殺数, 気象条件, 梅雨前線, 日照時間, 湿度, 気温較差, トビイロ
山本公志・西野一夫	液剤少量航空散布によるウンカ・ヨコバイ類の防除効果	1988 北陸病虫害 研究会報	36 26-27	液剤少量航空散布, ヘリコプタ, 殺虫剤, アプロード, ププロフェジン, スミチオン, スミバッサ, 防除効果, 寄生株率, すず病, セジロウンカ, トビイロウンカ, ツマグロヨコバイ

都築仁	最近10年間における水稲関係防除技術の変遷	1988	関西病虫害研究会報	30	#9-12	ウイルス媒介, イネ縞葉枯病, イネ萎縮病, 保毒虫率, 抵抗性品種, 耕種の防除法, バイオタイプ, 空中散布, 殺虫剤, ププロフェジン, エトフェンプロックス, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ,	
塩飽邦子・岩井正志・今井国貴・河野哲	イネ縞葉枯病簡易検定法の培養幼植物体への適用	1988	関西病虫害研究会報	30	#77	イネ縞葉枯病, 生物検定法, 簡易検定法, ELISA検定, 幼植物体, ヒメトビウンカ	
山田偉雄・棚橋一雄	「ハツシモ」及び「コシヒカリ」における移植期と縞葉枯病の発生	1988	関西病虫害研究会報	30	#78	イネ縞葉枯病, 移植期間差異, 品種間差異, 殺虫剤, ププロフェジン, ダイアジノン, マラソン, IBP, 発病株率, 飛来消長, ステッキートラップ, 払い落とし法, 発生消長, ヒメトビウン	
今井國貴・廣瀬敏晴・西口真嗣	トビイロウンカの防除におけるブプロフェジン剤の位置づけ	1988	関西病虫害研究会報	30	101-102	ほ場試験, 殺虫剤, レルダン, アプロード, モンカット, BPMC, ププロフェジン, 払い落とし法, 発生量, 防除効果, 防除適期, トビイロウンカ	
三浦一芸	ツマグロヨコバイの卵寄生蜂3種, Paracentrobia andoi (Ishii), Gonatocerus cincticipitis Sahad 及び G.miurai Sahad の地理的分布と発生について	1988	日本応用動物昆虫学会中国支部会報	30	#1-4	卵寄生蜂, Paracentrobia-andoi, Gonatocerus-cincticipitis, Gonatocerus-miurai, 寄生率, 地理的分布域, ツマグロヨコ	
今井國貴・廣瀬敏晴・西口真嗣	殺虫剤散布がトビイロウンカの発生時期に及ぼす影響について 第1報. 成虫及び幼虫の齡構成	1988	日本応用動物昆虫学会中国支部会報	30	25-30	ほ場試験, 殺虫剤散布時期間差異, 殺虫剤, BPMC, 発生時期, トビイロウンカ	
岸本良一・桑原宏成・保原充	東シナ海上で使用された捕虫網の捕虫効率	1989	日本応用動物昆虫学会誌	33	2	96-98	東シナ海, 捕虫網, 捕虫効率, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ
細田昭男	セジロウンカの有機リン剤に対する感受性低下	1989	日本応用動物昆虫学会	33	4	193-197	殺虫剤, 殺虫剤抵抗性, 有機リン剤, カーバメート剤, LD50, セジロウンカ
野田博明	イネウンカ3種の発育零点と有効積算温度	1989	日本応用動物昆虫学会	33	4	263-266	発育零点, 有効積算温度, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ
寒川一成・渡邊朋也	九州農業試験場の予察灯資料にみるイネウンカ類の長期的発生変動の概要	1989	九州病虫害研究会報	35		65-68	飛来侵入量, 誘殺数, 誘殺消長, セジロウンカ, トビイロウンカ

井上栄 明・深町 三朗	トビイロウンカの飛来波と薬剤感受性	1989	九州病害虫 研究会報	35	69-71	生物検定, LD50, 殺虫剤, マラチオン, ダイア ジノン, BPMC, MTMC, エトフェンプロックス, トビイロウンカ
遠藤正 造・風野 光・田中 幸一	インドネシアおよび日本で採集したセジロウンカとト ビイロウンカの薬剤感受性の比較	1989	九州病害虫 研究会報	35	72-75	殺虫剤, 生物検定, 局所施用法, セジロウン カ, トビイロウンカ
風野光・ 遠藤正 造・田中 幸一	ブプロフェジンに対するヒメトビウンカの感受性検定 法	1989	九州病害虫 研究会報	35	76-79	殺虫剤, ブプロフェジン, IGR剤, 生物検定, 感 受性検定, LC50, ヒメトビウンカ
池田良 一・武田 光能・東 正昭	水稲中間母本農6号におけるツマグロヨコバイ抵抗 性の遺伝分析	1989	北日本病害 虫研究会報	40	84-86	生物検定, 幼苗検定, 葉検定, ツマグロヨコバ イ抵抗性, 遺伝分析, ツマグロヨコバイ
大沢守 一・佐藤 利朗・永 田徹	ツマグロヨコバイの生息密度調査における粘着板 法の捕獲効率	1989	北日本病害 虫研究会報	40	87-90	粘着板法, 払い落とし回数, 捕獲効率, すくい 取り法, ツマグロヨコバイ
飯富暁 康・児玉 浩一	セジロウンカ個体群の増殖型とその予測	1989	北日本病害 虫研究会報	40	91-94	ほ場調査, 払い落とし法, 粘着板法, 増殖型, 予察灯, 発生予察, 有効積算温度, 発生消 長, 温度条件, セジロウンカ
満井喬	IGRの現状と将来展望	1989	関東東山病 害虫研究会 年報	36	#1-8	IGR, ブプロフェジン, 作用特性, 作用機構, ト ビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ヒ メトビウンカ
神田徹・ 野田聡・ 村上正雄	イネ縞葉枯病抵抗性品種の導入によるヒメトビウン カ保毒虫と縞葉枯病発生の動向	1989	関東東山病 害虫研究会 年報	36	25-26	イネ縞葉枯病, イネ縞葉枯病抵抗性品種, 保 毒虫率, 発病株率, 栽培時期間差異, ヒメトビ ウンカ
藤晋一・ 小島誠	新潟県におけるイネ縞葉枯病の発生生態(予報)	1989	北陸病害虫 研究会報	37	#12-14	イネ縞葉枯病, 保毒虫率, ELISA法, ヒメトビ ウンカ
小山健 二・阿部 芳彦・八 木繁実・ 三橋淳	クロハラカマバチのイナズマヨコバイとツマグロヨコ バイに対する捕食性と寄生性	1989	関西病虫害 研究会報	31	55-56	天敵, クロハラカマバチ, 捕食性, 寄生性, イ ナズマヨコバイ, ツマグロヨコバイ

野田博 明・孫海 浜・野瀬 友利・松 井武彦	2種ウンカの羽化リズム	1990	日本応用動 物昆虫学会 誌	34	1	77-78	羽化リズム, 内因的サーカディアンリズム, ト ビイロウンカ, ヒメトビウンカ
横溝徹世 敏・難波 信行・小 川義雄	長崎県におけるウンカ類の飛来量の地域特性	1990	九州病害虫 研究会報	36		85-89	地域間差, 飛来侵入量, 予察灯, 坪枯れ, 850mb面, 下層ジェット, セジロウンカ, トビイ ロウンカ
清田洋 次・奥原 國英	セジロウンカの被害解析 第1報 水稻生育初期に おける成虫密度と被害との関係	1990	九州病害虫 研究会報	36		95-96	被害解析, 加害時期, 補償作用, 密度効果, セジロウンカ
遠藤正 造・風野 光・田中 幸一	ブプロフェジン及びエトフェンプロックスで淘汰したヒ メトビウンカの薬剤感受性変化	1990	九州病害虫 研究会報	36		100- 102	生物検定, 薬剤淘汰, 薬剤感受性検定, アリ エステラーゼ検定, 殺虫剤, エトフェンプロック ス, ブプロフェジン, フェニトロチオン, ダイアジ ノン, マラソン, IBP, BPMC, プロスクル, カル ボフラン, カルボスルファン, デルタメスリン, フェンバレレート, LD50, LC50, ヒメトビウンカ 黄化現象, 年次変動, すくい取り法, すず病, ツマグロヨコバイ
城所隆	宮城県における最近のツマグロヨコバイの多発とイ ネ上位葉の黄化現象 第1報 感受性低下個体群 の出現	1990	北日本病害 虫研究会報	41		105- 108	生物検定, 殺虫剤, マラソン, PAP, ダイアジ ノン, BPMC, LD50, LC50, 殺虫剤感受性, ツマ グロヨコバイ
渋谷俊 一・永野 敏光	宮城県でのツマグロヨコバイに対する各種殺虫剤 の効果	1990	北日本病害 虫研究会報	41		109- 111	有効積算温度, 発育日数, 発育速度, ヒメトビ ウンカ
八谷和彦	ヒメトビウンカの発育速度に及ぼす温度の影響	1990	北日本病害 虫研究会報	41		112- 113	イネ黄萎病, 媒介虫率, 前年再生稲発病株 率, ツマグロヨコバイ
熊田欽 丈・加藤 昭輔	栃木県北部の稲黄萎病多発地区におけるツマグロ ヨコバイの黄萎病MLOの媒介虫率	1990	関東東山病 害虫研究会 年報	37		37-38	省農薬防除, 空中散布, 地上散布, 殺虫剤, オフナックバッサ, バッサジノン, スミチオン, スミバッサ, 払い落とし法, 発生消長, クモ類, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
渡辺守・ 大金善三 郎	省農薬水田におけるクモ類の発生動向	1990	関東東山病 害虫研究会 年報	37		159- 160	クロハラカマバチ, 捕食, 寄生, トビイロウンカ
小山健 二・三橋 淳	トビイロウンカに対するクロハラカマバチの捕食と寄 生	1990	関東東山病 害虫研究会 年報	37		161- 162	

小山健 二・三橋 淳	ヒメトビウンカの幼虫発育に不可欠な無機塩	1991	日本応用動物昆虫学会誌	35	2	137-143	必須無機塩, マグネシウム化合物, リン化合物, ヒメトビウンカ
小山健二	セジロウンカの幼虫発育に不可欠なビタミン	1991	日本応用動物昆虫学会誌	35	4	297-301	ビタミン要求性, セジロウンカ
松村正哉	北陸におけるセジロウンカの近年の発生動態の特徴	1991	北陸病害虫研究会報		39	47-50	予察灯, 初誘殺日, 総誘殺数, 誘殺指数, 年次変動, 品種間差異, 見取り法, 払い落とし粘着板法, 袋掛け刈り取り法, サクションマシン, FARMCOP法, 発生消長, 地域間差異, 第1世代成虫残留率, 被害事例, セジロウンカ
石崎久 次・松浦 博一	セジロウンカによる茶米の発生	1991	北陸病害虫研究会報		39	51-56	予察灯, 誘殺消長, 被害発生時期, 坪枯れ, 褐変籾, 茶米, 粒長, 粒巾, 粒厚, 千粒重, 加害時期, 殺虫剤, ピロキノン, ダイアジノン, BPMC, エトフェンプロックス, 防除効果, セジ
平正博・ 市橋秀幸	ヒメトビウンカシミュレーションとその適合性	1991	関西病虫害研究会報		33	95-96	野外調査, 発生消長, ステイキートラップ, すくい取り法, 水銀灯, 払い落とし法, シミュレーションプログラム, 防除モデル, ヒメトビウンカ
河野哲・ 今井國 貴・廣瀬 敏晴・八 瀬順也	トビイロウンカの水田における増殖と薬剤感受性	1991	関西病虫害研究会報		33	97-98	ほ場試験, 飛来時期, 品種間差異, 発生消長, 見取り法, 払い落とし法, 殺虫効果, 殺虫剤, BPMC, ジメチルビンフォス, カルタップ, マラソン, ピリダフェンチオン, エトフェンプロックス, PAP, ベルジャーダスター, トビイロウン
藤田祐 輔・今井 國貴・川 瀬忠徳・ 大羽克 明・石黒 丈雄	トビイロウンカの薬剤感受性の年次変動とその検定法	1991	関西病虫害研究会報		33	99-100	薬剤感受性, 年次変動, 生物検定法, 微量局所施用法, ベルジャーダスター, 粉剤処理法, LD50, LT50, エステラーゼ活性測定, 殺虫剤, マラソン, BPMC, フェンバレレート, エトフェンプロックス, トビイロウンカ
井上英 明・田中 章	施肥体系の異なる水田でのセジロウンカによる生育阻害	1991	九州病害虫研究会報		37	87-90	施肥条件, 被害解析, 発生消長, 見取り法, すくい取り法, 生育阻害, 収量構成要素, セジロウンカ, トビイロウンカ
寒川一 成・渡邊 朋也	梅雨期におけるイネウンカ類の中国浙江省杭州市と福岡県筑後市への飛来状況の比較	1991	九州病害虫研究会報		37	91-94	発生消長, 予察灯, 下層ジェット気流

牧野晋・ 村永治 喜・井上 栄明・肥 後三郎・ 堀元学・ 西岡稔彦	最近におけるトビイロウンカの薬剤感受性の動向	1991	九州病害虫 研究会報	37	95-99	生物検定, 薬剤感受性, ベルジャーダスター 法, 殺虫剤, BPMC, MTMC, NAC, MPMC, XMC, マラソン, ダイアジノン, MEP, IBP, クロ ルピリホスメチル, エトフェンプロックス, シクロ プロトリン, 死亡率, KT50, ほ場試験, トビイロ ウンカ
清田洋 次・奥原 國英・和 泉恵一	水稻移植期と海外飛来性害虫の定着	1991	九州農業研 究	53	#91	水稻移植期, ほ場調査, 発生消長, 払い落と し法, セジロウンカ, トビイロウンカ
寒川一成	日印交雑水稻にみられるセジロウンカに対する超 感受性現象について	1991	九州農業研 究	53	#92	ほ場試験, 産卵数, 殺卵反応, 品種間差異, セジロウンカ
手塚隆 久・伊藤 延男	イネツマグロヨコバイ排出甘露の糖量の品種間差 異	1991	九州農業研 究	53	#93	生物検定, 抗生作用, 耐虫性遺伝子, 品種間 差異, ツマグロヨコバイ
飯富暁 康・岸達 男	トビイロウンカによるイネの登熟後期における被害 事例	1991	北日本病害 虫研究会報	42	85-87	坪枯れ, 登熟後期, 被害解析, 収量調査, 収 量構成要素, 食味, 殺虫剤, トレボン, カルホ スツマサイド, カルツマラブ, オフナック, トビイ ロウンカ
石黒清 秀・梁瀬 正裕	セジロウンカ, ヒメトビウンカ, トビイロウンカの加害 が玄米の品質に及ぼす影響	1991	北日本病害 虫研究会報	42	88-90	ほ場調査, すくい取り法, 払い落とし法, 坪枯 れ, 収量調査, 収量構成要素, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, トビイロウンカ
卯月恒 安・佐藤 利美・佐 藤健治	山形県村山地方におけるツマグロヨコバイの多発 生について	1991	北日本病害 虫研究会報	42	91-93	予察灯, 発生予察, 気温, 積雪, すず病, 年 次変動, 発生量, 気象条件, 岡崎の予察式, ツマグロヨコバイ
野田聡・ 藤田耕朗	イネ縞葉枯病感受性良食味品種におけるイネ縞葉 枯病の発生の品種間差異	1991	関東東山病 害虫研究会 年報	38	27-28	イネ縞葉枯病, 早植栽培試験, 移植時期間差 異, 品種間差異, 発生量, 発病株率, 発病穂 率, 減収率, ヒメトビウンカ

中澤伊智郎・齊藤泰亮・關谷光義・永井三重子・林宣夫・藤村秀雄・高見沢保賢・高橋章夫	群馬県におけるイネ縞葉枯病抵抗性品種と感受性品種の適正作付け比率	1991	関東東山病害虫研究会年報	38	29-31	イネ縞葉枯病, イネ縞葉枯病抵抗性品種, イネ縞葉枯病感受性品種, 保毒虫率, 発病株率, 発病度, 作付け比率, ヒメトビウンカ	
高沼重義・武田和男・吉沢栄治・桑沢久仁厚・但島勇・袖山栄次	無人ヘリコプター利用による水田害虫の防除	1991	関東東山病害虫研究会年報	38	137-139	無人ヘリコプター, 空中散布, 地上散布, 殺虫剤, アプロード, ププロフェジン, トレボン, エトフェンプロックス, フロアブル, オフナックバッサ, ピリダフェンチオン, BPMC, 防除効果, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ, セジロウンカ	
桑沢久仁厚	1990年長野県におけるセジロウンカの発生について	1991	関東東山病害虫研究会	38	149-151	予察灯, 誘殺消長, ネット振り法, 払い落とし法, 発生消長, 短翅率, セジロウンカ	
小山健二	セジロウンカに対するクロハラカマバチの捕食と寄生	1991	関東東山病害虫研究会	38	153-154	クロハラカマバチ, 捕食, 寄生, 生存数, セジロウンカ	
小山健二	セジロウンカの幼虫発育に不可欠なアミノ酸	1992	日本応用動物昆虫学会	36	3	177-181	必須アミノ酸, セジロウンカ
菖蒲信一郎・山口純一郎・松崎正文・田中茂雄	異なる施肥条件下でのトビイロウンカによる減収	1992	九州病害虫研究会報	38		55-56	施肥条件, 株当たり累積虫数, 収量, 精玄米重, トビイロウンカ
寺本健・横溝徹世敏	カタグロミドリメクラガメ(カタグロミドリカスミカメムシ)がトビイロウンカの増殖に及ぼす影響	1992	九州病害虫研究会報	38		57-62	発生消長, トビイロウンカ増殖抑制効果, トビイロウンカ卵補食能力, トビイロウンカ幼虫補食能力, カタグロミドリカスミカメムシ, トビイロ
寒川一成	わが国へ飛来するトビイロウンカのバイオタイプ形質の変化と飛来源地帯の推定	1992	九州病害虫研究会報	38		63-68	バイオタイプ, 抵抗性品種, 払い落とし法, BCG濾紙法, パラフィルムサッシュェ法, 発生消

井上栄 明・牧野 晋	ベルジャーダスター法によるセジロウンカの薬剤感受性	1992	九州病害虫 研究会報	38	69-72	生物検定, 薬剤感受性, 殺虫剤, ベルジャーダスター法, 局所施用法, マラチオン, ダイアジノン, BPMC, MTMC, NAC, エトフェンプロックス, IBP, シクロプロトリン
楠本公 治・増永 哲也・大 和弘	普通期水稲における病害虫の省力的防除の試み	1992	九州病害虫 研究会報	38	86-88	ほ場調査, 払い落とし法, 収量, 精玄米重, セジロウンカ, トビイロウンカ
菖蒲信一 郎・山口 純一郎	晩生稲レイハウにおけるトビイロウンカの発生とその被害査定	1992	九州農業研 究	54	#103	殺虫剤防除圧, ほ場調査, 払い落とし法, 累積虫数, 収量調査
寒川一成	イネウンカ個体群の吸汁によるイネからの乾物収奪動態のモデル化	1992	九州農業研 究	54	#104	パラフィルムサツシエ法, 乾物収奪モデル, 甘露排泄量, イネの生育ステージ, セジロウンカ, トビイロウンカ
遠藤正 造・風野 光・田中 幸一・鶴 町昌一	エトフェンプロックスあるいはカルボスルファンで淘汰したヒメトビウンカの薬剤感受性の変化	1992	九州農業研 究	54	#105	殺虫剤感受性, 生物検定, 薬剤淘汰, 殺虫剤, LD50, エトフェンプロックス, MEP, ダイアジノン, マラソン, IBP, カルボフラン, カルボスルファン, BPMC, PHC, エトフェンプロックス, デルタメスリン, ヒメトビウンカ
一守貴 志・浦川 福一	岩手県におけるツマグロヨコバイの発生生態 第1報 県南部における漸増傾向と発生実態	1992	北日本病害 虫研究会報	43	90-92	予察灯, 誘殺数, すくい取り法, 年次変動, すず病, ツマグロヨコバイ
野沢英 之・福田 充	栃木県におけるイネ縞葉枯病発生の年次推移	1992	関東東山病 害虫研究会 年報	39	#7-8	イネ縞葉枯病, すくい取り法, 発生量, 抵抗性品種, 保毒虫率, 年次推移, ヒメトビウンカ
中島久仁 夫・小森 隆太郎	1991年陸稲におけるセジロウンカの異常発生	1992	関東東山病 害虫研究会 年報	39	185- 186	陸稲, 発生消長, 短翅雌率, 成虫増加率, 幼虫増加率, セジロウンカ
渡辺守	水稲病害虫の複合被害についての被害解析	1992	関東東山病 害虫研究会 年報	39	187- 189	要防除水準, 複合的被害解析, 交互作用, 多因子要因解析, 発生量, 年次推移, 収量調査, ツマグロヨコバイ

梶村達人・前岡庸介・I Nyoman Widiarta・須藤猛・日鷹一雅・中筋房夫・永井一哉	イネの有機栽培がウンカ・ヨコバイ類の個体群密度に及ぼす影響 I. 密度および増殖率	1993	日本応用動物昆虫学会誌	37	3	137-144	有機栽培・個体群変動・世代間増殖率, 天敵, ツマグロヨコバイ, セジロウンカ, トビロウンカ
宇田川隆敏・今北武・桐谷幸生・榎本祐司	エトフェンプロックスに関する研究 1. トビイロウンカにおよぼすエトフェンプロックスの影響	1993	日本応用動物昆虫学会誌	37	4	235-237	ポット試験, 殺虫試験, 殺虫剤, エトフェンプロックス, 葉鞘変色, 吸汁抑制, 産卵抑制, トビイロウンカ
渡邊朋也・田中幸一	イネウンカ類個体数調査における見取り法の調査効率	1993	九州病害虫研究会報	39		64-66	見取り法, サクションマシン法, セジロウンカ, トビイロウンカ
寒川一成	ネットトラップと予察灯による秋期のウンカ捕獲誘殺実態と気象状況	1993	九州病害虫研究会報	39		67-72	誘殺消長, 下層ジェット気流, セジロウンカ, トビイロウンカ
本田善之・鈴木芳人・渡邊朋也	山口県におけるセジロウンカ発生型の分類と予察	1993	九州病害虫研究会報	39		73-77	クラスター分析, 主成分分析, 判別分析, セジロウンカ
鈴木芳人・寒川一成・清田洋次	セジロウンカ卵期の死亡要因の評価	1993	九州病害虫研究会報	39		78-81	卵密度, 産卵部位, 生理的死亡, イネの生育ステージ, セジロウンカ
寒川一成	トビイロウンカによる坪枯れ被害のイメージモデル	1993	九州農業研究	55		#94	集中分布, 坪枯れモデル, トビイロウンカ
遠藤正造・鶴町昌市	エトフェンプロックスに対する抵抗性因子の遺伝様式の検討	1993	九州農業研究	55		#95	生物検定, 遺伝, 感受性系統, 淘汰系統, F1, 正逆交雑試験, 殺虫剤, エトフェンプロックス, トビイロウンカ
菖蒲信一郎・山口純一郎・松崎正文	薬剤防除条件下でのトビイロウンカと捕食性天敵類の発生	1993	九州農業研究	55		#96	捕食性天敵, カタグロミドリカスミカメムシ, クモ類, 殺虫剤, ブプロフェジン, BPMC, ほ場調査, 払い落とし法, トビイロウンカ

飯富暁康	セジロウンカ飛来状況把握のための簡易イネトラップ	1993	北日本病害虫研究会報	44	89-91	見取り法, イネトラップ, 空中ネットトラップ, 気象条件, 発生消長, セジロウンカ	
野田朋佳・新田朗	イミダプロクリド粒剤の箱施薬による水稻害虫の防除	1993	北陸病害虫研究会報	41	37-44	ほ場調査, 殺虫剤, イミダプロクリド, カルタップ, トリシクラゾール, フラサイド, フルトラニル, MEP, カスガマイシン, バリダマイシン, MPP, EDDP, エトフェンプロックス, プロペナゾール, 見取り法, すくい取り法, 発生消長, 防除効果, 薬剤処理苗, 縞状移植, ツマグロヨコバイ, セジロウンカ, ヒメビウンカ	
廣瀬茂樹・藤田祐輔・大羽克明	トビイロウンカの継代飼育における薬剤感受性の変化	1993	関西病虫害研究会報	35	31-32	薬剤感受性, 年次変化, 生物検定, 粉剤処理法, ベルジャードスター, 殺虫剤, マラソン, バッサ, トレボン, LT50, エステラーゼ活性, 薬剤淘汰, トビイロウンカ	
小山健二	短日条件下でのクロハラカマバチの累代飼育が捕食・寄生や生存率におよぼす影響	1993	関西病虫害研究会報	35	37-38	クロハラカマバチ, 日長条件, 継代飼育, 性比, 休眠性, ヒメビウンカ	
下畑次夫・山田偉雄	イネ育苗箱施用における新薬剤によるウンカ・ヨコバイ類と縞葉枯病の一発防除	1993	関西病虫害研究会報	35	43-44	イネ縞葉枯病, 殺虫剤, 育苗箱施用, イミダクロプリド, カルボスルファン, 発生消長, 防除効果, 払い落とし見取り法, すくい取り法, 発病株率, 残効性, ヒメビウンカ, ツマグロヨコバイ, セジロウンカ,	
宮下武則	60W白熱電球と100W高圧水銀灯を光源とする予察灯の誘殺数の比較	1993	四国植物防疫研究	28	61-69	発生予察, 白熱灯, 高圧水銀灯, 年間誘殺数, 発生消長, 回帰式, 推定式, セジロウンカ, ヒメビウンカ, トビイロウンカ	
渡邊朋也・寒川一成・鈴木芳人	九州北部における長距離移動性イネウンカ類の予察灯誘殺数の年次間変動の解析	1994	日本応用動物昆虫学会誌	38	1	#7-15	予察灯, 発生消長, 主成分分析, 年次変動, 世代間増加率, 温度条件, 降雨条件, トビイロウンカ, セジロウンカ
渡邊朋也・寒川一成	長距離移動性イネウンカ類の被害解析 I. セジロウンカの加害時期および加害量が水稻の生育および収量に与える影響	1994	日本応用動物昆虫学会誌	38	3	153-160	ほ場試験, 被害解析, 加害時期, 加害方法, 生育調査, 収量調査, 収量構成要素, セジロウンカ
渡邊朋也・山本晴彦・寒川一成	長距離移動性イネウンカ類の被害解析 II. 分光反射率を利用したセジロウンカの飛来成虫による水稻初期被害の回復過程の測定	1994	日本応用動物昆虫学会誌	38	3	169-175	ほ場試験, 栽培条件, 加害調査, 生育調査, 分光反射率, セジロウンカ

渡邊朋也・寒川一成	長距離移動性イネウンカ類の被害解析 Ⅲ. セジロウンカ幼虫による吸汁加害の定量化	1994	日本応用動物昆虫学会誌	38	4	275-281	乾物重, 翅型発現性, 水稻生育量, 吸汁加害, SPAD, セジロウンカ
寒川一成・巖基白・崔鑽文	韓国におけるイネウンカ類の飛来侵入実態と関連気象要因	1994	九州病害虫研究会報	40		82-89	予察灯, 下層ジェット, 後退流跡線, ライトラップ, 発生予察
鈴木芳人・Tran Huy THO・Nguyen Cong THUAT・Vu Bich TRANG	ベトナム北部のイネウンカ類卵期の死亡要因	1994	九州病害虫研究会報	40		90-93	イネの生体防御反応, 生理的死亡, ベトナム北部, 地域比較, 卵寄生蜂, ヒメトビウンカ, セジロウンカ, トビイロウンカ
寺本健・中須賀孝正	カタグロミドリメクラガメ(カタグロミドリカスミカメムシ)の水田ほ場からの移出	1994	九州病害虫研究会報	40		94-97	払い落とし法, 発生消長, カタグロミドリカスミカメムシ, セジロウンカ, トビイロウンカ
寒川一成	梅雨期にイネウンカ類をわが国へ長距離移送する上層気流の流跡線解析	1994	九州農業研究	56		#94	下層ジェット気流, 前進流跡線, 後退流跡線, セジロウンカ, トビイロウンカ
松村正哉	セジロウンカの短翅雌発現におよぼすイネの生育ステージの影響	1994	北陸病害虫研究会報	42		54-56	生育ステージ, 短翅雌率, 幼虫密度, 生存率, セジロウンカ
川村清隆・山田裕章・近藤篤・小嶋俊彦・山本雅則	イネ黄萎病の発生生態と防除	1994	関西病虫害研究会報	36		95-96	ほ場試験, イネ黄萎病, 殺虫剤, ベンフラカルブ, マラソン, BPMC, カルタップ, イミダプロクリド, カルボスルファン, プロパフォス, エトフェンプロックス, カルタップ, 発病株率, 立毛, 再生芽, 防除効果, DNA検定法, 幼苗検定, 保毒虫率, ツマグロヨコバイ

梶村達 人・前岡 庸介・I. Nyoman Widiarta・ 須藤猛・ 日鷹一 雅・中筋 房夫・永 井一哉 松浦昌 平・田中 敏章・山 村哲史	イネの有機栽培がウンカ・ヨコバイ類の個体群密度に及ぼす影響 Ⅲ. イネの生育がウンカ類の侵入密度に及ぼす影響	1994	日本応用動物昆虫学会 中国支部会報	36	#5-10	ほ場試験, 化学肥料区, 鶏糞肥料区, 無肥料区, 有機栽培区, 侵入密度, SPAD, 葉色値, 株あたり茎数, 侵入世代密度, セジロウンカ, トビイロウンカ	
曾根信三 郎・山田 ゆみ・坪 井真一 鄭晋教・ 金哲史・ 堀池道 郎・平野 千里	粘着板への払い落としによるセジロウンカ幼虫の捕捉効率	1994	日本応用動物昆虫学会 中国支部会報	36	#11-15	ほ場調査, 粘着板払い落とし法, 生育ステージ間差異, 捕捉効率, 捕捉虫数, 生息虫数, 要防除密度, セジロウンカ	
曾根信三 郎・山田 ゆみ・坪 井真一	稲芽出し苗を用いたウンカ・ヨコバイ類に対する殺虫剤の新しいスクリーニング法	1995	日本応用動物昆虫学会誌	39	2	171-173	殺虫剤, 殺虫剤抵抗性, スクリーニング法, ST法, トビイロウンカ, セジロウンカ, ヒメトビウンカ, ツマグロヨコバイ
鄭晋教・ 金哲史・ 堀池道 郎・平野 千里	ツマグロヨコバイの甘露からのメレジトースの単離	1995	日本応用動物昆虫学会誌	39	2	174-176	甘露, メレジトース, ツマグロヨコバイ
本田善之	山口県におけるトビイロウンカの発生型の分類と予察	1995	九州病害虫研究会報	41		74-77	ほ場調査, 予察灯, ネットトラップ, 主成分分析, クラスタ分析, 判別分析, トビイロウンカ
寺本健・ 菅康弘・ 中須賀孝 正	ヒノヒカリとユメヒカリにおけるトビイロウンカの増殖率の重回帰分析による推定	1995	九州農業研究	57		#102	ほ場調査, 重回帰分析, トビイロウンカ次世代増殖率, 移植後日数, 株当たり放飼頭数, 降水量, 降雨日数, 日平均気温, 最高気温, 最低気温, 日照時間, トビイロウンカ
和田節・ 伊藤清 光・Ho Nai Kin	マレーシア・ムダ地区水稻二期作地帯における1991年第2作のトビイロウンカ大発生の特徴	1995	九州農業研究	57		#103	2期作, 坪枯れ, 天敵, トビイロウンカ
寒川一成	セジロウンカの北日本への飛来侵入について	1995	九州農業研究	57		#105	北日本, 予察灯, 発生予察, 下層ジェット気流, 後退流跡線, セジロウンカ

飯富暁康	イネ体上におけるセジロウンカの産卵部位	1995	北日本病害虫研究会報	46	111-114	産卵部位, 生育段階, 産卵数, 卵塊数, セジロウンカ
松田正利・藤村建彦・腰巡好之	青森県におけるセジロウンカの飛来状況と下層ジェット気流の関係	1995	北日本病害虫研究会報	46	115-122	下層ジェット気流, 予察灯, ネットトラップ, 下層ジェット解析プログラム, 天気図, セジロウンカ
竹内博昭・平井一男	ツマグロヨコバイタマゴバチの大量増殖	1995	関東東山病害虫研究会年報	42	171-173	天敵, ツマグロヨコバイタマゴバチ, 大量増殖法, ツマグロヨコバイ
竹内博昭・平井一男	ツマグロヨコバイタマゴバチ <i>Paracentrobia andoi</i> (Ishii) に及ぼす殺虫剤浸漬の影響	1995	関東東山病害虫研究会年報	42	175-177	天敵, ツマグロヨコバイタマゴバチ, 殺虫剤浸漬, 殺虫剤, エトフェンプロックス, PAP, MPP, カルタップ, 卵寄生蜂羽化率, 死亡時発育態, ツマグロヨコバイ
平正博・市橋秀幸	シミュレーションによるイネ縞葉枯病の防除適期と要防除水準の解析	1995	関西病虫害研究会報	37	#57	イネ縞葉枯病, 保毒虫率, ステッキートラップ, 水銀灯, すくい取り法, 払い落とし法, 見取り法, シミュレーション, 侵入世代成虫, 防除適期, 要防除水準, ヒメトビウンカ
梶村達人	イネの有機栽培がウンカ・ヨコバイ類に及ぼす影響 5. ウンカ類の個体群変動に及ぼす栽培密度の影響	1995	日本応用動物昆虫学会中国支部会	37	#1-5	ほ場調査, 栽植密度, 見取り法, サクシヨウキャッチャー法, 発生消長, トビイロウンカ, セジロウンカ
中村利宣	小型水盤によるセジロウンカの水田への侵入時期と相対的な侵入量の把握法	1996	九州病害虫研究会報	42	62-66	ほ場調査, 発生予察, 発生消長, 予察灯, ネットトラップ, 水盤トラップ, 品種間差, セジロ
清野義人・鈴木芳人	異なる発育段階のセジロウンカ卵に対する安息香酸ベンジルの殺卵活性	1996	九州病害虫研究会報	42	67-68	生物検定, 安息香酸ベンジル, セジロウンカ卵, セジロウンカ
鈴木芳人・田中幸一	カタグロミドリメクラガメ(カタグロミドリカスミカメムシ)の繁殖特性	1996	九州病害虫研究会報	42	69-72	発育速度, 成虫期の寿命, 産卵前期間, 産卵数, 天敵, カタグロミドリカスミカメムシ, トビイロウンカ
寒川一成・清田洋次	水稻の作型によるトビイロウンカの発生型の変化	1996	九州農業研究	58	#108	岸本・竹内モデル, 作型間差異, 移植日, 出穂日, トビイロウンカ
鈴木芳人	九州北部における過去の水稻主要品種のセジロウンカ殺卵反応	1996	九州農業研究	58	#109	品種間差異, 産卵, 卵死亡, 生体防御反応, セジロウンカ
鶴田良助	水稻折衷直播栽培における害虫の発生実態	1996	北日本病害虫研究会報	47	91-94	ほ場調査, 直播田, 移植田, SPAD, 産卵数, 発生量, セジロウンカ

櫻井晃治	1994年の宮城県におけるツマグロヨコバイの多発生と夏期の高温	1996	北日本病害虫研究会報	47	95-97	気象条件, ほ場調査, すくい取り法, 発生量, 黄化現象, 有効積算温度, 世代数, ツマグロヨコバイ	
竹内博昭・平井一男	ツマグロヨコバイの卵寄生蜂の野外調査法	1996	関東東山病害虫研究会年報	43	163-165	天敵, ホソハネヤドリコバチ, ツマグロヨコバイタマゴヤドリコバチ, 野外調査法, 草冠部すくい取り法, 条間すくい取り法, 刈り取り法, トラップ法, 捕獲効率, 卵寄生蜂捕獲数, 卵数, 被寄生卵数, ツマグロヨコバイ	
竹内博昭・平井一男	ツマグロヨコバイの卵寄生蜂2種の寄生消長	1996	関東東山病害虫研究会年報	43	167-170	天敵, ホソハネヤドリコバチ, Anagrus-sp., ツマグロヨコバイタマゴヤドリコバチ, 寄生消長, 発生消長, すくい取り法, 刈り取り法, トラップ法, ツマグロヨコバイ	
平井一男・竹内博昭	直播水稲田の節足動物の発生量に及ぼす農薬少量散布の影響	1996	関東東山病害虫研究会年報	43	187-190	農薬少量散布, 殺虫剤, エトフェンプロックス, 天敵, クモ類, ツヤヒメハナカメムシ, 寄生蜂, 発生消長, 防除効果, ツマグロヨコバイ	
松村正哉	飛来年次の異なるセジロウンカ個体群の密度に対する翅型反応	1996	北陸病害虫研究会報	44	43-45	幼虫密度, 短翅雌率, 遺伝子型, 飛来年次間差異, セジロウンカ	
小林秀治	代替餌によるカタグロミドリメクラガメ(カタグロミドリカスミカメ)の成虫寿命	1996	四国植物防疫研究	31	37-39	天敵, カタグロミドリメクラムシ, カタグロミドリカスミカメムシ, 代替餌, 成虫寿命, トビイロウ	
松村正哉	水田におけるセジロウンカ長翅雌の卵巣発育段階の推移	1997	日本応用動物昆虫学会	41	2	75-82	個体数調査法, FORMCOP法, 卵巣発育, セジロウンカ
寒川一成・高橋明彦・唐健・朱敏・胡国文・清田洋次	1996年梅雨期におけるイネウンカの中国浙江省富陽市への飛来状況	1997	九州病害虫研究会報	43		77-81	発生予察, 予察灯, 気象, 流跡線解析, セジロウンカ, トビイロウンカ, カタグロミドリカスミカメムシ
清永徹・渡邊朋也・宮本憲治・鈴木芳人	水稲の生体防御反応によるトビイロウンカの卵死亡率の品種間差	1997	九州農業研究	59	#75	卵死亡, 産卵, 品種間差異, トビイロウンカ	
飯富暁康・深谷富夫・保坂学	秋田県におけるセジロウンカ成虫の増殖限界期	1997	北日本病害虫研究会報	48	152-155	ほ場調査, 下層ジェット気流, 増殖限界, ネットトラップ, 発生消長, 有効積算温度, 侵入個体群, 増殖個体群, セジロウンカ	

竹内博 昭・平井 一男	ツマグロヨコバイの卵寄生蜂 <i>Paracentrobia andoi</i> の雄とその発生時期	1997	関東東山病 害虫研究会 年報	44	205- 206	天敵, イネ苗トラップ, ヒコバエ, ツマグロヨコ バイタマゴバチ, 発生消長, 雄率, ツマグロヨ コバイ	
竹内博 昭・平井 一男	ツマグロヨコバイの卵寄生蜂 <i>Paracentrobia andoi</i> の移動距離	1997	関東東山病 害虫研究会 年報	44	207- 210	天敵, ツマグロヨコバイタマゴバチ, イネ苗滞 在期間, 飛行距離, 寄生率, ツマグロヨコバイ	
米沢悟・ 平井一男	黒点症状米発生の原因究明	1997	関東東山病 害虫研究会	44	211- 213	黒点症状米, セジロウンカ	
米沢悟・ 平井一男	水稻後期害虫と天敵相に及ぼす殺虫剤の影響	1997	関東東山病 害虫研究会 年報	44	215- 219	直播栽培, 移植栽培, 殺虫剤, エトフェンプ ロックス, MEP, 殺虫剤散布時期間差異, 天 敵, クロイトトンボ, アオモンイトトンボ, ヤサガ タアシナガグモ, クモ類, 発生消長, 防除効 果, ツマグロヨコバイ, ヒメトビウンカ (英文のため省略)	
I Nyoman Widiarta・ 鈴木芳 人・藤崎 憲治・中 筋房夫	温帯水田におけるツマグロヨコバイと熱帯水田にお けるタイワンツマグロヨコバイの個体群動態の比較 (英文)	1997	日本応用動 物昆虫学会 中国支部会 報	39	21-30		
永田徹・ 早川孝彦 清永徹・ 鈴木芳人 鈴木芳人	トビイロウンカおよびツマグロヨコバイに対するアコ ニット酸およびシュウ酸の吸汁阻害作用	1998	日本応用動 物昆虫学会	42	3	115- 121	吸汁抑制物質, アコニット酸, シュウ酸, 吸汁 量, 死虫率, トビイロウンカ, ツマグロヨコバイ
清永徹・ 鈴木芳人 鈴木芳人	水稻の生育段階別にみたイネウンカ類に対する殺 卵反応	1998	九州農業研 究	60		#85	産卵数, 卵死亡, 生育ステージ間差異, セジ ロウンカ, トビイロウンカ
鈴木芳人	セジロウンカの幼虫生存率と翅型発現性に及ぼす 稲品種の影響	1998	九州農業研 究	60		#86	品種間差異, 幼虫生存率, 性比, 翅型発現性
飯富暁康	秋田県におけるセジロウンカ誘殺数の長期変動	1998	北日本病害 虫研究会報	49		100- 101	予察灯, 誘殺数, 年次変動, 誘殺数比, 密度 依存, セジロウンカ
竹内博 昭・平井 一男	ツマグロヨコバイタマゴバチの寄生能力調査法	1998	関東東山病 害虫研究会 年報	45		167- 170	天敵, ツマグロヨコバイタマゴバチ, 寄生能 力, 寄生率, 産卵, 閉鎖系試験, 開放系試 験, ツマグロヨコバイ
寒川一 成・劉光 傑・滕凱・ 林慧芳・ 沈麗麗	中国産ジャポニカ水稻「春江06」のセジロウンカ抵 抗性機作	1999	九州病虫害 研究会報	45		45-53	ほ場調査, 見取り法, 払い落とし法, すくい取 り法, 品種選好性, 甘露排泄量, 産卵数, 孵 化幼虫数, 発育卵率, 産卵部位の組織変化, 産下卵の発育経過, 吸汁量, 抗寄生性, セジ ロウンカ

松村正哉・鈴木芳人	カタグロミドリメクラガメ(カタグロミドリカスミカメムシ)の発育と増殖に及ぼす餌の種類と甘露の影響	1999	九州病害虫研究会報	45		63-67	カタグロミドリカスミカメムシ, 発育, 甘露, 生存率, 産卵前期間, 成虫寿命, セジロウンカ, トビイロウンカ
飯富暁康	秋田県におけるセジロウンカ卵死亡の原因	1999	北日本病害虫研究会報	50		125-128	卵死亡, 生育段階, 天敵, 地域間差異, 世代間差異, 品種間差異, セジロウンカ
腰原達雄	近世奥羽の稲害虫(1)	1999	北日本病害虫研究会報	50		223-227	歴史, ウンカ
田中幸一	日本に飛来するトビイロウンカの抵抗性品種加害性の近年における状態	1999	関東東山病害虫研究会	46		85-88	生物検定法, 加害性検定法, 抵抗性品種, バイオタイプ, トビイロウンカ
菖蒲信一郎・御厨初子	850hPa数値予報図(風・相当温位図)を用いたイネウンカ類の北部九州への飛来予測	2000	日本応用動物昆虫学会誌	44	2	101-112	湿舌, 下層ジェット気流, 気象条件, 飛来予測, セジロウンカ, トビイロウンカ
栗山研・山口力雄	トビイロウンカ幼虫の齢期内発育に伴うブプロフェジンに対する感受性変動	2000	日本応用動物昆虫学会誌	44	2	134-137	IGR, 殺虫剤, ブプロフェジン, フェノブカルブ, ダイアジノン, エトフェンプロックス, 殺虫剤感受性試験, 接触試験, LC50, 局所施用法, LD50, JH, 幼若ホルモン
寒川一成・劉光傑・張紅・朱春剛・賀愈青	中国稲「春江06」のセジロウンカ抵抗性の遺伝様式と中国ジャポニカ稲における同抵抗性形質の分布	2000	九州病害虫研究会報	46		70-73	パラフィルムサツシェ法, 吸汁量, 産卵数, 卵死亡率, 甘露排泄量, 遺伝, 抵抗性表現型, 品種間比較, セジロウンカ
有村一弘・足達太郎・鈴木芳人・宮本憲治・松村正哉	水稻品種間で比較したセジロウンカの産卵数と卵の生存率との関係	2000	九州病害虫研究会報	46		85-87	殺卵作用, 産卵, 品種間差異, セジロウンカ
河部暹	ツマグロヨコバイ耐虫性研究の困難と妙味	2000	北日本病害虫研究会報	51		#1-8	耐虫性, 抗生性, 抗寄生性, 耐性, 導管, 師管, Electronic Measurement of Feeding Behaviour法(EMF), YAGレーザー, Laser Stylectomy法(LS), ツマグロヨコバイ
飯富暁康	セジロウンカ成虫腹部の外見的所見と卵巣発育	2000	北日本病害虫研究会報	51		178-180	腹部肥満, 卵巣発育, セジロウンカ
腰原達雄	近世奥羽の稲害虫(2)	2000	北日本病害虫研究会報	51		285-289	歴史, ウンカ

山本雅 則・長谷 川美克	トビイロウンカの増殖に及ぼす水田の湛水及び間 断かんがい管理の影響	2000	日本応用動 物昆虫学会 中国支部会	41	13-16	ほ場試験, 耕種的防除法, 湛水かんがい管 理, 間断かんがい管理, トビイロウンカ
松村正 哉・浦野 知	ウンカ類とその寄主植物に対するカタグロミドリカス ミカメの摂食および産卵選好性	2001	九州病害虫 研究会報	47	49-53	選好性, 産卵, 補食, ヒエ, バンカープラント, カタグロミドリカスミカメムシ, ヒエウンカ, セジ ロウンカ, トビイロウンカ
平香飛・ 遠藤正 造・鈴木 健・大津 和久	中国および日本で採集したトビイロウンカとセジロ ウンカの薬剤感受性	2001	九州病害虫 研究会報	47	54-57	薬剤感受性, 殺虫剤, LD50, 地域間差, セジ ロウンカ, トビイロウンカ
飯富暁 康・新山 徳光	セジロウンカの放飼時期の違いによるイネ被害の 変動	2001	北日本病害 虫研究会報	52	159- 162	ほ場調査, 被害解析, 稲生育ステージ別被害 解析, すず病, 生育調査, 収量構成要素, 収 量調査, セジロウンカ
腰原達雄	東北地方のセジロウンカの発生と冷夏	2001	北日本病害 虫研究会報	52	163- 167	冷夏, 気象条件, 北冷西暑, エルニーニョ, や ませ, セジロウンカ
鈴木芳 人・清野 義人	イネウンカ類の産卵を模した人為的傷による水稲 の液浸化部位の形成	2001	関東東山病 害虫研究会 報	48	105- 109	産卵, 物理的傷, 液浸化, 安息香酸ベンジ ル, 葉身, 葉鞘, 葉脈, 破生通気孔, 卵死亡, セジロウンカ, トビイロウンカ
菖蒲信一 郎・御厨 初子・山 口純一 郎・松崎 正文・松 村正哉	水田におけるトビイロウンカの翅型発現性の経時 変動とその要因	2002	日本応用動 物昆虫学会 誌	46	3 135- 143	翅型発現性, 5齢幼虫, 密度, 生育ステージ, 見取り調査, 払い落とし見取り法, 発育有効 積算温度, 三角法, 葉色, SPAD, トビイロウン カ
平江雅 宏・福田 善通・田 村克徳・ 大矢慎吾	幼虫発育を考慮したイネのツマグロヨコバイ抵抗性 検定法	2002	日本応用動 物昆虫学会 誌	46	3 178- 181	抵抗性検定法, 幼虫発育, ツマグロヨコバイ
松村正哉	飛来年次の異なるイネウンカ類個体群の翅型発現 性	2002	九州農業研 究	64	#83	翅型発現性, 飛来源, JPP-NET, 予察灯, セ ジロウンカ, トビイロウンカ

遠藤正造・大津和久	ヒメトビウンカのダイアジノンおよびBPMC抵抗性要因の検討	2002	関東東山病害虫研究会報	49	101-104	生物検定, 殺虫剤, 有機リン剤, マラソン, ダイアジノン, MEP, カーバメート剤, BPMC, NAC, エステラーゼ阻害剤, 局処施用, LD50, 感受性個体群, 抵抗性個体群, エステラーゼ阻害剤協力効果, 解毒, アセチルコリンエステラーゼ, 虫体内BPMC検出濃度, ヒメ多発要因, セジロウンカ
高橋明彦	北陸地域におけるセジロウンカが多発要因	2002	北陸病害虫研究会報	50	127-130	生物検定法, 抵抗性品種, ツマグロヨコバイ
平江雅宏	ツマグロヨコバイ抵抗性研究の現状	2002	北陸病害虫研究会報	50	131-136	生物検定法, 非選好性, 個体検定法, 集団選抜法, 的中率, ツマグロヨコバイ
平江雅宏・福田善通・田村克徳・大矢慎吾・中村利宣	非選好性を利用したイネのツマグロヨコバイ抵抗性検定法の検討	2002	北陸病害虫研究会報	51	#11-18	生物検定法, 非選好性, 個体検定法, 集団選抜法, 的中率, ツマグロヨコバイ
小山淳・城所隆・米山一海・横須賀知之・中村利宣・松村正哉・浦野知・徳田誠・松村正哉・浦野知	ウンカ類の補食性カスミカメムシ2種, カタグロミドリカスミカメCyrtorhinus lividipennis ReuterとムナグロキイロカスミカメTytthus chinensis (Stal)の幼虫識別法および水田における発生実態	2003	九州病害虫研究会報	49	77-82	幼虫識別法, 発生消長, カタグロミドリカスミカメムシ, ムナグロキイロカスミカメムシ, セジロウンカ, トビイロウンカ
小山淳・城所隆・米山一海・横須賀知之・中村利宣・松村正哉・浦野知・徳田誠・松村正哉・浦野知	寒冷地におけるクモ類の捕食が水田内のツマグロヨコバイ密度に与える影響	2003	北日本病害虫研究会報	54	126-129	発生消長, 天敵, クモ類, ツマグロヨコバイ
小山淳・城所隆・米山一海・横須賀知之・中村利宣・松村正哉・浦野知・徳田誠・松村正哉・浦野知	茨城県におけるイネ黄萎病の再発生	2003	関東東山病害虫研究会報	50	13-16	イネ黄萎病, 発生面積, 発病株率, 発病穂率, 越冬密度, 生息密度, 生息密度減少法, ツマグロヨコバイ
小山淳・城所隆・米山一海・横須賀知之・中村利宣・松村正哉・浦野知・徳田誠・松村正哉・浦野知	カタグロミドリカスミカメを放飼した大区画圃場におけるイネウンカ類と捕食性カスミカメ類2種の発生消長	2004	九州病害虫研究会報	50	29-34	ほ場試験, 発生消長, 天敵, カタグロミドリカスミカメムシ, ムナグロキイロカスミカメムシ, セジロウンカ, トビイロウンカ
小山淳・城所隆・米山一海・横須賀知之・中村利宣・松村正哉・浦野知・徳田誠・松村正哉・浦野知	害虫個体数調査データから平均世代密度を計算するプログラム	2004	九州農業研究	66	#94	有効積算温量, 最高気温, 最低気温, 発育零点, 発育所用日度, 発育停止温度, 発育限界温度, 発生消長, プログラム
小山淳・城所隆・米山一海・横須賀知之・中村利宣・松村正哉・浦野知・徳田誠・松村正哉・浦野知	ニホンアマガエルとトウキョウダルマガエルのツマグロヨコバイに対する捕食量の実験的解析	2004	北日本病害虫研究会報	55	176-179	天敵, ニホンアマガエル, トウキョウダルマガエル, 捕食量, ツマグロヨコバイ

平江雅 宏・福田 善通・田 村克徳・ 大矢慎吾	ツマグロヨコバイ抵抗性品種の密度抑制効果	2004 北陸病害虫 研究会報	53	13-18	生物検定, 芽出し苗検定, 抵抗性検定, 抵抗性, 抗生作用, 2齢到達率, 密度調査, 粘着板法, 払い落とし法, 発生消長, ツマグロヨコバイ
佐藤雅・ 中島隆・ 菅野紘男	セジロウンカの加害によってイネに誘導されるいもち病抵抗性 - 圃場試験 -	2005 日本応用動物昆虫学会誌	49 3	105-111	ほ場試験, 殺虫剤, フィプロニル, イミダクロプリド, イネいもち病, ほ場抵抗性, セジロウンカ
大塚彰・ 渡邊朋也・鈴木 芳人・松 村正哉	梅雨時期に九州に飛来するセジロウンカの飛来源推定	2005 日本応用動物昆虫学会誌	49 4	187-194	飛来源, 後退軌道解析, MM5, NCEP-NCAR再解析, 飛翔時間, 2次元後退軌道解析, 3次元後退軌道解析,
松村正 哉・浦野 知	栽培ヒエのバンカー植物的利用による水田における天敵の定着促進の試み	2005 九州農業研究	67	#76	バンカー植物, ヒエ, カタグロミドリカスミカメムシ, トビイロウンカ
松村正哉	主要飼料イネ品種における移動性イネウンカ類の発育・増殖特性	2006 九州病害虫研究会報	52	38-40	飼料イネ, 品種間差異, 幼虫期生存率, 短翅雌率, 産卵数, 卵期生存率, セジロウンカ, トビイロウンカ